

第六十二回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和七年六月七日(火曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事 守屋 榮夫君

理事 今井 健彦君

理事 手代木隆吉君

理事 高橋熊次郎君

中島知久平君 小笠原三九郎君

倉元 要一君 若宮 貞夫君

江藤源九郎君 生田 和平君

武田德三郎君 林 路一君

中島彌團次君 櫻井兵五郎君

永田善三郎君 田島勝太郎君

同月六日委員中野猛雄君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ津崎尙武君ヲ議長ニ於テ選

定セリ

同月七日委員今井健彦君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ高橋熊次郎君ヲ議長ニ於テ

選定セリ

同日理事今井健彦君委員辭任ニ付其ノ

補闕トシテ高橋熊次郎君理事ニ當選セ

リ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣男爵 中島久萬吉君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

農林省農務局長 小平 權一君

農林省水產局長 戶田 保忠君

農林省畜產局長 村上龍太郎君

商工政務次官 岩切 重雄君

商工參與官 松村 光三君

商工省工務局長 竹内 可吉君

商工省鑛山局長 福田 庸雄君

商工省貿易局長 寺尾 進君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案

(政府提出)

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シ

マス、御諮リ致シマスガ、大體此關稅

政策ニ關スル問題ヲ總論的ニ質問ヲシ

テ、ソレカラ各項目ニ入ルノガ順序ダ

ラウト思ヒマス、サウ云フコトニ致シ

タイト思ヒマスルガ御異議アリマセヌ

カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○東委員長 質問ノ通告者ハマダ漸ク

二名シカ出テ居リマセヌガ——ソレデ

ハ江藤君

○江藤委員 私ハ各項目ニ付テノ質問

デアリマスガ……

○東委員長 政策的ノ大キナ問題ハア

リマセヌデセウカ、三割五分ノ課稅率

ニ對スルト云フヤウナ風ノ質問ガアリ
マシタナラバ、サウ云フ點カラ御始メ
ニナツタラ便宜ダラウト思フ

○小笠原委員 其三割五分ノ問題デア

リマスガ、是ハ最近多分爲替ノ狀況ニ

見テ、三割五分ト云フモノヲ御定メ下

サッタコトト思フノデアリマスガ、亞

米利加ガ或ハ再禁止ヲスルダラウト

云ツタヤウナコトモアリマシテ、其聲デ

多少爲替ガ恢復シテ居ル模様ガアル、

又亞米利加ノ情勢カラ見テ、或ハ再禁

止ヲスルト云フヤウナコトニナルカト

モ考ヘラレル、サウスルト云フト今ノ

三割五分ト云フ標準ハ大體對米爲替ニ

置イテアルヤウデアリマスガ、差向キ

再禁止ヲ豫想サレナイ佛蘭西ノヤウナ

國ニ標準ヲ取ツテ居ラズニ、亞米利加ニ

主トシテ取ツテ居ラレルヤウナ感ジガ

スルノデアリマスガ、若シ亞米利加デ

モ再禁止ヲスルト、或ハ四十弗ト云フ

ヤウナ所ニ恢復スルヤウナコトガアリ

ハセヌカト思ヒマス、サウ云ツタ場合ニ

ハ、ドウ云フ風ニナサレルノカ、適宜

ノ處置ヲ執ラレルノデアリマセウカド

ウカ、其點ヲ簡單ニ御答ヲ願ヒタイ

○堀切政府委員 小笠原君ノ御質問ニ

簡單ニ御答致シマスガ、今日ノ所爲替

相場ノ基準ニナルノハ、ドウシテモ此

付託議案
關稅定率法中改正法律案(政府提出)
輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案(政府提出)
遠洋漁業獎勵法中改正法律案(政府提出)

亞米利加ノ弗デアリマスカラ、專ラソ

レヲ見テ三割五分ト云フヤウナコトニ

致シマシタノデスガ、是ハ獨リ亞米利

加ノ弗バカリヲ標準ニ取ツタ譯デアリ

マセヌ、同時ニ又亞米利加モ何時再禁

止ヲシナイトモ限ラヌト云フノハ御説

ノ如クデアリマスガ、併シ是ハ再禁止

スルモノト今日カラ考ヘテ居ル譯ニハ

參リマセヌ、又向フノ經濟狀態ガ段々

ト惡化スルト、隨テ日本ノ圓ガ之ニ比

較シテ上ツテ來ルト云フヤウナ譯デア

リマシテ、全ク是ハ甚ダ今日ノ所不定

ナ狀態ニアリマス、隨テ今回ノ此改正

モ、所謂當分斯ウ云フコトニシテ置ク

積リデアリマス、又海外ノ情勢如何ニ

依テハ、更ニ適當ナ改正ヲ加ヘナクチ

ヤナラヌカトモ思ヒマスガ、マア今分

ノ所デハ、約此邊ノ所ヲ押ヘテ行クコ

トガ宜クハナイカト考ヘテ居リマス、

マア三割五分ト申スノハ、是ハ爲替ノ

外割カラ言ヘバ、既ニ今日ハ五割四分

モ下ツテ居リマス、内割カラ申シマシテ

モ三割五分、或ハモウ少シソレヨリモ

下ツテ居ル位ノ情勢デアリマス、佛蘭西

ノ話モアリマシタガ、「フラン」ニ對シ

マシテハ外割カラ言ヘバ六割三分下

落、内割カラ申シテモ、是モ三割八分

下落ト云フヤウナ狀況ニナツテ居リマ

ス、三割五分ト定メマシタノハ、先ヅ各種ノ狀況ヲ參酌シテ、此邊デ當分宜カラウデヤナイカ、斯ウ云フ意味ニ御承知ヲ願ヒマス

○櫻井委員 總論的ノコトハ成ルベク其時ニ願フテ如何デセウカ

○東委員長 中々大藏大臣、商工大臣、農林大臣ヲ此處ニ出テ貫フト云フコトハ不可能ダラウト思フ、事實ニ於テ、ソレハ必要ノ場合ニ、此問題ニ對シテハドウシテモ主務大臣ノ答辯ヲ求メルト云フ事項ニ限ツテ、政府ニ通告ヲシテ出席シテ貰フ、斯ウ云フ順序ニヤル、大抵各種ノ委員會ハサウヤツテ居リマス

○櫻井委員 承知致シマシタ、一度大臣ニ御聞キシタイコトガアリマスカラ適當ニ……

○堀切政府委員 大藏大臣ハ今ノ所豫算總會デ日本銀行關係ノ法律案ノ委員會、公債發行ノ委員會、ソレカラ貴族院デモ要求シテ居ル狀況デ、今日ハ彼方此方非常ニ差支ガアリマシテ、出席ガムヅカシイダラウト思ヒマス、明日アタリカラハ餘程樂ニナツテ來ルダラウト思ヒマス、外ノ商工、農林兩大臣ハ比較的マダ樂デヤナイカト思ヒマス

○中島(彌)委員 無理ハ申シマセヌガ、大藏大臣ノ御出席ニナリ得ル時デ宜シウゴザイマスカラ、一遍デモ出席

シテ戴キタイト思ヒマス

○東委員長 承知致シマシタ

○櫻井委員 若シ都合ガ付ケバ大藏大臣、商工大臣同時ニ御出席ヲ願ヘレバ都合ガ好イト思ヒマスガ、サウ云フコトハ出來マスマイカ

○東委員長 交渉致シテ見マス

○櫻井委員 ヤハリ問題ノ内容ニ付テ關聯致シテ御尋シテ見タイト思ヒマスカラ……

○東委員長 大體ノ御尋ハ政府委員デ要領ヲ得ルコトモ澤山アラウト思ヒマスカラ、適宜ニアナタ方ノ方デ御質問ヲ願ヘレバ、進行上都合ガ好イト思ヒマス

○中島(彌)委員 ソレデハ私カラ……

堀切政務次官カラ御説明ヲ戴カウト思ヒマスルガ、政府ハ此度從量稅ノ比率ニ付キマシテ、三割五分ヲ引上ゲマス、其根據ト理由ニ付テ御説明ヲ戴キタイト存ジマス

○堀切政府委員 只今ノ御質問ニ對シテハ、昨日從量稅ノ比率ニ關スル法律案ノ説明ヲ致シタ中ニ、大體ハ申述ベタカト考ヘマスガ、尙ホ三割五分ト大體定メマシタ理由ヲ重ネテ簡單ニ申上ゲマス、我國ニ於テ御承知ノ通り關稅ヲ從量稅、從價稅ノ二ツニ分ケテ居リマスコトハ、是ハ古クカラノコトデアリマス、此古クカラ分ケテアルノハ、從量稅ト從價稅トノ間ニ、マダ此金紙

ノ差別ノナカッタ時代ニ、是ハ兩方分ケテ、サウシテ此均衡ヲ得セシメテ居ッタノデアリマス、ソレガ御承知ノ如ク圓ガ段々ト下リ、即チ爲替ガ低落シテ參リマシテ、其間ノ權衡ヲ失スルヤウニナツタ、此權衡ヲ回復セシメテ「パランス」ヲ得セシメヤウトスルニハ、是ハ從量稅ノ方ヲ上ゲテ權衡ヲ保タシメルカ、或ハ之ヲ下ゲテ權衡ヲ保タシメルカ、此兩方ニツシカナイノデアリマス、

内外ノ狀況、我國ノ現狀カラ、是ハ上ゲテ權衡ヲ得セシメルノガ適當デハナイカト思フノデアリマス、然ラバ何故三割五分ト云フ所ニ見當ラ定メタカト申シマスレバ、只今モ一寸申上ゲマシタ如ク、今日ハ爲替ノ標準ニナルノハ、世界中何處デモ亞米利加ノ弗デアリマス、外割ニ致シマスルト約五割四分位是ハ下落シテ居リマス、内割ニ致シマシテ三割六分前後ノ下落ト云フコトニナツテ居リマス、「フラン」ニシマスルト外割デ六割三分、内割デ三割八分、馬克ニ較ベマスト外割デ六割一分、内割デモ三割七分、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、先ヅ斯ウ云フ金本位ヲ實行シテ居ル國ノ貨幣ニ較ベマス、斯ウ云フ風ニ下ツテ居リマス、英吉利ニ對シマシテハ外割デ參リマシテ一割九分、内割デ一割六分斯ウ云フ風ナ狀況ニナツテ居リマス、先ヅ大體是ハ三割五分見當

位ヲ押ヘテ、當分ノ中ハ宜カラウデヤナイカ、併シ今後此弗ニ致シマシテモ、ドンナニ變動ヲ來スヤモ分リマセヌ、併ナガラ變動ガアツタ時ハ格別ト致シマシテ、當分ノ間三割五分見當デ先ヅ宜カラウト云フコトデ、左様ニ定メマシタ次第デアリマス

○中島(彌)委員 サウシマスルト、私共ノ考デハ、爲替相場ガ下ッタト云フコトハ、ソレハ貿易ノ輸入品ノ輸入價格ニ對シマシテハ、爲替相場ガ下ツタカラ外割ニシテ五割四分上ルトカ、或ハ内割ニシテ三割五分ナリ六分下ルトカ云フ如クニ、物價ハ必シモンレニ影響サレナイデアラウト思フ、ソレヨリ問題ハ政府ガ爲替相場ト云フコトヲ何故攔ンダカ、寧ロソレヨリモ本會デ私ガ述ベマシタヤウニ、關稅ハ消費稅デアルカラ、ドウシテモ輸入平均價格ト云フコトヲ捕ヘナケレバイカスト思ヒマス、輸入平均價格ニ對シテ、一定ノ時ト一定ノ時トノ間、例ヘバ金輸出禁止前ノ何ボカノ間、金輸出禁止後ノ何ボカノ間ノ時ノ輸入平均價格ヲ取ツテ、其輸入平均價格ノ開キヲ課ケルト云フコトガ宜イトスレバ、是ガ私ハ正當デヤナイカト考ヘマスガ、爲替相場ト云フコトハ原因デアツテ、ヤハリ輸入平均價格ハ結果デナケレバナラヌト私ハ考ヘル、實際ノ商賣人ノ頭ニ及シテ來ル所、算

盤勘定ニ影響シテ來ル所ハ、輸入平均價格ガ根本ニナツテ來ハセヌカト考ヘマス、ソレニ依テ支配サレルノデアリマシテ、爲替相場ト云フモノニ依テ私ガ調査致シテ見マシタ所ガ、爲替相場ガ下ツタガ爲ニ上ツタ品物モアレバ、下ツタ品物モアル、關稅ガ前轉シタモノガアリ、後轉シタモノモアル、中轉ト申シマセウカ、チットモ動カナイモノモアル、ソレハ私ノ調ベタ品物ノ種類ヲ述ベマシテモ宜シウゴザイマスガ、煩雜ニナリマスカラ止メマスガ、例ヘバ硫安ノ如キハ、爲替ガ上ツタニ拘ラズ沖渡價格ガ下ツテ居リマス、ソレカラ木材ノ如キモ、或ル一部ノ、殊ニ木材ノ如キハ市價ガ下ツタニ拘ラズ、マダ下ツテシマツタ、爲替ヲ喰ツテ下ツテ居ル、ソレカラ又日本ノ方ヘ輸入シテ來ル品物デアツテ、例ヘバ從量稅品デアルカ、從價稅品デアルカ、忘レマシタガ、「マージン」ノ低イモノガアル、十圓ノモノヲ百圓ニ賣ツテ居ルモノガアル、ソレハ爲替ガ下ツタ時デモ影響サレナイ、非常ニ儲ケガ多イカラ、爲替ガ下ツタ位ノモノハ自分ノ方デ負擔シテシマツテ、ソレダケ輸入平均價格ガ上ツテ居ナイト云フモノモアリマス、斯ウ云フヤウナモノデモ一律一體ニ三割五分引上ゲルト云フコトハドウシテモ私ニハ分ラヌ、輸入平均價格カラ來マス、私ガ述ベマ

シタ如ク試ニ僅カナ品物ヲ取ツチャツタモノデアリマスガ、取り方ニ依テ餘程是ハ違ヒマセウ、ソコデ二割五分一厘トカ、或ハ二割一分トカノ數ガ出テ來ル、サウ云フヤウナ程度デヤツタナラバ、私ハ却テ公平デヤナイカト考ヘル、サウシテ三割五分ト云フコトガ爲替ノ外割カラシマス、五割四分ニナツテ居ルコトモ承知シテ居リマス、ソレカラ較ベマスレバ低イ率ニナツテ居リマスガ、斯ウ云フ點カラ參酌致シマシテ、私等ノ考デハ政府ハ原因ヲ擱マヘラレテ、結果ノ實際ノ狀態、經濟界ニ現ハレテ來タ實狀ト云フモノヲ何故取ラレナカッタカ、若シ政府ガ三割五分ヲ根據トシテ、爲替低落ノ率ヲ取ラレルト致シマスルナラバ、何品ニ付、何品種ナ統計デ取ラレタモノデアリマセウカ、又全部ノ從量稅品ト云フモノヲ算盤ヲ採ツテ見テ、輸入ノ平均額ノモノト比較シテ、金輸出前後ニ於ケル一定期間ヲ御調査ニナラレタノデアリマセウカ、ソシテ、金輸出前後ニ於ケル一定期間ヲ御調査ニナラレタノ點ヲ御説明ヲシテ戴ケバ私共満足致シマス

○堀切政府委員 只今中島君ノ御質問ノ、何故此物價ノ騰貴率ヲ取ラナカッタト云フ御質問ハ、確ニ一理アル御質問デアリマス、併ナガラ政府ガソレニ據ラナカッタト申スノハ、從量稅ヲ課ケテ居ル物品ガ九百七十幾ツカアルノデアリマス、之ヲ一々物價ガドレ程ニ下ツタカ上ツタカ、此物價ハ又上ツタリ下ツタリシテ居リマスノデ、止マツテ居レバ宜イケレドモ止マラナイ、是ハ日ニ日ニ變動致シマス、隨テ之ヲ調査致スト云フコトハ、今回ノヤウニ急ニ此改正ヲスル必要ガアツタヤウナ場合ニ、事實上殆ド不可能ニ近イノデアリマス、又ソレヲ今押ヘタカラト云ツテモ、外國品ノ生産費ト、日本品ノ生産費、或ハ「ダシペン」或ハ貿易ノ關係上、是非ニハ變動ヲ致スノデアリマス、之ヲ捕ヘマシテモ矢張大シタ效果ハ私共ハ無カラウカト、斯様ニ感ズルノデアリマス、ソレデ一律ニ上ゲテハドウシテモ爲替——是ハ金ニ對シテ均衡ヲ得セシムルト云フ點カラ云ヘバ、一律ニ極ク簡單ニ參リマス、而シテ大體ニ於テ、矢張私共ハ此物ノ價ノ上リ下リハ、是ハ矢張一定致スモノト考ヘマス、最モ爲替ノ下ツタト同ジ歩合デ、九百幾ツノ物ガ上リ下リ致サナイコトハ、是ハ當然ノコトデアリマス、大藏省デ調べマシタ個々ノ物ノ騰貴ノ場合ナドモ調査致シタノモアリマスガ、此小麥、玉蜀黍「オートミル」、小麥粉、或ハ牛皮トカ、人造絹、毛織物、製紙用「バルブ」、鐵、石炭斯様ナモノヲ約三十位、主ナルモノヲ捕ヘマシテ、此騰貴歩合ヲ見マスルト云フト、矢張是ハ三割七分位

ニ、コンナモノガ上ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、尤モ是ハドウ云フモノヲ拾フカト云フコトニ依ツテモ、大變ニ影響ヲ達ヘテ參ルニ相違ナイノデアリマス、又今マデ日本ニ這入ツテ居リマスル、此從量稅ヲ課ケテ居ル品物ハ、其輸入ノ總額、價デス、其價ト從量稅デ取ツテ居リマスル稅ノ金額、稅金額ヲ比較シテ見マシテモ、昨年ノ十一月頃ト本年ノ四月頃ヲ較ベマスルト、此收入ノ段々ニ減ツテ居ル歩合ガ、矢張同ジ位ナ程度ノ所ニ參ルノデアリマス、即チ昨年ノ十一月從量稅ノ總額ヲ、從量稅ヲ課ケテ居ル輸入品ノ總額デ割ツタモノガ二割二分七厘、斯ウ云フノガ、本年ノ四月ニナリマスルト云フト、一割五分三厘ニハ減ツテ居リマス、即チ是ハ是ダケ輸入價格ガ上ツタニ拘ラズ、同ジ稅率ヲ課ケテ居リマスカラ、此規定ノ歩合ガ二七ト云フモノガ一五三ニ之ガ減ツタト云フ譯デアリマス、此減ツタ歩合ヲ換算シマスルト、矢張三割五分前後ニ下ツテ居リマス、稅額ガ減ツテ居リマス、ソレデスカラ大體ニ於テ私共ハ中島君ノ御議論トピッタリ一致シマセヌケレドモ、矢張大體ハ同ジャウナ見當ノ所ニ行ク、サウシテ政府ノ執リマシタノガ最モ簡單ナ方法デアルト左様ニ感ズル次第デアリマス

○中島(彌)委員 堀切政務次官閣下ノ

御意見ニ依リマス。ト云フ。ト、物價ハ變動シテ一定ノ所ニ居ルコトガナイ、サウスルト爲替モヤハリ同ジコトデアリマシテ、三十一弗ニナツタリ、三十二弗ニナツタリ、今ハ御承知ノ通りニ爲替ガ安定シテ居ルト云フ所ハ、弗ガ比較的惡イノデアツテ、隨テ下ルベキ時デアリ、下ルベキ材料ガアルニ拘ラズ下ラナイ、モウ一ツハ私共ノ考デハ、昨年ノ弗買資金デ亞米利加方面ニ廻ラタ金ガ、五億二千何百萬圓カアリマシタカ、其中デ見越輸入デモ大分使ハレマシタデセウ、又其他ノ決濟ニモ使ハレタデアリマセウケレドモ、マダ大分殘ッテ居ルト思ヒマス、是ハ有力ナ爲替筋ノ人カラモ調ベマシタケレドモ、ソレガアルガ爲ニ、爲替ガ三十二弗見當ノ所デ今落著イテ居リマス、デハ私見ノコトヲ此處デ申上ゲルコトハ、洵ニ濟ミマセヌケレドモ、堀切次官ノ御意見デハ、二十五弗說ヲ御唱ヘニナツテ居ルト云フコトヲ、大藏省方面ノ新聞記者カラモ承ツタコトガアリマスガ、左様ナ御考デ御出デニナルノデアリマセウカ、現下ノ日本ノ經濟狀態ト致シマシテ、二十五弗說ノ所迄、落シテ行クコトヲ以テ、適當トスルト御考ニナルノデアリマセウカ、若シサウ云フヤウニナリマスルト云フト、今三割五分見當ノ所デ止ッテ居ルノガ、ソレガ二十五弗ニ下リ

マス。ト、又何割カ下ガツテ來マシテ、從量稅ト從價稅ノ開キト云フモノハ、非常ナモノデ、又御說ノ通りニ差ガ出テ來ルニ違ヒナイト、私ハ考ヘマス、ソレカラモウ一ツハ、亞米利加ガ「インフレーション」ニ次グニ「インフレーション」ヲ以テ致シマシテモ、財界ガ非常ニ惡イ、弗ニ對スル「エス・オー・エス」ノ信號ガ揚ッテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、若シ亞米利加ガ金輸出再禁止ヲ致スト致シマスナラバ、日本ノ爲替ハ忽チ四十二弗位ニナルカモ知レヌト思ヒマス、是ハ私ノ想像デアルカラ、當ラヌカモ分リマセヌガ、サウナツテ來ルト云フト、斯ノ如ク三割五分引下ゲテ、三割五分ノ從量稅率ヲ上ゲタモノガ、非常ニヲカシナモノニナツテシマツテ、今度ハ逆ニ上ゲナケレバナラヌト云フ結果ニナリハセヌカ、斯ウ云フヤウナ點カラ考ヘマシテ、世界ノ財界トリマシテ、非常ナ變動狀況ニアル、何レモグラ／＼シテ居ル、此時ニ堀切次官ノ御持論トシテ、私ガ承ツタ二十五弗說、又是ハ時事新報ノ如キモ盛シニ二十五弗ト云フコトヲ唱ヘテ居リマス、サウシテ一方ニハ亞米利加ガ斯クノ如ク金輸出再禁止ヲシテ、弗ガ惡クナツテシマヘバ、日本ノ爲替ハ四十二弗ニモ上ツテ來ヤセヌカト云フヤウナ、一ツノ

「エス・オー・エス」ノ信號ガ上ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態カラ考ヘマス。ト、二十五弗ト四十二弗ト云フモノガ——四十二弗ニナルカナラヌカ、ソレハ分リマセヌガ、少クトモ日本ノ爲替ハ、亞米利加ニ對シマシテ、現在ヨリモ亞米利加ガ金輸出再禁止ヲシタ結果ト致シマスレバ、餘程變動シテ來ヤウト思ヒマス、サウ云フヤウナ茲ニ大キナ「マージン」ガアル所ニ對シマシテ、此時ニ一律一體ニ從量稅ヲ三割五分ト云フコトヲ捉ヘテ、之ヲ御引上ゲニナルト云フコトハ、今日ノ經濟界變動ノ場合トシテハ、却テ御見合セニナツテ、モウ少シ落著クノヲ見ラレテ、此狂瀾怒濤ノ真中デヤラレルヨリモ、少シ是ハ天氣ガ納ツテ、先ノ見込ガ付クト云フ時ニナツテ御ヤリニナルノガ却テ國民ノ爲デモアリ、又經濟界ノ爲デモナイカト私共ハ考ヘマス、ソレカラ先キ申シマシタヤウナ工合ニ、三割五分ヲ取ラレタト云フコトハ、成程從量稅ノ輸入金額デ、從量稅ノ數ヲ割ッテ見マスルト云フト、段々ニ減ツテ參リマシテ、十二月カラ一月、二月、三月、ト割合ガ落チテ來テ居リマス、此意味ハ確カニ輸入平均價格ガ上ツテ居ルコトデアリマシテ、私共ノ唱ヘテ居ル輸入平均價格ヲ取ラナケレバナラヌト云フ說ハ、堀切政務次官ノ言ハレタノト一致シテ居リ

マスケレドモ、併シ政府ト致シマシテハ、私共ハ在野黨デアツテ、又與黨ノヤウナ感ジモ致シマスルガ、兎モ角モ從量稅ハ九百七十七アリマスルコトハ、私ガ本會ニモ申上ゲマシタコトデアリマシテ、大體是位ナ品物ナラバ、全部ニ互ッテ一定ノ平均價格ト云フモノヲ見ル時ニ於テ、私ハ取レヌ答ハナイト考ヘマス。ノデアリマスルガ、ソコヲ私共ガ取りマシタ、僅ナ重要輸入品ノ三四百萬圓以上ノモノニ付テ取ツタ所ニ依テ見マスルト云フト、三月ト十一月トヲ較ベテ見マスレバ、二割一分五厘ニナツテ居リマス、ソレカラ或ル大手筋ノ、本當ノ輸入ヲヤツテ居ル方面カラ得マシタ材料ニ依リマスルト、二割一分ニナツテ居リマスルガ、矢張是ハ五月ト十一月ヲ較ベタノデ、是モ品物ノ單價ニ依テ違ヒマセウガ、二十四種ノ重要輸入品ト云フ所ニ依テヤツテ居リマス、斯ウ云フヤウナ點カラ考ヘルト云フト、三割五分ニシタ所ガ、二割一分ニシタ所ガ、二割五分ニシタ所ガ、基礎ハ頗ル曖昧ナモノデ、實際ニ即シテ見マスルト、輸入平均價格主義、若クハ物價主義ハ、輸入平均價格ガ上ツテ來タノダカラ、内地ノソレニ對スル對抗產業ト比較シテ保護論モ論ゼラレルシ、ソレカラ又從量稅ノ所謂下リガ、矢張り輸入平均價格カラ根本ガ出テ來ルノデアリ

マスルカラ、輸入平均價格ヲ押ヘテヤッ
タ方ガ、實際ニ餘リ國民ニ過當ナ消費
税トシテノ負擔ヲ掛ケナクテモ宜イト
考ヘマス、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマ
シテ、物價ニ變動ガアルカラト云フナ
ラバ、爲替ニモ非常ナ變動ガアル、一
歩ヲ誤ッタナラバ亞米利加ガ今申シマ
シタヤウニ、金輸出禁止ヲシタナラバ、
途轍モノイコトニナッテ參リマス、ソレ
カラ又是カラ先キ政府ノヤリ方デモ、
巧ク逃避資本ノ管理ガ出來レバ宜イノ
デスケレドモ、是ハ中ニ獨逸ガヤリマ
シタケレドモ、十數回ニ互ッテ私共ノ調
ベタ所ニ依ルト、命令ヲ變ヘタリ、法
律ヲ變ヘタリシテモ、尙且ツ資本ガ逃
避致シマス、中ニ此逃避資本ノ統制ヲ
スルト云フコトハ困難ナコトデアッテ、
各國共ニ是ハ困リ抜イテ居リマス、今
度ノ法律ハ洵ニ結構ナ、逃避資本ヲ防
グコトデアリマセウト思ヒマスケレド
モ、是ハ中ニ商賣上ノ實際ト云フモノ
ニ當ッテ見マスルト云フト、資本ノ逃
ルノヲドウスルカト云フヤウナ點ニ付
キマシテハ、各國共非常ニ苦心シテ居
リマス、斯ウ云フヤウナ點カラ考ヘマ
スルト云フト、資本ハ必ズシモ法律ニ
依テ是ガ完全ニ逃避ヲ防グト云フコト
ハ出來ナイト考ヘマス、一方カラ考ヘ
ルト、日本銀行ノ保證發行制度ト云
フモノ一億二千萬ヲ十億ニ致シマシテ

モ、是カラ段々通貨ハ相當膨脹サセナ
ケレバイカヌデセウ、「インフレーション」
ヲヤラナケレバイカヌト云フコト
モ、是ハ世間一般ノ定論デアッテ、吾
ノ長ク據ッテ居ッタ「デフレーション」ノ
政策ハ、金輸出再禁止ノ今日ニ於テハ
之ヲ行フコトハ出來ナイダラウ思ヒマ
ス、サウシテ見マスルト、私ガ本會デ
モ申シマシタ如クニ、私ハドウシテモ
爲替ノ安定ト云フコトハヤラナケレバ
ナラヌト考ヘル、是モ高橋サンガ仰ッシ
ヤルニハ、爲替ノ安定ハ何處ノ國デモ
出來ナイデヤナイカト云フ答辯デアリ
マスガ、是ハ中ニ困難デアルカモ知レ
マセヌガ、兎モ角豫算ノ收支ト云フモ
ノハ、ドウシテモ直サナケレバナラヌ、
關稅ト消費稅ト、今ノ公債ヲ合セルヤ
ウナ方法デヤッテ居リマス、ヤハリ公
債ノ増發ト云フコトハ、爲替ノ下落ス
ル所ノ一ツノ材料デアリマス、是ハ私
ガ説明スルマデモアリマセヌ、斯様ニ
觀ジ來リマススト云フト、半期ノ五月末
日ノ輸入超過カラ考ヘレバ、非常ナ輸
入超過ニナッテ居リマシテ、是ハ見越輸
入モアリマセウ、目先爲替變動ノコト
ヲ考ヘタノモアリマセウガ、非常ニ大
キナ輸入超過ノ數字ヲ示シテ居リマシ
テ、年々ノ同期ニ較ベマス、一億四
千八百萬圓ト云フモノガ多クナッテ、一
月カラ五月マデハ二億四千三百萬圓ノ

輸入超過ニナッテ居ル、(是カラ考ヘテ見
マスルト)巧ク行ケバ宜シウゴザイマ
スケレドモ、目先ガ變リマス、材料
ガ非常ニ強クナリ、是カラ考ヘルト今
ノ三割五分ヲ押ヘタ所デ、之ニ應ジテ
從量稅ヲ引上ゲテ行カナケレバナラヌ
ト云フヤウナ狀況ニナッテ來ルノデヤ
ナイカ、若シ一步誤ッテ亞米利加ガ金輸
出禁止ヲスレバ、ポカ／＼ト又元ノ額
ニ爲替ガ上ッテ來ルデヤナイカ、斯様ニ
考ヘテ見ルト、爲替ヲ押ヘルト云フコ
トハ非常ニ危險ノ狀態デアリマス、斯
ウ考ヘマスガ、其代リ輸入平均價格ヲ
押ヘテ參リマス、物價ト云フモノハ、
御承知ノ通りニ、購買力ト内地消費狀
態ト、懷ノ勘定ト云フモノガ支配スル
ノデアリマスカラ、必ズシモ原則トシ
テ爲替ト一緒ニ動カナイ、斯ウ云フ點
カラ考ヘテモ私共ハ何故政府ハ輸入平
均價格ヲ根本的ニヤラナカッタカト云
フ點ニ付テ、モウ一應御説明ヲ戴キタ
イト思ヒマス

○堀切政府委員 只今ノ御質問ハ、色々
ナ點ニ涉リマシタカラ、ソレ／＼御
答申上ゲマスガ、第一過當ノ消費稅ト
云フ御説デアリマスガ、是ハ頗ル意義
ガアルノデアル、何故カト云フト、此
前濱口君ガ大正十五年ニ改正サレタ時
分ニ、私ハ關稅ハ消費稅ダカラ、此關
稅ヲ増徴スルコトヲ政府ハ取ッテ置キ
ニシテ、他ノ財政改革デ、稅ノ改革ヲ
ヤッタ方ダケ計算ニ入レテ行カナケレ
バナラヌト云フコトヲ極力私ハ主張シ
マシタ時ニ、濱口君ハ、關稅ハ別物デ
アルトテ、私ノ消費稅論ヲ極力否認セ
ラレタノデアリマス、私ハ之ニ承服ヲ
致シマセヌガ、濱口君ト最モ近イ關係
ヲ有セラレル中島君ガ、私ノ説ニ同意
セラレタ點ヲ以テ、私ハ何トナク愉快
ニ感ズルノデアリマス、唯併ナガラ過
當トハ私ハ考ヘマセヌノデス、物價ハ
安クナッテモ宜イガ、安クナッタ物サヘ
買フ力ガ國民ニナクナッテシマッタ、是
ガ私ハ一番憂ヘザルヲ得ナイ狀況ト考
ヘル、又世界各國ノ最近ノ關稅ノ上ゲ
工合ハ、是ハ非常ナモノデアリマシテ、
日本ノ今回ノ三割五分ノ引上、其他ノ
改正ナドハ、是等ニ比スレバ非常ニマ
ダ／＼及バザル遠キ有様デアリマシ
テ、決シテ過當トハ考ヘマセヌ、ソレ
カラ又私ハ爲替二十五弗位ガ宜カラウ
ト唱ヘタコトヲ御聞キニナッタト云フ
コトデアルガ、私ハ左様ナコトヲ申シ
タコトガアラウト思ヒマス、併ナガラ
今政府當局トシテ、ソレガ宜イカラ左
様ニ今努力シツ、アリヤト問ハレハ
バ左様ナコトハ私ハ致シテ居ナイノデ
アリマス、是ハ矛盾スルヤウデアリマ
スガ、之ニ付テ私ハ、近頃ヤハリ世界
恐慌ニ於テ、英吉利ノ「パンク・オブ」

イングラント」ノ「デヨセフ・スタンフ」
アノ人ノ著書ヲ讀シタ時ニ斯ウ云フコ
トガ書イテアリマス、一國ノ政治家又
ハ財政家、金融業者等ガ、局ニ當リテ非
常ニ「コンサヴァティヴ」保守的ノ政策
ヲ採リテ、堅實ナル歩ミヲ爲スト云フコ
トハ結構ナコトデアアル、但シ其人ガ一
面ニ於テ非常ニ「ラヂカル」ナ急激ナ理
論ヲ以テ之ヲ主張スルト云フコトモ決
シテ惡イコトデハナイ、一面是ハ非常
ニ過激ナ、急進的ナ理論ト、堅實ナ實
際ノ政策ヲ行フト云フコトハ矛盾シテ
居ルヤウダガ、決シテ二重人格ト申ス
ベキモノデナイ、斯ウ云フコトヲ「デ
ヨセフ・スタンフ」ガ書イテ居ルノヲ見
テ、私ハ成程サウダ、政治家トシテ、
財政家トシテ理想ハ持ッテ居ナケレバ
ナラヌ、併ナガラ其理想ヲ直グニ實現
シヨウト云フノハ、本當ノ政治家デヤ
ナカラウ、政治家ト致シマシテハ實行
シ得ル最善ノ途ヲ選ンデ、是デ進ム、
併ナガラ其人ノ理想トシテハ、頭ノ中
デ考ヘ得ル一番宜イ所ヲ考ヘテ置クト
云フコトハ、決シテ矛盾シタコトデハ
ナカラウト思ヒマスノデ、二十五弗説
ヲ私ガ主張シタコトハアツタト私モ思
ヒマス、併ナガラ今政府當局トシテ二
十五弗ト云フコトニシナクテハナラヌ
トシテ、何等カノ政策ノ實現ニ努メツ
ツアリヤト云ヘバ、否ト答ヘザルヲ得

ナイノデアリマス、又爲替ノ關係ハ非
常ニ變動致シマス、又亞米利加ガ全輸
出禁止ヲヤルカヤラナイカト云フコト
ハ、容易ニ豫斷スルコトヲ許サヌノデ
アリマス、成程禁止ヲスレバ爲替ガ上
ルダラウ、シナイデ亞米利加ガ頑張ッ
テ居レバ、亞米利加ノ經濟界ハ益々惡ク
ナルカラ、日本ノ爲替ガ却テ上ルダ
ラウ、色々ノ想像ハ付キマスケレドモ、
是モ實際政治ノ局ニ當リマスル以上
ハ、何方カニ輕シク決メテ、サウシ
テソレヲ基トシテ政策ヲ樹テルト云フ
譯ニハ參リマセヌノデ、現在ノ所デハ
先ヅ三十二弗前後ヲ上下致シテ居ルヤ
ウナ有様デアリマスカラ、之ヲ基トシ
テ、私共ハ三割五分位ガ先ヅ適當ダラ
ウト考ヘマシタ、ソレデスカラ變動ハ
無論致スダラウト思ヒマス、思ヒマス
ケレドモ、九百幾ツカノ品物ガ一々變
動スルノニ較ベレバ、唯一ツノ金——
此爲替ガ變動スル方ヲ押ヘタ方ガ甚ダ
簡單デアアル、斯様ニ感ジマスル次第デ
アリマス、之ヲ見合セテ安定シタ時ニ
改正スルノガ宜イデハナイカ、是モ御
議論デゴザイマス、ケレドモ私共今日
本ノ産業狀態、經濟狀態ヲ見テ、サウ
シテ國內ノ産業ヲ起サシメテ、日本ノ
勞働者ガ茲ニ勞働ノ機會ヲ得ル、斯ウ
云フ機會ヲ與ヘルト云フコトガ、此際
一番必要ト感ズルノデアリマス、經濟

界ガ安定シテ仕舞フテ、サウシテドウニ
カスウニカヤッテ行ケル時代ニナッテ
ハ、此關稅改正モ餘リ必要デナクナル
トモ見ラレルノデアリマス、併ナガラ
ドウヤラ世界ノ經濟界モ安定致シマシ
テ、爲替モ相當ノ所ニ落付イタト云フ
見込ガ立チマシタ場合ニハ、此改正ヲ
更ニ又改正シナケレバナラヌ必要モ起
ルダラウト思フノデアリマス、ソレハ
此次ノ通常議會ニナルカ、來年ニナル
カ、無論豫斷ハ出來マセヌガ、サウ云
フコトニ至ルマデ當分ト云フ意味デ、
此案ヲ提出致シマシタコト、御承知ヲ
願ヒマス

○武田委員 私ハ今ノ中島君ノ御質問
ニ關聯シテ一寸伺ッテ置キタイト思ヒ
マス、今中島君ノ質問ト、政府當局ノ
應答ヲ伺ッテ見ルト云フト、爲替ガ安定
シナイ爲ニ色々上下スルデアラウト云
フコトニ付テハ、御一致ノ御考ノヤウ
ニ承ッテ居ルノデアリマスガ、私ハ其點
ニ付テ伺ッテ見タイト思フノデアリマ
ス、若シ物價モ未ダ安定シナイ、爲替
モ必ズシモ安定シナイ、或ハ亞米利加
ガ金ノ輸出禁止ヲスルヤウナ虞レモナ
イデモナイ、併シ現在ハ三十二三弗デ
アルカラ、ソレヲ押ヘテヤッタノダ、斯
ウ云フ風ニ承ッテ居リマスガ、私ハ若シ
安定シナイト云フ前提デアリマスと云
フト、此一律一體ニ三割五分ヲ増率ス
ルト云フコトニ付テハ、私モ中島君ト
同ジャウナ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマ
ス、併私ノ希望カラ申シマスと、政府
ハ現在三十二三弗若クハ三十弗見當デ
爲替ヲ何等カノ方法ヲ以テ釘付ケニス
ル、即チ今度資本逃避豫防法案トアリ
マスケレドモ、私ハ是ハ寧ろ爲替管理
ト云フ方ガ適當ダラウト思フ、其内容
カラ申シマシテモ、是ハ爲替管理法ト
云フノガ最モ適切デアラウ、又サウ云
フコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、
サウ云フ法案ガ既ニ出テ居ル今日ニ於
キマシテ、又爲替ノ安定ト云フコトハ、
日本ノ貿易上最モ必要デアルト云フコ
トモ、是亦當然デアリマス、左様デア
リマスレバ、今日日本ノ經濟狀態トシ
テ、或ル程度ノ爲替ノ安定點ヲ豫定致
シテ、サウシテ出來得ルダケ其處ニ安
定點ヲ見出サユナ政策ヲ採ルト云フ
コトハ、極メテ必要ノコトデナカラウ
カト思フノデアリマス、サウ云フ見當
ノ下ニ、一律一體ニ今日ノ現狀ヲ以テ、
即チ三十一二弗若クハ三十弗ヲ見當ト
シテ、三割五分一律一體ニ増率スルト
云フコトデアリマスレバ、初メテ此關
稅ノ從價稅ノ三割五分増率ト云フコト
ハ、經濟的ニ意味ヲ爲スト思フノデア
リマス、之ニ付テ中島君ハ輸入物價ノ
總平均デアルノガ相當デアラウト云フ
コトガ御意見ノ中ニアリマスガ、是ハ

成程御尤ノヤウニハ伺ヒマスケレドモ、併ナガラ今日爲替ガ三割五分内外下ッテ居ル、輸入品ノ平均價格ハ其率ニ應ジテ下ッテ居ナイ、斯ウ云フ御話ガアリマスケレドモ、是ハ一體私ガ申上ゲル迄モナク、爲替ガ下ッタカラシテ、其輸入物價ハ必ズシモ爲替ニキツリ適應シテ下ルト云フ筋ノモノデハナイ、併ナガラ相當ノ期間、或ハ半年若クハ一年ト云フ相當長イ期間ヲ眺メテ見ルナラバ、大體ニ於テ必ズシモ爲替ノ下ッタ額ト、此輸入品ノ物價ノ價格ト云フモノハ、相照應スベキ性質ノモノデア

ル、ダカラ今三箇月カ四箇月ノ間爲替ガ下ッテ、ソレニ照應シナカタカラト云フテ、輸入品ノ物價ノ總平均ヲ基本トスルト云フコトハ、私ハ餘リ適切ナ考デナイノデハナイカ、寧ロ此點ニ向ッテ堀切政務次官ノ御答辯ノ如ク、爲替ヲ本トシテ、爲替ノ下ッタ標準ヲ本トシテ、大體從價稅ノ増率ノ見當ヲ附ケルト云フコトハ、決シテ私共間違ッタコトデナイト、斯ウ思フノデアリマス、併ナガラ其點ニ向ッテ私ハ堀切政務次官ト同一ノ考デアリマス、是ハ適當ト思ヒマスガ、併シ其爲替ヲ、成リ放題ニシテ構ハヌト云フコトデアリマスレバ、是ハモウ上ッタリ下ッタリハ已ヲ得ナイ、爲替ノ上下ヲ其儘ニシテ置イテ、サウシテ其輸入稅率ダケヲ一律一體ニ

スルトナルト、私ハ此處ニ中島君ノ言ハレルヤウナ攻撃ノ論據ガアルノデハナイカト憂フルノデアリマス、ソコデ私ノ希望カラ申シマスレバ、何トカ此三十弗見當デ爲替ノ安定ヲ圖ル政策ヲ御採リニナル見込デアアルカドウカ、ソレハ御採リニナルト云フ見込デ、三割五分ノ増率ヲ爲サルト云フコトニナッタノデハアルマイカト云フヤウニ、實ハ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレデ其點ニ對シテノ政府當局ノ御意見ヲ一應承ッテ見タイト思フノデアリマス

○堀切政府委員 爲替ガ或ル點ニ安定致シテ居リマスレバ、是ハ非常ニ貿易上其他ノ關係カラ言ッテ都合デアリマスト云フコトハ、申ス迄モナイコトデアリマス、從テ安定ハサセタクテモ、中ノ之ガ言フコトヲ肯カスノデアリマシテ、日本デバカリ安定サセヨウト思ッテモ、外國關係デグラ〜變ッテ來ル、英吉利ナドデモ爲替ヲ安定セシムル爲ニ、大分アレハ努力シテ居ルヤウデアリマス、大分努力シテモ英吉利ノ政府ノ責任ニ依ラズ、外國ガ拙ク行ッタリ好ク行ッタリスレバ、之ニ依テ直グ英吉利ノ磅ガ影響ヲ蒙ルト云フヤウナ譯デアリマスルカラ、マア世界的ニ、國際的ニ爲替安定ノ策デモ講ズレバ別デアリマスガ、サウデナクシテ、一國ニ於テダケ之ガ安定セシメヨウト致シマシ

テモ、是ハ至難ノコトダト考ヘラレマス、是ハ昨日大藏大臣ガ豫算委員會デ説明ニナリマシタ、大體大臣ガアノヤウニ説明サレテ居リマスルカラ、之ヲ以テ御諒承下サランコトヲ希望致シマス

○中島(彌)委員 武田君ノ如キ、平素ノ反對黨デアッテ現在ノ同僚、與黨ノ同志カラ私ノ說ニ對シテ贊成ヲ得タコトハ、誠ニ意ヲ強ウスル次第デアリマス、堀切政務次官ノ仰セラレルノハ、濱口前總理大臣ガ前藏相當時ニ於テ、關稅ハ消費稅ト別物デアルト云フカラ、自分ガ之ニ對シテ消費稅ヂヤナイカト云フ論デ打合ッタガ、中島君ノ如キ、濱口サント非常ニ親シイ方ヨリ自分ノ說ニ贊成シテ吳レタコトハ誠ニ意ヲ強ウスルト言ハレタ吳レマシタコトハ、私ニ取リマシテハ、誠ニ迷惑デアリマシテ、私ト濱口サンノ關係ハ、八千萬同胞悉ク御承知ノコトデアルト思ヒマス、併シ濱口サンノ說ヲ持ッテ行ッテ、ソレマデモ私が相續シテ政界ニ立タナケレバナラヌト云フ程、私ハソレダケノ意ヲ受ケテ居リマセズ、政治的ノ遺産相續モ致シテ居リマセヌノデ、固ヨリ濱口サンノ主義政策ニ付キマシテハ、私共ガ之ヲ高調致シ、公正ニ之ヲ實行シテ行クト云フコトガ吾々後進ノ道デ、又恩義ヲ受ケタ人ノ道デアルト考ヘマス、

濱口サンガサウ云フコトヲ仰シヤラレタカドウカ、私ハ記憶シテ居リマセヌガ、此事ヲ持ッテ來テ私ニ押被セテ來ルト云フコトハ、少シ見當違ヒヂヤナイカト私ハ考ヘタノデアリマス、私ハ若シ濱口サンガサウ仰シヤラレタカ知リマセヌケレドモ、ソレハ堀切政務次官ト私ハ同意見デアリマシテ、ソレナラバ堀切政務次官ガ消費稅問題デ行ケバ、輸入價格論デ行カナケレバナラヌト云フ私ノ意見ニ御贊成下サルコトニナッテ來ルト考ヘマシテ、却テ私ハ堀切政務次官ハ私ニ對シテ御贊成シテ下サルト云フ意味ニ於テ、濱口サンノ說ヲ今辯駁シタト云フ結果ニ陷ッタノデハナイカト考ヘラレマス、斯様ニ考ヘテ見マス、政務次官ノ御考ヘニ於キマシテモ、亦吾々ト大體ニ於テ御心持ニハ一致セラレテ居ル、ダガ何故三割五分ヲ擱マレタカト云フコトヲ推測致シテ見マスルト云フト、ヤハリ是ハ保護論ト收入論ガ其處ヘ重ナッテ來ルノデハナイカト思ヒマス、赤字ヲ補填スルガ爲ニ、消費稅タル關稅ニ持ッテ來ルト云フコトガ一ツデアッテ、モウ一ツハ内地產業ヲ保護シタイ、此二ツ外見ラレマセヌ、ソレデ外割ニシテ五割四分爲替ガ下ッテ居ルコトモ事實、ソレカラ較ベレバ是ハ五割四分ヲ標準ニスルノハ餘リ高過ギハセヌカ、内割ニスレバ三割五

分、内割見當ノ所ヲ御取リニナッタノデセウガ、商賈人ハ外割ヲ取ッテ居リマセガ、私共ハ内割ヲ取ラウガ外割ヲ取ラウガ問題デハナイ、私共ハ消費稅トシテ論ジマスレバ、此物價主義、生産主義、價格主義、市價主義ト云フコトヲ根本トシテ行カナケレバイカヌト云フコトハ、私共ハ是ハ信ジテ疑ヒマセヌ、隨テ、斯ウ論ジテ來マス、ソコニヤハリ保護論ト云フコトニナッテ來マス、保護論ニナッテ來マスナラバ、今堀切政務次官モ仰セラレタヤウニ國內ノ産業ガ非常ニ疲弊困憊ノ狀態ニナッテ居ル、ドウシテモ保護シテヤラナケレバイカヌ、此産業ヲ興スニハ、從量稅ヲ一律一體ニ三割五分ヲ引上ゲテヤラナケレバイカヌ、斯ウ云フ風ニ仰シヤラレマシタガ、サウスルト、第一點ハ保護論ニナッテ來マス、保護論ニナッテ來マス、是ハ中ニ議論ガ面倒デアリマスケレドモ、本會デモ私が申上ゲマシタ如ク、上ッテ居ルモノモアレバ下ッテ居ルモノモアル、輸入品ノ價格ガ上ッテ居ルモノモ下ッテ居ルモノモアル、ソレカラ其儘ニ止マッテ居ルモノモアリマス、之ヲ一律一體ニズットヤッテ行クト、非常ナ不公平ナコトガ起ッテ來ハセヌカト私ハ考ヘル、殊ニ綿絲トカ人絹ト云フモノハ、人絹ハ此前ノ關稅改正ニ於テハ、立派ナ獨立シタ産業デアッテ、關稅ノ御

蔭ヲ以テ立タナクテモ十分デアル、斯ウ云フヤウナ意味カラ行キマシテ、人絹ハ減稅ヲセラレテ居ルノデス、ソレカラ綿絲ニ付キマシテモ、是ハ紡績業ハ堂々トシテ世界ノ所謂生産市場ニ横行闊歩シテ居ル、是マデモ置ク必要ハナイガ、是モ中ニヤカマシイ議論デアリマス、ソレカラ其中デ重量稅品ノ三割五分一律一體引上ゲノ中デ、新聞紙ニ使フ所ノ印刷用ノ紙ダケヲ除ケテ居ル、タッタ一品除ケテ居リマス、サウ考ヘテ來レバ、タッタ一品ダケ除ケテシマッテ、是ハ文化的施設ノ爲ト云フ昨日ノ説明デアリマシタガ、ソレモ除ケルコトハ宜シウゴザイマセウ、私ハ反對意見デセウト考ヘマス、除ケルコトハ新聞ヲ助ケル爲ニ、併ナガラ是ハ新聞紙ヲ使フカラ除ケルト云フコトガ原因デアアル、マア私茲ニ忌憚ナク言ヘバヤカマシクナッテ來ル、新聞ガ又聯合シテワア、言ヒ出シタラ收マリガ付カナイト云フコトヲ心配シテ除ケラレタノダラウト思ヒマス、今度ハ割合ニ關稅改正ニ付テ世間ハ相當論セラレタヤウデアリマスケレドモ、私共大正十五年

マシタガ、今度ハ其當時程割合ニ世間ガ動カナカッタ、世間ガ動ナカッタ理由色ニ調ベテ見マシタガ、内閣ガ、斯ノ如ク大養内閣ガ倒レタリ致シマシテ色ニ變動ガアッテ、是ガドウナルカ分ラナイト云フコトモ確ニ一ツノ原因デアッデセウ、サウ云フ點ニ依リマシテ、割ニ當業者ノ聲ハ少クテ、最近ニナッテヤカマシクナッテ來タ、殆ド木材ノ方ニ付テ調ベテ見マシテモ、當業者モ疲弊困憊シ切ッテ居ッテ、關稅ヲ上ゲナケレバ困ルケレドモ、モウ運動スル勇氣モナケレバ、金モナイト云フ狀態ニナッテ居ル、モウ皆弱リ切ッテ、三割五分一律一體ニ上ゲラレ、バ輸入品ヲ扱ッテ居ル人ハ全滅ニナル、非常ニ心配シテ居リマスケレドモ、ドウセ斯ウ云フヤウナ協力内閣ノ時ニナッタノダカラ、是ハ仕方ガナイト云フヤウナ自棄氣味ニナッテ居ル事情モアリマスガ、斯ウ云フヤウナ考デ、若シ一律一體ニ上ゲラレトスレバ、新聞紙ニ使フ紙ダケヲ除ケラレテ、他ノモノモ澤山アルダラウト私ハ考ヘマスガ、之ヲ何故オヤリニナラナイカ、若シソレガ出來ストスルナラバ、一々調ベルノハ面倒臭クテ、又其暇モナカッタデセウカラ、其點ハ御同情申上ゲマスガ、若シソレガ出來ナケレバ、英吉利ガ御承知ノ通り昨年ノ十一月十七日ニ「アブノーマル・イン・ポ

ーテーショナル・カストム・デューティー」ト云フ非常關稅法ト云フノデアリマセウカ、之ヲ實施致シタノデアリマス、此時ノ遣方ヲ觀察シテ見マスニ、是ハ一種ノ伸縮關稅ニナッテ居ル、中島知久平君ノ如キモ之ニ御賛成デアッテ、中外商業新報デ詳シク御意見ヲ拜聽シテ居リマス、私ハ洵ニ同感デアリマス、何等カノ方法ヲ講ジテ、一種ノ伸縮關稅制度ニシテ、英吉利ノヤッタノモ、是ハ商務省ニ命令デ一任致シマシテ、商務省ト、大藏省ト、ソレカラ關稅小委員トノ間デ相談ヲシテ、二十二種ノ品物ヲ取出シテ來テ、ソレダケデ從價十割以内トシテ置イテ、其中デ五割ダケ掛ケルコトニ致シテ居リマス、ソレモ二十八日間ニ議會ノ事後承諾ヲ得ルコトニシテ、六箇月ノ期間ヲ付ケテヤッテ居ル、是ハ見越輸入ノ防止デアッテ、爲替「ダンピング」ノ關係モアリマセウ、堀切先生ガ仰シヤッタ産業ノ維持ト云フコトモアッテ、斯ノ如ク期間ヲ限定致シテ、ソレカラ直グ議會ノ事後承諾ヲ得ルコトニシ、商務大臣ノ命令ニ一任スルト云フコトニシタ、一種ノ伸縮關稅ト云フ宜イ、斯ウ云フ工合デ、民政黨内デモ伸縮關稅論ニ反對論者モ澤山アリマスガ、私共或ル意味ニ於テ、斯ウ云フ時ニ却テ伸縮關稅ガヤレルンデヤナイカト考ヘル、政友會モ民政黨

モ餘リヤカマシイコトハ言ヘナイ、双方共協力シテヤラナケレバ、殊ニ高橋大藏大臣ガ政友會カラ言ウテ來テモ何モ聽カナイ、又中島商工大臣モ、後藤農相モ立派ナ方デアリマス、斯ウ云フヤウニ關稅、關稅ノ當局ハ相當ニ自信ノアルシツカリシタ人バカリ居リマスカラ、斯ウ云フ時ニ私ハ一定ノ期限ヲ切ツテ、伸縮關稅ニシテ、此モノハ除ケル、此モノハ除ケナイト云フコトニシタ方ガ、モット公平ニ行キハシナイカ、九百七十七ノ中デ新聞用ノ紙ダケヲ除ケテ居ッテ、後ハ除ケズニ居ル、殊ニ製紙用ノ「バルプ」ノ如キ、是ハ輸出品ノ原料トナルモノデアリマシテ、日本ノ貿易ノ振興上非常ニ重大ナモノデアアル、斯ウ云フ除ケルモノガアルノデハナイカト思ヒマス、斯ウ云フモノヲ考ヘテ見マシテモ、除ケルモノガ澤山アルニ拘ラズ唯一品ダケ除イテ、何故他ノモノヲ除ケナイカ、モウ三品、四品附加ヘテ綿絲、人絹位除ケテモ宜カラウト思ヒマス、無理ニ保護スル必要ノナイモノモアリマス、大藏當局ノ間ニ於テモ、コンナモノハ除ケテモ宜イ、コンナモノハ除ケナクテモ宜イト云フコトヲ研究セラレテ居ッタデアラウト思フ、何故新聞用ノ紙ダケ除ケテ、他全部九百七十七ヲ一律ニ御變ヘニナツタカ、保護スルトスレバ、是ハ洵ニ

不公平ナコトニナツテ、ドウシテモ保護論ナラバ、一品々々ノ輸入品ト、内地ノ對抗産業品トヲ對照致シマシテ、サウシテ保護サレテ居ルカサレテ居ナイカト云フコトヲ研究シナケレバナラヌト思ヒマス、一律一體ニズットヤルト云フコトハ、或ルモノニ保護ガ厚クナリ、或ルモノニ保護ガ薄クナツテ、是ハ保護論ト致シマシテハ、十分ニ當ヲ得タ處置デナイト私ハ考ヘル、若シサウナラバ、今言ツタヤウナ工合ニ、英吉利ノヤツタ流儀ノ如クニ、或ル程度ノ根本的ナ伸縮關稅デナクトモ、極ク輕イ意味ノ伸縮關稅ニシテ、サウシテ命令ニ一任シテ、除ケルベキモノヲ除ケルト云フ工合ニシタ方ガ、公平ニ行クノデハナイカト私ハ考ヘマス、今申シタ英吉利ニ於ケル非常緊急關稅ニ於テモ、サウ云フ方法ヲ執ッテ居リマシテ、是モ一定ノ期限ヲ付ケテ、事後承諾ヲ得ルト云フコトニナレバ、議會ノ立法權ヲ侵害スルコトモ少カラウト考ヘマス、政友會ニ於キマシテモ、中島知久平君ノ如キ伸縮關稅ノ贊成論者モアルヤウナ時節デアリマス、ソレカラ輸入論ト致シマス、今言ツタ如クニ千六百萬圓モ關稅カラ增收ヲ見積ッテ居リマスガ、高橋サンノ本會議ニ於ケル御説明ニ依リマスルト、一千萬圓ダケハ、大體ニ

於テ從量稅ノ五分引上カラ取レルヤウナコトニナツテ居ル、サウシマス、ヤハリ是ハ赤字補填ト財政ノ辻褄ヲ合セマス爲デ、此内閣ノ豫算ノ立テ方ヲ見マス、消費稅、ソレカラ公債ダケニ依ッタヤリ方デアツテ、爲替ヲ安定スルト云フコトハ宜イ、堀切政務次官モ先刻仰セラレマシタガ、ソレナラバヤハリ爲替安定ノ方法ノ根本策ヲ色々講ジテ行カナケレバナラヌ、サウシテ二十五弗說ガ理想デアルガ、現實ニハ今努力セラレテ居ナイト仰シヤツタ、ソレハ洵ニ矛盾撞著シタ話デアリマシテ、理想ナラバ、ヤハリ大藏大臣ノ輔佐役トシテ、其理想ニ導イテ行クヤウニヤラナケレバナラヌト私ハ考ヘマス、ソレハ併シ又御當人ノ態度ノ如何デアツテ、私共ガ茲ニ言フベキ限リデアリマセヌガ、何レニ致シテモ、斯ウヤツテ行キマス、尙ホ更爲替ガ安定セヌヤウニナツテ來マス、ドウシテモ財政ノ根本カラ建直シテ、整理節約スル點ハ相當整理節約致シ、ソレカラ日本ノ關稅ハ、直接稅ニ比シマシテハ、負擔ガ割合ニ輕イト申シマス、ケレドモ、ヤハリ他ノ消費稅トモ比較致シテ、サウシテ直接稅ノ増稅ヲヤルト云フコトモ、此内閣デアレバコソ、私ハヤレルト考ヘマス、政黨内閣ハ割合ニ選舉ガアルカラ、世間ノ人氣ヲ憚ッテ能クヤラナイ、

政黨内閣程勇氣ノナイモノハナイ、協力内閣ガ出來タ所以ハ、此勇氣ガアツテ、猛然トシテヤラレル所ニアルト考ヘラレマスガ、此點ニ考ヘマシテ、増稅ヲヤルト云フコトモ、是ハ非常ニ宜イコトデヤナイカト考ヘル、疲弊困憊シ切ッテ居ッテ、直接稅ヲ上ゲルヨリ外ニナイト高橋大藏大臣ハ豫算委員會デ言ハレマシタガ、民政黨ガ昨年立案ヲ致シマシタ程度位ノモノハ私ハヤツテモ宜イト考ヘル、此處ニ材料ヲ有ッテ居リマスガ、英國ニ於テモ、亞米利加ニ於テモ、財政ノ辻褄ヲ合スコトニ付テハ、一種ノ増稅ヲヤツテ居ル、サウシテ増稅ト豫算ノ所謂整理節約、此ニツラヤツテ、ソレカラ足ラヌ所ヲ公債ニ求メル、斯ウ云フヤウニシテ行クノハ、是ハ財政上ノ論デアリマシテ、大藏當局ノ人モ此處ニ來テ居リマスガ、大藏省ノ事務官ハ皆贊成デアリマス、斯ウ云フヤウナ公債ト關稅ダケニ總テノ負擔ヲ持タスト云フ財政ノ立テ方ハ、洵ニ國家財政ノ將來ヲ危險ナラシムルモノデアリマシテ、是ガ爲替相場ノ下ル材料デアツテ、所謂二十五弗トナルカモ知レマセヌガ、却テ堀切次官ノ如キハ二十五弗說實現ノ理想ニ向ッテ猛進シツ、アルト云フ說カモ知レマセヌケレドモ、私ハ斯ウ云フ點カラ考ヘテ見マスナラバ、財政ノ根本カラ立返ッテ、此點モ餘

程考へナケレバナラヌト考へマスル
ガ、堀切政務次官ノ御意見ヲ承リタイ
○堀切政府委員 直接稅ヲ増稅シタラ
ドウカト云フ御意見、是モ謹ンデ承ッテ
置キマス、消費稅ニ對シテ御同意下
スツタコトハ洵ニ有難イ、唯一概ニ關
稅ハ消費稅ダカラト云ッテ、普通ノ内地
消費稅ト同ジヤウニ見ル譯ニ參ラス、
ソコニ相違ノアルコトハ申上ゲテ置カ
ナケレバナラヌト思ヒマス、即チ關稅
ハ内地消費者ダケガ負擔スルモノト、
斯様ナ論斷ハ出來ナイノデアリマス、
外國輸出業者ガ自ラ之ヲ負擔スルト云
フ例モ屢々アルノデアリマス、現ニ今同
ノ増稅ニ際シマシテモ、從來ヨリモ少
シモ値ヲ上ゲナイデ、今迄通りノ値デ
供給スルカラ、契約ヲ結ンデ吳レト云
フヤウナ申込モ外國カラ來テ居ルモノ
モアルサウデアリマス、是ハヤハリ輸
出業者ガ自ラ之ヲ負擔スル、自分ノ費
用ノ中ニ之ヲ吸收シテシマフト云フ關
係ガアルノデアリマス、斯ウ云フ關係
ガアレバコソ、外國デ關稅ヲ上ゲルト
云フ際ニ、日本人ガ之ニ反對スルト云
フヤウナノモ、幾分自分ノ方ニ負擔ガ
轉嫁サレルカラト云フ關係ガアリマス
ルノデ、是ハ普通ノ増稅ト聊カ異、タ
點ガアルト云フコトヲ申上ゲテ置キタ
イノデアリマス、又直接稅ヲ増稅シマ
スニ付テモ、或ハ英吉利ヤ亞米利加ノ

ヤウニ、千萬長者ガ何十萬人モアルト
云フヤウナ國デハ、是ハ一寸ソコヲ上
ゲレバ、相當ノ財源ガ湧イテ參ルノデ
アリマスガ、日本ノ狀態ニ於キマシテ
ハ、中々サウ云フ狀態デモアリマセヌ
カラ、大臣ガ直接稅ヲ増稅スルト云フ
コトニ、豫算委員會デ躊躇サレルヤウ
ナ御答辯ヲ爲サレタノモ無理ハナイ點
カト考へマスケレドモ、併シ今後ノ日
本ノ財政狀態ハ、ドンナ風ニナルモノ
カモ、是ハ分リマセヌ、必要ナ場合ニ
ハ、或ハ直接稅ヲ増稅シナケレバナラ
ヌヤウニナルカモ知レマセヌ、只今ノ
所デハ、此議會ニハサウ云フ増稅案ヲ
出サナカッタノデアリマス、但シ御意見
ノ點ハ、是ハ能ク承ッテ記憶致シテ置
クコトニ致シマス、ソレカラ保護ノ目
的デヤナイカ、無論是ハ保護ノ目的デ
アリマス、保護ノ目的デアッテ、同時ニ
收入ガ入ッテ來ル、斯ウ云フモノヲ決シ
テ政府ハ拒ム考ハナイノデ、收入ガ之
ニ伴ッテ入ッテ來ルナラバ洵ニ結構、殊
ニ財政ガ非常ニ窮屈ナ場合デアリマス
カラ洵ニ結構デアリマス、但シ今回ノ
改正ノ主タル目的ハ、内地産業ヲ保護
スル、斯ウ云フ意味デアアルノデアリマ
ス、又材木等ヲ取除イタラドウカ、何
故新聞紙ダケヲ除外シタカ、是ハ所謂
文化ノ發展ノ上ニ大イニ必要ナモノデ
アリマスト同時ニ、從來ノ關稅改正ニ

際シマシテモ、新聞紙ハ取除ケラレテ
居リマス、吾々ノ尊敬スル濱口君ガ改
正サレタ場合ニモ、之ニハ増稅サレナ
カッタノデアリマス、先輩ノヤッタ好キ
例ヲ私ハ踏襲スルダケノコトデアリマ
ス、又材木等ヲ除外シタラドウデア
カト云フ御話デアリマスガ、ドウモ是
ハ……
○中島(彌)委員 除外セヨトハ言ハ
ヌ、人絹用「バルブ」トカ、或ハ綿絲、
人絹……
○堀切政府委員 是等モ今後ニ於キマ
シテ、之ヲ取除イタ方ガ本當ニ宜カラ
ウト云フヤウナコトデアリマシタナラ
バ、必ズシモ之ニ固執スル譯デヤナイ
ノデアリマス、唯現在ノ臨時議會ニ出
ス爲ニハ、之ヲ除キアレヲ除クト、之
ヲ一々議論ヲ致シマシタ日ニハ、殆ド
用意ガ整ハナイト云フヤウナ狀態ニナ
リマスカラ、先ヅ以テ一律ニ之ヲ増稅
致シタ次第デアリマス
○中島(彌)委員 私ハ紙ダケヲ除イタ
ノガヲカシイト云フノデス
○堀切政府委員 一ツモヲカシクナイ
ノデアリマス、所謂文化ノ上ニ大ナル
影響ヲ持ッテ參ル、又從來モ是ハ課稅ヲ
シナカッタ慣例デアリマス、之ニ依ッテ今
同モ亦是ハ増稅ヲシナカッタト云フコ
トダケノコトデ、何等此間ニヲカシイ
コトハアリマセヌ、ソレカラ色々陳情

ガアル、上ゲテ貰ッテハ困ル、下ゲテ
貰ッテハ困ル、斯ウ云フ陳情ノアルコト
モ全ク同様、關稅ヲ課ケルト云フ場合
ニハ、一部ニハ是ハ困ルト言ッテ反對
スル者ノアルノハ、是ハ當然ノコトデ
アリマス、一部分ハ上ゲナケレバナラ
ヌト主張スル、ソレデスカラ吾々ハ右
ノ耳ニ於テハ上ゲロ、左ノ耳カラ入ッテ
來ルノハ下ゲロ、兩方ノ論ヲ兩方ノ耳
デ聽イテ居ルヤウナ譯デアリマス、併
ナガラ是等ニ付テ必ズシモサウ云フ兩
方ノ議論ニ因ハレル必要ハアリマセ
ヌ、政府ト致シマシテ、其間ニ獨自ノ
判斷ヲ以テ、上ゲタ方ガ然ルベシト考
ヘルモノハ上ゲタ次第デアリマス、今
日ノ際ニ於テハ、吾々ハ日本ノ産業狀
態、内外ノ經濟關係ニ鑑ミテ之ヲ上ゲ
ルノハ當然ト、斯ウ考へマシテ、此案
ヲ提出シタ所以デアリマス
○中島(彌)委員 今ノ御答辯ハ誠ニ御
尤ナ御答辯デアリマスルガ、一品ダケ
除ケテ他ノモノモ何故研究シナカッタ
カト云フ點ニ付テハ、満足ノ答辯ヲ得
ラレナカッタノデス、併シソレハソレデ
宜イトシテ、公平ニヤルトスルナラバ、
一種ノ伸縮關稅制度デ行ッタラドウカ
ト云フ點ニ付テハ御答辯ガナカッタノ
デアリマスカラ、此點ニ御答辯ヲ戴キ
タイノト、ソレカラモウ一ツハ、私ノ考
デハ一千六百萬圓ノ收入ガ見積ッテア

リマスケレドモ、今日ノ不況ニ於テ、是ガ果シテ得ラレルヤ否ヤ此點、是モ將來ノ豫想デ、得ラレルト云ヘバ得ラレルシ、得ラレルト云ヘバ得ラレルセウケレドモ、斯ウ云フヤウナ非常ニ消費ガ減退シテ困ル時ニ、關稅ヲ斯ノ如クマデニ引上ゲルト云フコトニナリマス、却テ消費ノ減退ヲ益、刺戟致シマシテ、政府ノ所謂收入論ノ目的モ通ラナイノデヤナイカト云フ心配モアリマスガ、此點ニ對シマシテハドレダケノ御意見ト御確信ヲ有ッテ御出デニナリマス

○堀切政府委員 伸縮關稅ノコトニ付キマシテハ、御說ノ如ク英吉利ハ之ニ類スルモノヲヤッタト言ヒマスケレドモ、亞米利加ノ方デハ從來ヤッテ居タモノモ今度改メテ、又元ヘ戻スト云フヤウナコトデ、之ニ對シマシテハ兩論アリマス、外國ニ於キマシテモ、日本ニ於キマシテモ、之ヲ實行スルニ付テハ色々調査スベキ點モアリ、商工省ニ於テ中島君モ之ヲ主張セラレテ居リマスコトハ、是ハ實際ノ事實デアリマス、私共ハ尙ホ是等ノ點ニ付テ十分ニ調査致シタイ、斯ウ云フ考ヲ以テ今回ハ之ヲ提出シナカッタ譯デアリマス、ソレカラ豫定ノ歳入ヲ擧ゲ得ルカドウカ、此點ニ付キマシテモ、從來關稅ノ收入ニ對シマシテハ、大藏事務當局ノ

方ノ計算ガ非常ニ堅イノデアリマス、今回モ相當ノ消費減ト云フモノヲ、一割五分デゴザイマス、一割五分ノ消費減ヲ見積ッテ居ルヤウナ譯デアリマス、此前ノ濱口君ノ改正ノ際ニハ、私ハコンナニ少額ニハ止マラナイデ、マダ〱餘計ニ取レル、斯ウ言ウテ私ハ濱口サンニ打ッ突カッタ事ガアリマス、濱口サンハ、イヤソシナニ取レハシナイ、大藏省ノ計算以上ニハ取レルモノデハナイト言ウテ、大ニ議論致シマシタガ、結局取ッテ見ルトドウカト云フト、是ハ自慢ラスルヤウデスガ、私ノ計算ガピタット當ッテ居ル、餘計ニ取レタ、デスカラ私ハ先ヅ……

○中島(彌)委員 其時ト經濟狀況ガ違ヒマス

○堀切政府委員 經濟狀況ハ違ヒマスケレドモ……

○中島(彌)委員 濱口サンノヤッタ時ト問題ガ違ヒマス

○堀切政府委員 問題ハ違ヒマスケレドモ……

○中島(彌)委員 非常時デスヨ、非常内閣デ行ッテ居ルノデス

○堀切政府委員 委員長ノ許可ヲ得テ發言シテ貰ハヌト……(笑聲起ル)

○東委員長 靜肅ニ願ヒマス

○堀切政府委員 先ヅ併ナガラ是ハ見込デアリマス、私共ハ外國人ガ、景氣ガ

日本以上ニ惡イ、飽迄モ自分ノ販路ヲ擁護シナケレバナラヌ必要ガアルト云フヤウナコトデ、諸外國モ輸出ト云フコトニハ非常ニ重キヲ置イテ居リマスカラ、相當ニヤハリ輸入ガアルモノト思ヒマス、隨分辛ク見積ッタ收入デスカラ、此收入ハ私共ハ間違フコトハアルマイト、斯ウ信ジテ致シマシタ次第デアリマス

○中島(彌)委員 洵ニ何デスケレドモ、今ノ……

○堀切政府委員 チョット顔ダケ出シテ來マスカラ……

○中島(彌)委員 ソレデハ私ハ保留致シマシテ、午後ニ又質問ヲ致シマス

○櫻井委員 只今堀切政府委員ノ御說明ニ依ッテ、伸縮關稅ノ政府部内ニ於ケル意見ノ一端ヲ伺フコトガ出來タノデアリマスガ、マア一律一體ニハ、先程カラノ論議モアリマシタ通りニ、此場合大分色々ナ不合理ナ所、實際ニ合ハナイ點モアル、ソレ故今日ノヤウナ場合ニ於テハ、伸縮關稅ハドウデアラウカ、最モ適當デハナカラウカト云フヤウナコトハ、是ハ吾々ノ黨ノ纏ッタイ意見ガアル、此點ヲ私ハ伺ヒタイト思ッテ居リマシタガ、今丁度其點ガ論點トナリマシタカラ、關聯シテ一應伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、尤モ此

問題ハ政府トシテハ、今度ハ捨テタンデハナイガ、尙ホ研究スルコト云フ意味ニ於テ留保スルコト云フヤウナ意味ノ堀切君ノ御説明デアリマシタガ、私ハ商工省側デハ、伸縮關稅ニ付テハ相當ナ御意見ガアルコト、私ハ想像致シテ居リマス、決シテ商工省ト大藏省ト意見ガ違ッタトシマシテモ、其點ヲ吾々ハ彼此レ場合責メルトカ何トカ云フ意味デヤナイ、實際ニ此問題ヲ研究致シタイ爲ニ、忌憚ナク商工省側ノ政府委員ヨリ、伸縮關稅ニ對スル現下ノ御考ヲ、露骨ニ率直ニ一ツ所信ヲ承リタイト思フノデアリマス

○岩切政府委員 私モ伸縮關稅ノ事ハ、マダ研究ガ淺クテ答辯スルコトニ何デアリマスガ、併シ私一個ノ意見ヲ申上ゲマス(一個ノ意見デハイケナイト呼フ者アリ)ソレデヤ政府トシテノ意見ヲ申上ゲマス、伸縮關稅ト云フモノハ、私ハ非常ナ理論トシテ宜イモノダト考ヘマス、是ガ最モ精密ニ、能ク行ハレテ行クナラ、其場合々々ニ適當ニ關稅ガ伸縮シテ行クノデアリマスカラ、經濟界ニハ非常ナ好イ影響ヲ有ツモノダト考ヘルノデアリマスケレドモ、又同時ニ之ニハ色々ナ弊害モアルト私ハ考ヘル、斯ウ云フコトヲ政府トシテ考ヘマス、時ノ色々ナ政黨ノ力ナンカデ、妙ナ事ガ行ハレルコトモア

ルシ、中々容易ニ決定スルコトノ出來ナイ問題ノヤウニ考ヘマスカラ、政府當局トシテ之ヲ愈々實行スルト云フコトニナレバ、其時ト場合ト、社會ノ事情、政黨、政治組織、サウ云フコトヲ能ク研究シタ上デ斯様ナコトヲ決メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○櫻井委員 少シク商工省側ノ御意見ガ、遠慮セラレテ居ルヤウデアリマス、私ハモウ少シ率直ニ、露骨ニ承リタイ、成程今政府トシテ伸縮關稅ハ、此場合採ラヌト云フコトヲ決定セラレテ、此委員曾ニ臨ンデ居ラレノデアアルカラ、ソレニ矛盾ガ起ッテハ宜シクナイト云フ御考ガアルノハ無論デアリマス、併ナガラ私一個ノ意見ヲ申シマスレバ、此場合ニ於テハ、伸縮關稅ハ最モ宜シイト考ヘテ居ル、此信念ノ下ニ御尋ヲシタイ、ソレデ商工省側ニ假ニサウ云フ意見ガアルトシテモ、從來往々ニシテ大藏省側ガ能ク其意見ヲ抑ヘラレル、是ハドウモサウ云フコトハアルベキ筈ガナイノデアリマスケレドモ、ドウモ吾等ハ事實ト信ジテ居リマス、何カ大藏省ハ商工省其他ノ各省ヨリモ優越ノ地位ニアルガ如ク、從來傳統的ニ御考ニナッテ居ル、商工省カラ相當産業上適切ナ意嚮ガ出テモ、ドウモ大藏省ノ一ツノ傳統的ノ規格ニ嵌マラナイト、ソレヲ拒否セラレル所ノ傾ガ十分ニアルト

私ハ考ヘテ居ル、今回モ何カ左様ナ點カラ商工省側トシテハ、伸縮關稅ハ、而モ此過渡期ニ於テ、又此世界經濟ノ混亂時代ニ於テ、最モ適當デアルト信ジラレタトシマシテモ、ソレニ對シテ矢張大藏省側ノ頑強ナ、例ニ依ッテノ態度デ以テ、サウ云フ風ニ改メラレタシヤナイカト云フコトヲ私信ズル、併シ此場合、中島委員モ言ハレタ通り、野黨ノ如ク、與黨ノ如キ、甚ダ變ナ立場デアリマスカラ、斯ウ云フ機會ニザツクバラニ研究シテ置キタイト思フ、商工省側ハ商工省側デ、サウ云フ信念ガアラレタナラバ、大藏省トノ矛盾ヲ構ハズニ、ドシ、其信念ヲ吐露シテ戴キタイ、大藏省側ノ、ソレニ反スル所信ガアリマシタナラバ、吾々ハ兩方共承リタイ、吾々ハ自由ノ立場ニ於テ兩方ノ說ヲ判斷シテ見タイ、斯様ニ考ヘル、少シ立入ッテ想像過ギタヤウナ質問ヲスルト云フ感ジガアルカモ知レマセヌケレドモ、併シ其處ハ露骨ニ、オ互ニ國事ノ爲ニ、良イト思フコトハ吾々ハ眞劍ニヤラナケレバナラヌカラ、サウ云フ表面ダケ矛盾ノ出ナイヤウナ、形式的ノ答辯ヲ避ケテ、率直ナル御考ヲ伺ヒタイト思フデアリマス

○寺尾政府委員 只今ノ櫻井サンカラ御話ガアリマシタ、伸縮關稅ノコトニ付テハ、商工省トシテハ内部的ニ研究

ハ致シテ居リマス、先程色々御話ガアリマシタヤウニ、今日ノ經濟狀況ガ、色々非常ニ變態的ノ時期デアリマシテ、各國デモ關稅引上、或ハ輸入制限トカ、色々ナ方法ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ産業ノ保護ト云フ立場カラ見マシテモ、斯ウ云フ時代ニハ、或ル程度ノ、今問題ニナリマシタ伸縮關稅ト云フ風ナ非常ニ變態的ノ事情ニ應ズルダケノ、何カ此方ニモ備ガ必要デハナイカト云フコトニ付テハ、私共トシテ、十分研究ハ致シテ居リマスガ、マダ實ハ此議會ニ提案スルマデニ至ッテ居リマセヌ、大藏當局トモ十分其點ハ御相談ハ致シタノデアリマスガ、マダ成案ヲ得ルマデニ至ラナイノデアリマス

○櫻井委員 先程堀切政府委員ノ御話ニ、中島君ガ強ク主張セラレタト一寸言葉ガ聞エマシタ、ソレハ多分中島前商工政務次官ノコトデアラウト思フ、此一事ニ依ッテ想像シテ見マシテモ、相當強ク、尤モ中島君個人ノ意見デアッタカモ知レヌガ、併ナガラ商工省ノ意見デアルト推定シ得ルト思フ、ドウモ大藏省ノ例ノ筆法デ一蹴サレタ、今堀切君ハ中座セラレタカラ、私ノ質問ヲ十分御聽キナカッタと思ヒマスカラ、他ノ政府委員ノ御方カラデモ結構デアリマスガ、ソレ等ノ所謂真相ヲ露骨ニ大

藏省側ノ政府委員カラ御聽キ致シタイ

○堀切政府委員 櫻井君ハ大藏省ガ從來甚ダ横暴ヲ極メテ居ルヤウナ御質問デスガ、左様ナコトモ私共ハ考ヘマセヌノデ、唯大藏省ノ立場上、各省ノ色々要求シテ參リマスモノヲ、金庫ノ番人ガオイ宜シ來タト言ッテ一々出シテ行ッタ日ニハ迎モヤリ切レナイカラ、之ヲ拒絕スルト云フコトガ多イダラウト思ヒマス、是ハ決シテ併ナガラ横暴ノ爲メデハナイ、職責ヲ盡スニ忠ナラントスレバ、ドウシテモサウ行カナクテハナラヌガ、併シ必要ナモノハドシドシ支出スルコトヲ敢テ拒否シマセヌ、斯ウ云フ立場デアリマス、此問題ニ付キマシテモ、大藏省内部デモ、是ハ贊成者モ反對者モアリマシタ、能ク斯ウ云フ點ニ付キマシテハ大藏省側トシテモ研究ヲ遂ゲ、結局大臣ノ考モ之ヲ聽キマシテ、サウシテ今日議會ニ於テハ之ヲ提案セザルコトニ是ハ致シタ譯デゴザイマシテ、尙ホ此關稅審議會等ノ機關モアリマシ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、將來私共ハ十分是ハ研究スベキモノデアルト、斯様ニ感ジテ居リマス

○櫻井委員 堀切君ナドガ大藏省ニ御出デニナレバ、大分私ノ考ヘテ居ル方面ヘ大藏省ノ空氣ガ改善サレルト私ハ信ジテ居リマスケレドモ、今堀切君ノ

説明ノ、金庫ノ番人デアアルカラ拒絶スル、其點ヲ言フノデアラウト言ハレルノハ少シ當ラナイ、併シ私ハ其言葉ヲ藉リテ言ヘバ、大藏省ハ金庫ノ番人ノ立場ニ居ッテ貫ヒタイ、ソレガ商工大臣ノヤル仕事ニモ、農林大臣ノヤル仕事ニモ、總テ踏込ンデ、産業大臣氣取ヲヤラレルカラ困ル、内務大臣、大藏大臣ハ副總理デアルト云フヤウナ、各省大臣ヨリ優越ナ地位ニアルト誤ッテ考ヘラレルノハ困ル、サウ云フ大藏省ノ考ヘニ依ッテ、我國ノ經濟ガ從來歪メラレテ居ル、斯ノ如キコトガ我が産業經濟上ノ一大病弊デアアル、大藏省ハ須ク金庫ノ番人ノ立場ニ立チ、産業經濟ニ關スルコトハ産業省ガ二ツアルノデ、其意見ニ重キヲ置カレルコトガ至當デアアル、殊ニ保護ト云フ意味ニ於ケル關稅ト云フ問題ニ付キマシテ、商工省カラ意見ガ出タナラバ、大藏省ハ商工省ノ意見ニ從フガ當然デアアル、金庫ノ番人ガ生キタ産業ノ生キタ仕事ヲシテ居ル者ノ判斷ヲ、ナゼ拒絶セラレルカ、大藏省ニ能ク分ルコトハ銀行ノコト位デアアル、ソレガ商工省、農林省ノ判斷スベキコトマデ立入ッテナサルト云フコトハ、從來産業界ノ弊害デアアル、其弊害ノ及ブ所ガ、今日保護ヲ主トスル關稅問題ニ於テモ亦現ハレタノデハナイカ、寧ろ是ハ普通ノ野黨、與黨ト云フ

ヤウナ立場ニ於テハ、此論ハ中々ムヅカシイノデアリマスガ、今度ノヤウナ議會ニ於テハ、是ハ十分露骨ニ論議スル方ガ宜シイト考ヘマシテ、多少想像モ推測モ加ヘルヤウナ嫌ヒガアリマスケレドモ、私ハ率直ナ答辯ヲ求メタイト思フ

○堀切政府委員 ソレハ實情ヲ少シ誤解ナスッテ居ル御質問ダト思ヒマス、今

同出シマシタ此改正案ニ付キマシテハ商工省カラ御提出ニナリマシタモノヲ、全部はハ私共ハ出シテ居リマス、農林省カラ御提出ニナッタモノヲ全部出シテハイケナイトカ、出スナトカ、斯ウシロト云フヤウナコトハ何モアリマセヌ、隨テ斯ウ云フモノニ付キマシテノ御答辯等モ、此兩省ノ諸君カラ御願シタイ考デアリマシタガ、如何セン、急ニ政變ガ起ッテ、政務官等ガ更迭サレマシタカラ、仕方ナシニ一人後ニ殘タ私ガオ喋リヲ心ナラズモ是ハ致サナケレバナラヌヤウニナッタ譯デアリマスガ、併シ個々ノ物品ニ付テ御質問ガアツタ場合ニハ、願クハ是ハ兩省デ御説明ヲ願ヒタイト云フコトヲ此間カラ申出タモノヲ、大藏省デ拒絶シタトカ云フコトハ少シモアリマセヌカラ御安心願ヒタイ、極メテ此間圓滿ニ進行シテ

居ル事實ヲ申上ゲテ置キマス

○櫻井委員 私ハ關聯シテ質問シタノデアリマスカラ、今日ハ此程度ニ止メテ置キマシテ、他日私ノ發言ヲ求メタ時ニ讓ルコトニ致シマス

○中島(彌)委員 今マデ御答辯ニ依リマシテ三割五分一率一體ニ從量稅ヲ引上ゲルト云フコトニ付キマシテハ、大體ニ於テ満足ナ答辯ハ得ラレナカッタ……

〔午後ニシテ吳レ〕ト呼フ者アリ

○東委員長 中島君如何デスカ

○中島(彌)委員 ソレデハ午後ニ致シマス

○東委員長 是デ休憩致シマシテ、午後二時半カラ更ニ開會致シマス

午後零時六分休憩

午後一時三十九分開議

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シマス

○江藤委員 一寸中島君ノ質問ニ關聯シタコトデ、政府委員及ビ中島君ニモ質問シタイノデスガ……

○東委員長 ソレデハ江藤君宜シウゴザイマス

○江藤委員 ソレハ中島君ノ質問ノ中ニ、關稅ノ引上ゲニ依ッテ千數百萬圓ヲ得ヤウト云フ政府ノヤリ方デハナイカト思フ、ソレヨリモ寧ろ直接國稅ニ

依ッテ、其金ヲ得タ方ガ宜カラウト云フ御質問ノヤウニ承リマシタガ、私モソレハ同感デアリマス、之ニ關シマシテ政府委員ノ御答ガ、亞米利加ノヤウニ千萬圓以上ノ資産家ガ何十萬トカ居ルヤウナ所デハソレモ意味ガアルガ、日本デハサウハ參ラヌト思フト御答ヘニナッタヤウニ承ッタノデアリマスガ、ソレニ付テ私ハ中島君ニ御伺ヒシタイコトハ、中島君ガ直接國稅ニ依ッテ、ドレダケノ程度ニ收入ヲ得ラレルカト云フコトニ付テ御研究ガアリマシタラ御教ヘテ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ政府委員ニ於カレマシテハ、直接國稅ニ於テドウ云フ理由デソレガ取レナイカト云フコトヲ、具體的ニ御示シテ願ヒタイ、私ハモット取レルト思フノデアリマス、日本ノ資産階級ヨリ税金ヲ取ルト云フコトニ付テハ、マダ〳〵取レル餘地ガアルト私ハ抽象的ニ考ヘテ居ルノデアリマス、デアリマスカラシテ、若シ政府トシテハ取レナイト云フ考デアルナラバ、ソレヲ具體的ニ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○東委員長 中島君御答ガアリマスカ

○中島(彌)委員 ドレ位直接稅ニ於テ取レルカト云フ割ニ付キマシテノ御質問デアリマシタガ、私政府委員デアリマセヌカラ細カイ數字ニ付テ詳シクハ持合セテ居リマセヌケレドモ、吾々民政

黨内閣時代ニ於テ、故井上大藏大臣ノ手ニ依テ立案セラレマシテ、將ニ議會ニ提出セラレントシテ居ル時ニ於テ、御承知ノ通り昨年十二月民政黨内閣ハ、協力非協力ノ争ヒニ倒レテシマッタノデアリマス、其時ニ於キマシテモ、少クトモ四千五百萬圓デアリマシタカ、五千萬圓デアリマシタカ、所得稅法ノ改正、所得稅ノ一般稅率、殊ニ第三種所得稅ノ改正ニ依ル引上ゲニ依テ取レルノト、資本利子稅ノ、今二分ニナツテ居リマスノヲ二分五厘ニスルトカ、三分ニスルトカ、其方面ノ改正トカ、或ハ又「ガソリン」稅ノ引上ゲトカ、色々ノ民政黨案ガアツタノデアリマス、ソレハ具體案トシテアリマシタケレドモ、議會ニ出ズニ濟ンデシマヒマシタ、ソレダケニ依テモ五六千萬圓ノ金ハ裕ニ取レルコトハ明ナ事實デアリマシテ、當時大藏事務當局モ嚴正公平ニ考ヘテ、政黨の考ヲ持タズニ何時モ考ヘテ居ラレマス、關稅ノ場合モ同ジコトデアルト私ハ考ヘマスガ、其意味ニ於キマシテ民政黨時代ニ於テモ、少クトモ五六千萬圓ノ金ハ取レル餘裕ガアルト認メテ居リマス、其案ノ内容ニ付テハ私ハ此處ニ持ツテ居リマセヌケレドモ、當時新聞ニ載ツタコトモゴザイマスシ、皆サン御承知ノコトデアルト考ヘマスガ、少クトモ五六千萬圓ノ金

ハ取レル、最小限度ニ見積リマシテ四五千萬圓ノ金ハ取レル、相續稅ニ付テモ、歐羅巴各國ノ相續稅ニ對照致シマスト、日本ノ稅ハ低イ、マダ之ヲ引上ゲル餘地モアリ、又三土鐵道大臣ハ、昨日ノ小川郷太郎君ノ御尋ニ對シテ、私案トシテハ相當ニ所得稅カラ引上ゲテ取レル案ヲ持ツテ居ラレルヲシノデアリマス、之ヲ此處デ發表スルニハ、三土サンカラ許可ヲ得テ居ラナイカラ發表出來マセヌケレドモ、斯ウ云フ協力内閣ノ時ニヤッタラドウカト云フコトヲ三土サンモ言ツテ居ッタコトヲ、直接デアリマセヌガ間接ニハ承ツテ居リマシタ、此案ニ依テモ相當取レル、ソレカラ今申ス通り、所得稅ハ大體個人所得ニ致シマシテモ、富豪ハ日本ニハ高橋サンノ言ハレル通り少イ、富豪カラ搾リ取ルト云フコトハ、三千萬四千萬ノ金ハ取レマスマイガ、一方ニ擴張致シマシタラ相當取レルト考ヘル、ソレヲ譬ヘテ見レバ三土サンノ御意見ノ如キハ、所得稅ノ免稅點ノ引下ゲノ如ク聽イテ居リマシタ、今ノ千二百圓ノモノヲ八百圓ニ引下ゲテ、三千萬ダカ五千萬ダカ忘レマシタガ取レルト三土サンガ言ツテ居ッタト云フコトヲ小川君カラ間接ニ聞イタノデアリマスカラ、私ガ此處デ公ケノ議論トシテハ言ヘマセヌケレドモ、所得稅ノ免稅點ノ

引下ニ付テハ、餘程金ハ取レル、是ハ社會問題ノヤカマシイ時ニ「サラリマン」階級ニ對スル所得稅八百圓ニ掛カルト云フコトハ重大問題ト考ヘマス、併ナガラ所得稅ハ御承知ノ通り公平ニヤツテ居ルノデアリマシテ、上ダケデハ金ハ取レマセヌ、全體カラ取ルヨリ仕方ガナイヤウニナツテ居リマス、斯ウ云フ關係デ所得稅カラ取ルト致シマシテモ、斯ウ云フ風ナ社會問題ニ觸レタ、所得稅ノ免稅點ヲ千二百圓カラ八百圓ニ引下ゲルト云フコトヲシマセヌデモ、四千萬ヤ五千萬ノ金ハ、社會政策の立法ヲ致シマシテモ相當取レルト私ハ考ヘマス、其他源泉課稅、綜合課稅ノ問題モ、多年ノ間議論サレテ居リマスガ、是デハ餘リ取レヌラシイ、其他細カイ部分ヲイデツテモ金ハ出テ來ル、累進稅率ヲ引上ゲテモ相當取レル、ソレデ關稅ダケニ一千六百萬圓依ラナイデモ、五六億ノ公債ヲ出ス、段々公債ガ殖エテ來ルト考ヘマス、今度ノ絲價補償ノ問題ニ付テモ、公債ガ殖エテ來マセウシ、斯ウ云フ風ニ公債バカシヲドン／＼殖ヤシテ行ク政策ト云フモノハ、是ハ財政ヲ餘程危險ニ導クノデアツテ、殊ニ爲替相場ノ下落ノ原因ニナツテ、國際貸借ノ所謂輸入超過ノ原因ヲ來シマス、洵ニ小川サンモ私ノ意見ニ賛成シテ呉レテ、私ハ感謝ニ堪ヘマ

セヌガ、所得稅ノ方面ヤ、今申シマシタ相續稅、或ハ「ガソリン」稅、斯ウ云フ風ナ部分ヲ入レマシテモ、資本利子稅ノ如キヲイデリマシテモ、四五千萬ノ金ハ裕ニ取レルト思フ、民政黨案モアリマシタガ、ソレハ詳シク存ジテ居リマセヌガ、私ガ今申シマシタコトモ大體民政黨案ノモノデアリマスカラ、ソレダケハ御答シテ置キマス

○東委員長 政府委員ニ御質問ガアッタヤウデアリマスガ……

○中島政府委員 只今江藤サンカラ堀切政府委員ノ御意見ニ對シマシテ御尋ガアリマシタガ、丁度堀切サンガ居ラレマセヌカラ直接御答辯ハ出來ヌト思ヒマスガ、唯私ガ先刻堀切サンノ御答辯サレマシタ時ニ、此處ニ居ツテ聽キマシタ頭デ、只今ノ御話ニ對シテ私トシテ一應御答シテ見タイト思ヒマス、御承知ノ通り今ノ稅法ハ、大正十五年ニ根本的改正ヲサレマシテ、所謂租稅ノ體系トカ、色々學問的ノ議論モアリマシタガ、今ノヤウナ制度ニ確立サレタノデアリマス、其後五六六年モ經ツテ居リマスカラ、色々事情ニ變更モアルト思ヒマスガ、大體十五年前ノ稅制ト云フモノガ、今日マデ來テ居ル譯デアリマス、地租法ノ如キハ、昨年御承知ノ通り變リマシタガ、一體國民ノ負擔ト云フモノヲ直接稅ニ持ツテ行ク方ガ

宜イカ、或ハ關接稅ニ重課スル方ガ宜
イカト云フコトハ、是非非常ニ議論ガ
アルコトデアリマシテ、私トシテ此處
デドウシタ方ガ宜イト云フコトハ明言
シ兼ネマス、併ナガラ先刻堀切サンノ
御答辯ハ、單純ニ抽象的ニ、直接稅ナ
リ間接稅ナリ、若クハ關稅ガ消費稅デ
アルトカ云フ御話ガアリマシタガ、サ
ウ云フ御話ガアッタケデ、今日ノ場合
ニ於テ關稅ノ一千六百萬圓ト云フ收入
ヲ得ル爲ニ、之ヲ目標ニシテ、其收入
ヲ目的ニシテ、ソレヲ何處ニ持ッテ行ク
カ、斯ウ云フ御議論デヤナカッタカノヤ
ウニ拜聽致シテ居リマス、無論先刻中
島君ノ御答辯ニモアリマシタヤウニ、
千六百萬圓ト云フ收入ガ伴ウテ、結果
トシテ來マスケレドモガ、是ハ或ハ言
葉ノ爭ニ過ギナイカモ知レマセヌガ、
政府ノ心持ハ何モ千六百萬圓ト云フモ
ノヲ赤字ガ出ルカラ赤字補填ノ爲ニ豫
メ備ヘルト云フ意味デハナイノデアリ
マス、ソレダケ御答致シテ置キマス

○東委員長 質問者ノ質疑ノ順序ハ別
ニ定メテ居リマセヌカラ、ドウカ適宜ニ
御質問ヲ願ヒマス、チヨット中島君ニ御
諮リシマシタガ、大體此會期ガ非常ニ切
迫シテ居リマスカラシテ、委員長ノ考
デハ、本日ト明日質問ヲ致シマシテ、
サウシテソレデ質問ヲ明日打切りマシ
テ、黨議ヲ決定致シマシテ、明後日上

程スルト云フヤウナコトニ致シタイト
考ヘマス、大體ノ豫想デスガ、サウシ
ナイト云フト貴族院ノ方ニ參リマシテ
モ、期間ガナカラウト思ヒマス、ソレ
デ質疑ガアル御方ハ、ドウカ成ベク簡
單ニ要領ヲ得テ、ドン／＼御進メヲ願
ヒタイト思ヒマス、是ハ私ノ大體ノ私
案デアリマスガ……

○中島彌委員 鐵ニ付テ質問致シマ
スルガ、百斤三十六錢ニ引上ゲルコト
ニナッテ居ルコトノ根據ガ、私共非常ニ
理解スルニ苦シムノデス、現在百斤十
錢ニナッテ居リマスガ、噸ニ直スト一圓
六十七錢デアリマス、是ガ殆ド噸六圓、
即チ百斤三十六錢デアアル、アレモ現在
ドウ云フ譯デ、銑鐵ヲ引上ゲナケレバ
ナラヌカ、銑鐵ハ御承知ノ通り基礎工
業デアリマシテ、銑鐵ヲ引上ゲルト云
フト「スチール」ノ方ニモ、其他鑄物ニ
モ非常ニ重大ナル影響ヲ及ボスモノデ
アッテ、當業者ノ方ニ於キマシテモ大
變此點ニ付テ關心ヲ持ッテ居ルヤウデ
アリマスシ、殊ニ此銑鐵ノ引上ト云フ
コトハ、御承知ノ如ク長イ間ノ是ハ議
論デアリマシテ、大藏省ノ方デモ今度
モ躊躇セラレテ居ッタヤウナ狀況ト思
ヒマスガ、ドウモ突如トシテ茲ニ出テ
來ラレタヤウニ感ジマスノデ、昨日中
島鐵平政府委員カラ御説明ガアリマシ
タケレドモ、頗ル簡單デアリマシテ、

ドウ云フ譯デ噸六圓、即チ百斤三十六
錢モノ引上ヲシナケレバナラヌカト云
フコトノ理由ガ私共解スルニ苦シムノ
デアリマス、殊ニ中島商工大臣ハ、本
會ノ席上ニ於キマシテ、私ノ問ニ對シ
テ引上ゲナケレバ潰レテシマフ、潰レ
テシマヘバ勞働問題ガ起ル、其勞働問
題ハ大變ナ問題デアルト云フヤウナ御
答辯デアリマシタガ、ソレカラ副產物
ニ付キマシテハ、御承知ノ通り「ベン
ゾール」以下二十數種ノ副產物ガ出來
テ居リマス、是モ重大ナル問題デアリ
マシテ、成程政府事業ガマル／＼キリ潰
レルト云フヤウナコトガアレバ、ソレ
ハ副產物ニ付テモ非常ナ影響ヲシテ參
リマセウ、併ナガラ私共ノ今日ノ狀態
デハ、潰レナイト云フコトヲ前提トシ
テ居ルモノデアリマスルカラ、根本カラ
大分意見ガ違フテ居ル點ガアリマスガ、
先ヅ第一ニ政府ノ方デ噸六圓モ引上
ゲ、即チ百斤三十六錢ヲ何故引上ゲ
ナケレバナラヌカ——百斤三十六錢ニ
シナケレバナラヌカト云フ、此理由ニ
付キマシテ、モウ少シ詳シイ所ノ御答
辯ヲ頂キタイノデアリマス

○堀切政府委員 詳シイ答辯ハ私カラ
不向キカモ知レマセヌガ、大體申上ゲ
テ、尙ホ技術方面ノコトハ他ノ政府委
員カラ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマ
ス、鐵ノ關稅ハ、私共ハ寧ロ今日マデ

ハ國辱的關稅デアッタ、維新ノ當初ニ、
英吉利カラ押ヘ付ケラレテ、僅ニ五分
ト云フヤウナ安イ稅ヲ課セラレマシ
テ、其後明治三十五年カニ僅ニ之ヲ八
分カニ改正致シタ儘デ、課稅權ノ上ニ
束縛ヲ加ヘラレテ、ズット初メニ於テ
ハ、日本デハ最近マデノ支那ノヤウニ、
動キモ何モ出來ナカッタ狀況デアッタノ
デアリマス、之ヲ稅權ノ回復ト共ニ、
或ル程度マデ保護ヲ加ヘテ、此軍事方
面ニモ非常ナ關係ヲ持チ、又我國ノ基
礎產業、其内ノ又基礎產業タル製鐵事
業ヲ大成セシメナケレバナラヌト云フ
ヤウナ考ガ、朝野ノ間ニ有力デアリマ
シタ、サウシテ此前十五年ノ改正ノ
際ニモ、政府當局ハ之ヲ適當ノ程度マ
デ上ゲヤウト致シタノハ事實デアリマ
ス、然ルニ彼ノ印度ハ之ニ對シテ、日
本ノ綿絲ニ復讐的ノ課稅ヲスルカモ知
レヌ、斯ウ云フ機運ガ判ッテ參ッタノデ、
當時政府ニ於テハ斯ウ云フ點ヲ考慮サ
レテ、サウシテ關稅ヲ引上ゲルコトヲ
止メテ、サウシテ此製鐵獎勵金ヲ別ニ
ヤルコトニ致シタノデアリマス、彼ノ
當時モ私共ハ獎勵金ト云フヤウナ制度
ニ依ラズ、關稅デ以テ之ヲ保護スベキ
モノデアルト云フコトヲ主張シテ參ッ
タ、併シ政府ハ別ナ方針デ——當時片
岡君ノ時代デアリマシタガ、獎勵金ヲ
吳レテ關稅ヲ上ゲナイデ來マシタ、是

ダケノ義理ヲ日本デハ盡シテ居ルニ拘ハラズ、其後印度ハ日本ノ綿絲ノ稅ヲドンノ上ゲマシタ、此方デ何ンボ義理ヲ守ッテモ、向フデハドンノ勝手ニ引上ゲル狀況デアリマス、今日ニ於テハ私共ハ日本デ之ヲ引上ゲタカラト云ッテ、決シテ差支ガナイ、寧ろ當然ノ處置ナリト斯様ニ感ズルノデアリマス、而シテ今日ノ鐵ノ價ハ、輸入鐵ハ沖著ニ於テ約二十圓、是ガ又愈、港ニ揚ゲテ見ルト、諸掛リガ掛リマスカラ、噸當リ約二十六圓見當ト云フ所ニアリマス、之ニ對シテ一噸六圓ノ關稅ヲ課ケ、同時ニ四圓ノ保護ヲ之ニ與ヘルト、約十圓ニナリマスルカラ、是ナラバドウヤラ斯ウヤラヤットコレト外國品ト競争シテ行ケルダラウト、斯様ニ私共ハ感ズルノデアリマス、サウシテ沖著二十圓ニ對シテ六圓、或ハ此到著值段ノ二十六圓ニ對シテ六圓ト云フノハ、是ハ二割乃至三割位ノ稅ニナッテ居リマシテ、諸外國ノ鐵ニ對スル保護關稅ト致シマシテハ、決シテソナニ高イ關稅デハナイノデアリマス、又斯ウ云フ工業ヲ先以テ之ヲ日本人ノ手デヤッテ、サウシテ所謂基礎產業カラ各方面ニ非常ナ重大ナ關係ヲ有ッテ居ル產業デアリマスカラ、斯ウ云フモノハ私共ハ保護ノ必要アリト斯様ニ認メ、其稅率モ諸外國ノニ之ヲ比ベマス、決シ

テ日本ダケ特ニ高イ稅ヲ課ケタノデハナイト云フコトヲ申上ゲテ置クノデアリマス

○中島(彌)委員 沖著值段ガ二十圓デ、諸掛リガ六圓ト云フノハ、是ハ間違デハアリマセスカ、沖著值段ハ二十圓デス、政府カラ頂キマシタ此政府ガ關稅改正ノ審查委員ニ提出致シマシタモノヲ見マシテモ、一月カラ四月マデノ沖著值段ガ二十六圓ニナッテ居ルヤウニ見マシタガ、昭和七年ノ沖著值段ガ問題デアリマシテ、此沖著值段ト生産費ト比ベルコトニ依テ、保護スルカ保護セヌカト云フコトガ生ジテ來ルノデアリマシテ、二十六圓ガ沖著值段デアルト私共ハ記憶致シテ居リマス、又現ニ七頁ノ所ニ依テ見マスルト、昭和七年ニ沖著值段ガ、一月ガ二十四圓七十五錢ニナッテ、二月ガ二十五圓五十八錢、四月ガ二十六圓七十三錢ニナッテ、沖著值段ヲ二十圓ト見テ置イテ、ソレニ以テ行ッテ六圓ノ諸掛リヲ入レルト云フコトニナルト云フト、是ハ洵ニ銑鐵ヲ餘リニ値下リヲ見積ッテ居ッテ、其理論ノ根據ハ何處カラ出テ來ルノデアリマスガ、私共ハ頗ル解釋ニ苦シムノデアリマスガ、此根本ノ數字ノ桁ガ六圓モ違ッテ參リマス、是カラ先キノ生産費ノ比較ノ方法ガ非常ニ違ッテ來ルコトデアリマスカラ、關稅改正

委員曾ノ大藏省デヤラレタ諮問第一號二ノ中ノ銑鐵ト云フ部類ノ中ニハ、沖著值段ハ四月ニ二十六圓七十三錢ニナッテ居リマス、商工省調ト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ製鋼銑鐵消費工場最寄港渡シト云フコトニナッテ居リマス、私共ノ今迄研究シテ居ル所ニ依ルト、沖著值段ガ二十六圓トナッテ居リマスガ、沖著值段ヲドウ御覽ニナッテ居リマスガ

○堀切政府委員 實ハ是ハ私共ノ言違ヒデアリマシテ、商工省ノ調ニ依リマスト、沖著值段ガ二十三圓八十三錢デアリマス、陸揚、諸掛リヲ計算シマシテ二十五圓四十三錢、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、之ヲ訂正シテ置キマス

○中島(彌)委員 サウシマス、商工省ハ一月カラ何月マデノ統計ヲ取ラレタノデスカ、七年一月カラ四月カ五月マデノ統計ニ依テ二十三圓ト云フコトニナッタノデアリマスガ

○竹内政府委員 是ハ銑鐵ダケデハゴザイマセヌガ、大體此際……

○竹内政府委員 他ノ品目ニ付テモ大體サウ云フヤウナ沖著值段ノ採リ方ヲシマシタガ、銑鐵モ同ジヤウナ採リ方ヲシテ、一月乃至三月マデノ沖著值段ノ平均ヲ取ッテ、生産費ト對照シタノデアリマス

○中島(彌)委員 堀切政府委員ノ言ハレマシタノハ二十六圓ト言ハレマシタガ……

○東委員長 委員長ノ許可ヲ得ナイデ勝手ニ發言シデハ困リマス、速記者ガ困リマス

○中島(彌)委員 ドウモ吾々ハ合點ガ行キマセヌガ、印度銑鐵ノ「バーン」カラ來タノト、又「タタール」カラ來タノデ十五萬噸來テ居リマスガ、私共ノ解釋シテ居ル所ニ依ルト、十萬噸ガ「バーン」ノ方カラデ、後ノ四萬噸カ五萬噸ガ「タタール」カラ來テ居ルヤウニ思ヒマスガ、其兩方ヲ平均シタノデスカ、

○中島(彌)委員 堀切政府委員ノ言ハレマシタノハ二十六圓ト言ハレマシタガ……

○中島(彌)委員 沖著值段ノ平均ヲ大體一月カラ三月マデノ實績ニ依テ……

○中島(彌)委員 ソレハ銑鐵ダケデアリマスガ

○竹内政府委員 沖著值段ノ平均ヲ大體一月カラ三月マデノ實績ニ依テ……

○中島(彌)委員 ソレハ銑鐵ダケデアリマスガ

○中島(彌)委員 沖著值段ノ平均ヲ大體一月カラ三月マデノ實績ニ依テ……

○中島(彌)委員 ソレハ銑鐵ダケデアリマスガ

○竹内政府委員 沖著值段ノ平均ヲ大體一月カラ三月マデノ實績ニ依テ……

○中島(彌)委員 ソレハ銑鐵ダケデアリマスガ

又他ノ鐵等ヲモ一緒ニ入レテ平均シタ
ノデアリマス、其平均ノ基礎ハ何處
ニアリマス、二十三圓五十三錢ト云
フ沖著値段ノ基礎ハ……

○竹内政府委員 只今堀切次官が二十
六圓ト御答ニナリマシタノハ、多分銑
鐵全體ノ平均沖著値段ダト思ヒマス、
私共此關稅ノ改正ニ付キマシテ、輸入
防遏ノ標準目的ト致シマシタノハ、無
論印度ノ銑鐵デアリマス、印度カラ來
タ銑鐵ノ沖著値段ヲ一月カラ三月迄ノ
平均ヲ致シマス、二十三圓八十三錢ニ
ナリマス、ソレヲ課稅ノ標準ト致シマ
シタ

○中島(彌)委員 サウスルト印度ノ銑
鐵及ビ印度以外カラ、小部分デアリマ
スガ來テ居リマス、吾々ノ基礎トス
ルノハ二十六圓ヲ取ッテ行クベキデア
ルト思ヒマス、如何デスカ、二十六
圓ト云フコトヲ基礎トシテ、實際ノ沖
著値段ハ今日爲替相場ガ下ッタニ付テ
三十圓以上ニナッテ居リマス、サウス
トアナタ方ノ計算セラレル沖著値段ト
云フモノハ、「ルビー」ヲドノ位ニ見テ
換算デスカ、「スターリング」ダノ、「ポ
ンド」ダノノ關係ヲドウ見テ換算シタ
沖著値段デセウカ、之ヲ一ツ聞カシテ
戴キタイ、今申上ゲル通り印度ノ「ル
ビー」ガ平價ノ時ニハ、御承知ノ通り百
四十「ルビー」位ニナッテ居リマス、

六月四日デハ百十五「ルビー」ニナッテ
居リマス、「ルビー」ノ換算ノ基礎ハ何
處カラ來テ、沖著値段ヲ決メタノデア
リマス、二十六圓トカ三圓トカ云フ
ノハ、百十五「ルビー」ヲ標準トシタノ
デスカ、又平價デ見テ行ッタノデスカ

○竹内政府委員 是ハ大藏省調査ノ輸
入申告價格ノ平均デゴザイマス、其當
時ノ「ルビー」ノ相場ハ多分百二十「ル
ビー」位ダッタト思ヒマス

○中島(彌)委員 百二十「ルビー」ヲ基
礎ニシタノデスカ

○竹内政府委員 最近ノ「ルビー」ノ相
場ハ百十六「ルビー」ニナッテ居リマス
○中島(彌)委員 一昨日デハ百十五ニ
ナッテ居リマス——吾々ノ立論ノ基礎
ガ沖著ノ値段ヲ二十六圓トシテ、ソレ
カラヤッテ行カケレバ出來ナイノデ
アリマス、ソコガ政府委員ノ答辯ガ
頗ル曖昧デアッテ、他ノ點ト一緒ニシテ
シマッテ、二十三圓五十三錢ト言ハレル
シ、又政府委員ノ頭ノ中ニハ二十六圓ト
云フ頭ガアルヤウデスカ、其二十六圓
ヲ基礎トシテ行ッテ宜シイカ、ソレガ三
圓モ違ッテ行キマス、餘程違ッテ來ル
○堀切政府委員 是ハ私ガ聞キ違ヘト
シテ訂正シタノデアリマス、訂正シタ
ル以上ハ、後ニ申シタコトニ重キヲ置
イテ戴カナケレバ困ル、又二十六圓ト
云フノハ印度カラ來ルノデナク、各方

面カラ來ルノ平均シタノデ、印度カ
ラ來ルノハ二十三圓幾ラ、而シテ專ラ
印度カラ來ルノデスカ、之ヲ主トシ
テ考ヘテ戴カナクテハナラヌ

○中島(彌)委員 サウスルト、平均ガ二
十六圓ト云フコトナラバ、大藏省ノ輸
入沖著價格ト云フモノハ、低イモノモ
高イモノモゴチャマゼタノデアリマシ
テ、當業者ガ申告スル時ニ當リマシテ、
當業者ハ稅ノ關係カラ考ヘ、關稅トモ
ウ一ツハ所得稅ト營業收益稅ノ關係
デ、餘リ大キナコトヲ言フト餘計稅ヲ
取ラレヤセヌカト云フコトヲ憂ヘマシ
テ、低イコトヲ言フノデスカ、實際今日
印度カラ來タ沖著價格ハ、大體ニ於テ
今日ノ相場デハ三十圓以上ニナッテ居
ル、爲替相場ガ下リマシタガ故ニ、「ル
ビー」ノ關係「ポンド」ノ關係ナド色
色ノ關係カラ致シマシテ、三十圓以上
ニナッテ居ル、二十六圓ト見ルコトニ付
キマシテモ、是ハ餘程低ク見タ話デア
リマシテ、平均シタ全體ノ價格ガ二十
六圓ナラバ二十六圓ヲ基礎トシテ行ッ
テ宜イデセウ、ソレニ付キマシテ内地
生産費ト比較ヲ承リタイノデアリマ
ス、私共ノ調ベマシタ釜石ノ生産費、

是ハ政府ノ調ベト大體能ク似テ居リマ
スガ、銑鐵噸當リノ鐵鑛ガ十圓二十二
錢ニナッテ居リマス、是ガ政府ノ調ベ
ハ九圓六十錢トナッテ居リマス、ソレカ

ラ「コークス」ガ十圓七十八錢、政府ノ
調ベハ十一圓四十錢、ソレカラ石灰石
ガ七十四錢、政府ノ方ノ調ベデハ一圓
ニナッテ居リマス、媒熔スル爲ニ三十五
錢掛リマス、ソレカラ作業費トカ、動
力費ガ四圓八十錢ニナッテ居リマス、政
府ノ方ハ三圓五十錢ニナッテ居リマス、
ソレカラ修繕費及償却、器具機械熔鑛
爐ノ修繕其他ノ掛リガ一圓八十錢、政
府ノ方デハ一圓五十錢、營業費ガ私共
ノ方ガ一圓、政府ノ方ハ二圓五十錢、
斯様ナ關係デ、政府ガ見込マレタ標準
生産費ハ二十九圓五十錢トナッテ居ル、
私共ノ見込ハ二十九圓六十九錢、僅
カナ違ヒデ、大體此點ニ付テハ私共ノ
調査ガ正確デアルト云フ證明ノ一ツニ
モナリマス、政府ノ見込所モ大體同ジ
デアリマス、是レカラ先キガ問題デ
ス、政府ノ方デハ市場ノ運賃ヲ三圓ト
見テ居ル、ソレカラ金利ガ六十五錢、
固定資本ニ對スル利廻リガ二圓五十
錢、ソレカラ固定資本ニ對スル償却ガ
一圓五十錢、合計シテ七圓六十五錢ト
云フモノガ之ニ加ハッテ來マス、併ナガ
ラ生産費ト生産費ヲ較ベルナラバ、裸
ニシテ行カケレバナラヌ、工場出シ
ナラ工場出シト云フコトニ付テ較ベマ
シテ、ソレカラ先キノ問題ハ、會社ノ
經營ノ仕方如何ニ依リマシテ餘程違ッ
テ來ル、殊ニ私共ノ考デハ、銑鐵生産

費ガ引合フカ引合ハヌカト云フコトニ付テハ、丸裸ニシタ點カラ考ヘテ見ルト、今ノ私共ノ調ノ二十九圓六十九錢ト、政府ノ調ノ二十九圓五十錢、是カラ考ヘテ見ルト、之ニ七圓六十五錢ト云フモノヲ加ヘテ行クト云フ所ニ、私共ノ調ベタ日本ノ銑鐵業ト比較ニナラヌ理由ガ此處ニ伏在シテ居ルノデハナイカト考ヘマスガ、之ヲ加ヘルト云フコトニ付キマシテハ、會社ノ内容ヲ一斯ウ云フ席上デ發キ立テルト云フコトハ私共好ミマセヌガ、國民多數ノ利害得失ニ關スル問題ニ付キマシテハ、多少此點ニ立入ッテ見ナケレバナラス、鶴見ノ淺野ノ生産費ヲ見ルト、是ハ非常ニ安クナッテ居ル、原料ノ費用ガ二十一圓トナッテ居リマス、其内譯ハ鑛石ガ五圓八十九錢デ、銑鐵噸當リデ行キマスト八圓七十三錢、ソレカラ「スクラップ」ヲ使ッテ居ル、是ガ二十七錢、「スラッグ」ガ二錢、石灰石ガ七十四錢、「コークス」ガ十一圓二十四錢トナッテ居リマス、此合計ガ二十一圓ト、斯ウナッテ居リマス、ソレガ原料費デアリマシテ、ソレニ製造費三圓六十六錢、之ガ工場内デ働ク勞働者ノ賃銀、給料、賞與ガ這入ッテ居リマス、營業費ハ六十三錢デアッテ販賣費其ノ他、本社デ働イテ居ル者ノ賞與、給料、ソレカラ銷却ヲ見マシテ、之ガ二圓十錢ニナッテ、雜收入、

是ハ十四錢ダケ控除シテ居リマスガ、是ハ副產物カラ出來ルモノヲ控除シナケレバナラス、此政府ノ生産費ノ中ニ標準生産費二十九圓五十錢ニ當ッテ居ルモノヲ見マシテモ、更ニ昭和五年ニ民政黨内閣當時ニ於キマシテ調ベマシタ生産費ノ中カラ見マシテモ、副產物ノ收入ト云フモノヲ控除シテナイガ、是ハ控除シナケレバイカヌト考ヘマス、私ノ考デハ政府當局ハ銑鐵噸當リニ付テ、副產物ヲドノ位ニ見テ居ルカ、八幡製鐵所ニ於テドレ位ニ見テ居リマス、其他ノ六會社ニ付テドレ位ニ見テ居ルカ、此點ヲ私ハ承ッテ見タイ、是ハ副產物トシテ賣ルノデアリマスカラ、之ヲ控除シナケレバイカヌ、サウスレバ副產物ニ捨ヘルニ付テ掛ル所ノ色色ノ生産設備ニ付テ又又生産費モ見ナケレバイカヌデハナイカト云フコトモ起ッテ來マセウガ、ソレヲ引イテモ宜シウゴザイマス、兎ニ角八幡製鐵所デ見マシテモ、副產物ト云フモノガ非常ニ莫大ニ出來テ居ルノデアッテ、要スルニ製鐵所ヲ保護スルト云フ一面ニ於キマシテモ、竝ニ副產物ハ日本ノ製造工場デ非常ニ大事ナモノデ、「ベンデン」、「オキシフル」トカマダ澤山アリマシタガ之ヲ噸邊リドレ位ニ見テ居ルカ、控除スベキモノデアルトスレバ、淺野ノヤリ方ノ如ク、之ヲ噸當リニ付テ、私

等ノ方デハ控除收入ト致シマシテ副產物ヲ相當控除シテ居リマスガ、是ハ控除スベキモノト思ヒマス、之ニ付テ政府ノ方デドウ御考ニナルカ、ソレカラモウ一ツハ今日伺ヒマス、生産費ノ中ニ於キマシテモ、今申シマシタ市場マデノ運賃ガ三圓、此三圓ハ私ハ非常ニ高イカト考ヘマス、市場マデノ運賃ヲ、本溪湖、ソレカラ鞍山ヤ、兼二浦ヤ、釜石ヤ輪西ト云フヤウナ是等ノ民間六社カラ持ッテ來ルヤツヲ平均スレバ三圓ハ高イ値段ニナル、支那カラ東京橫濱ノ沖著ノ運賃ヲ見レバ、サウ云フ運賃マデモ平均スベキモノデナイノヲ、之ヲ平均シテ、此滿洲、日本、朝鮮、北海道ニアル運賃全體ヲ平均シテ三圓ニ見ルト云フコトハ、少シ見積リガ大キイカト考ヘマス、ソレカラ固定資本ニ對スル利廻リヲ二圓五十錢ト見テ居リ、ソレカラ銷却ヲ一圓五十錢ト見テ居リマスガ、此點ニ付キマシテモ、生産費ノ換算ニ付テ私共ハ頗ル疑問ヲ持ッテ居ル、何故カト云フナラバ、淺野ヲ除ケタ五會社ノ拂込資本金ハ一億萬圓ニナッテ居ル、ソレカラ社債及ビ借入ガ千二百五十萬圓、支拂手形ガ二千五百五十餘萬圓、資本金一億ニ對シテ負債ガ三千三百萬圓ニナッテ居ル、年七分ノ利息ト見マシテモ、二百三十萬圓以上ニナッテ來マス、之ヲ昭和四年ノ五會社

ノ銑鐵製造額ノ五十七萬三千噸デ割ッテ見レバ、約矢張噸四圓ト云フ負債ガ出來テ來ル、噸四圓ニ當ルヤウナ負債ヲ持ッタ此五會社ヲ、銷却ノ中ニ入レテ行ク、サウシテ之ヲ又此負債ノ利子マデモ此生産費ノ中カラ見テ行カナケレバナラスト云フト、是ハ莫大ナ生産費ニナッテ來ルノデアリマシテ、物價ノ狀況ガ大分違ッテ居リマセウガ、昭和五年二月二日ニ於キマシテハ、政府ニ於ケル調ベニ依リマスルト、是等ノモノヲ合算致シマシテ、今ノ雜費ト云フコトニナッテ、大正十四年五月ニハ十二圓ニナリ、昭和二年三月ニハ十圓五十錢ニナッテ來タ、昭和三年一月ニハ九圓七十錢、昭和四年四月ニハ九圓五十錢、昭和五年七月ニハ九圓五十錢ニ、此雜費ガナッテ居リマス、此中ニ前ニ申シマシタ負債ノ利子トカ、色々ノ負債ノ銷却ノ經費トカ、含マレタ金額ト思ヒマス、ソレカラ政府デ御調ベニナッテ居リマス噸當リ三十五圓六十五錢ノ中ノ裸ニシタ所ハ、私ノ方ノ調査ト、今言ッタヤウニ、殆ド同ジデアリマス、ソレカラ考ヘマシテ、後ト色々ノモノヲ合セテ、七圓六十五錢ト云フモノヲ加ヘナケレバナラスコトニナッテ居ル、是ハ運賃ガ先ニ申上ゲタヤウナ次第デアッテ、斯様ナ點カラ考ヘマシテ、頗ル私共ノ不思議ニ思ウテ居ルノハ、銑鐵ガ一噸

四百圓モシテ居タ時ノ會社デス、其四百圓モシテ居タ時ノ會社ヲ、今日ニナツテカラ其儘ノ設備——ソレハ多少違ッテハ居リマセウガ、其後休ンデ居ル熔鑪爐モアルシ、副產物モ随分不十分デアリマス、斯ウ云フヤウナモノ迄モ、所謂生産費ノ中ヘ含メテ考ヘテ見マサルト云フト、非常ニ生産費ガ高イモノナリマシテ、沖著價格ノ印度銑鐵ヲ二十六圓ト見マシテモ、コンナモノヲ除ケテ行キマシタナラバ、裸デ今ノ二十九圓ト二十六圓ト較ベマシテ、之ニ關稅ノ一圓六十七錢ト、ソレカラ補助金ガ噸當リ四圓何ガシ出テ居リマスカラ、ソレヲ加ヘマスト云フト、約五圓何ガシト云フモノガ出來マス、ソレヘ二十六圓加ヘマシタナラバ、三十一圓何ガシニナツテ來テ、丸裸ニ較ベテ見マスト、沖著渡シノ外鐵——外國カラ來テ居ル銑鐵ノ方ガ、安イト云フ結論ニナツテ來マシテ、何モ苦ンデ關稅改正ヲシテ、噸當リ六圓ノモノ迄ヤラナケレバナラヌカト云フ點ニ於テ、私共ハ非常ニ疑問ノ念ヲ持ッテ居ル、寧ロ是ハ負債ノ整理ヲシテ、負債ヲ切捨テサシテ、非合理的ナ、不合理ナ點ガ澤山アルヤウニ、私ハ聞イテ居リマスカラ、是等ノ點ヲ十分ニ掃除ヲシタ後ニ於ケル生産費ヲ割出シテ、サウシテ茲ニ印度銑鐵ナリ、或ハ外國カラ入ッテ來タ銑鐵

ノ輸入平均額ト此生産費ヲ較ベルト云フノガ、正論デヤナイカト私ハ考ヘル、之ガ爲ニ多年ノ間、銑鐵ノ關稅引上ゲト云フモノハ惱ンデ居タ、補助金ノ問題ニ付キマシテハ、今堀切次官ガ仰セラレマシタヤウニ、印度ノ報復關稅ヲ恐レテ、製鐵業者ニハ一噸當リ四圓何ガシ、ソレカラ銑鋼一貫主義デヤッテ居ル所ニハ、六圓ナニガシト云フモノヲ補助スルコトニナツテ居リマスガ、御承知ノ通り今ノ銑鐵ト云フモノハ、非常ニ補助サレテ居ル、噸ガ一圓七十六錢ノ上ニ以テ行ッテ、四圓ナニガシ關稅デ補助サレテ、ソレカラ其上ニ所得稅、營業收益稅モ、地方ノ附加稅モ免ゼラレテ、又必要ナ機械器具ニ至リマス迄、輸入稅迄モ免ゼラレテ居ルコトニナツテ居リマス、其上ニ又噸六圓ダケノ關稅ヲ課ケルト云フコトニナツテ來マシテ、サウシテ整理スベキモノハ整理セズ、私共ノ考デハ此日本ノ製鐵業ト云フモノ、所謂銑鐵製造ト云フコトニ付キマシテハ、餘程政府ノ方デモ、慎重ナル調査ヲサレテ、サウシテ整理サスベキ所ノモノハ整理サシテ、綺麗ナ會社ニシテ、生産費ト云フモノヲ相當引下ゲサシタルベキモノデヤナイカト云フコトヲ私共ハ考ヘマスガ、此點ニ付キマシテ、一應ノ御答辯ヲ願ヒマス

○中島國務大臣 只今中島君カラ、重ネテ其點ニ付テ、御質問ガゴザイマシタノデ、私カラ御答辯ヲ申上ゲマス、過日ノ本議場ニ於キマシテ、同様ノ御質問ガゴザイマシタニ對シマシテ、私カラ申上ゲルコトデハゴザイマセヌガ、私モ實ハ銑鐵ニ對スル國家的保護ノ厚キニ過ギルト云フ事實ハ、中島君ト共ニ之ヲ認メザルヲ得ナイノデアリマス、隨テ銑鐵事業ノ根本の整理、即チ銑鐵問題ノ基本的解決ハ、勢ヒ斯業ノ合理的統制ニ依ル外ハナイト信ズルノデアリマスガ、何ヲ申シマシテモ斯業ノ現狀ヲ見マサルト、印度銑ノ壓迫ニ堪ヘ兼ネテ居リマスルノデ、先ヅ第一著ニ此壓迫ヲ除キマシテ斯業全體ノ消費ヲ合理化致シマスニアラズンバ、或ハ統制ノ半途ニ於テ斯業ノ衰滅ヲ來スノデハナカラウカト云フ虞レヲ有ッテ居リマス、固ヨリ輓近ノ不況ニ對シマシテ、斯業モ其必然の要求カラ、段々内容ノ整理ガ行ハレテ居リマスルト同時ニ、段々能率向上ノ一步ニ向ッテ居リマスコトモ事實デゴザイマスルノデ、若シ或ハ藉スニ年所ヲ以テ致シマシタナラバ、必ズシモ此上ノ保護ヲ要セズシテ斯業ノ整理統制ガ行ハレルカモ存ジマセヌト思ヒマスルケレドモ、何分原料ノ上カラ申シマスルト、如何ニモ製銑事業ノ困難ト云フモノハ看過シ難イ所以ノモノガゴザイマスルガ故

ニ、已ムヲ得ズ今同關稅引上ノ方法ニ依テ此現狀ヲ救済シ、然ル後ニ斯業ノ統制ト云フ政策問題ニ向ッテ、是ガ意義アル解決ヲ付ケシメタイト云フ考ヲ有ッテ居ルノデアリマス、只今ハ先ヅ以テ斯業ノ整理ヲ圖リ、然ル後ニ救済スベキモノナラバ其上ニ救済スルモマダ遲カラズヤト云フ御說デゴザイマスルガ、是ハ如何ニモ御尤デアリマス、何分現狀ニ即シマシテ考ヘマスル時ニハ其順序ヲ變動致シマスルコトモ亦已ムヲ得ナイコト、存ジテ居リマス、此點ハ然ルベク御諒承ヲ願ヒマス

○福田政府委員 第一ニ生産費ノ沖著ヲ裸ニシタラドウカト云フ御說モゴザイマスガ、私共ハ内地ノ銑鐵ガ消費市場ニ行クノト、又印度銑鐵ガ日本ノ消費市場ニ幾ラ來ルカ、サウ云フコトヲ突合ハシテ、之ヲ比較計算シマシタ、是ハ從來カラ斯ウ云フ遣リ方デシテ居リマスシ、結果ニ於テ裸デ較ベルノモ同ジコトデヤナイカ、競争スル處ハ内地市場デアリマス、内地市場ニ於ケル競争力ノ差違ヲ基礎トシテ保護スルコトガ適當ナリト考ヘルノデアリマス、ソレカラ運賃ガ高過ギル、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、是ハ獨リ運賃ダケデハゴザイマセヌ、外ノ生産費ヲ構成スル原料其他モ皆サウデゴザイマスガ、大體釜石、輪西、淺野、兼二浦ト

云フヤウナ内鮮ニ於ケル各社ノ實績ヲ
緻密ニ點檢致シマシテ之ヲ平均スルコ
トガ至當デハナイカ、或ル一會社ノ計
算ヲ採ルコトハ、却テ不都合デアルト
云フ考カラ致シマシテ、大體各社ノ實
績ヲ平均致シマシテ、其結果ガ三圓ニ
ナリマシタ、其結果船賃、外ニ積込ノ
費用、ソレカラ積下シノ費用、ソレカ
ラ色々諸雜費ヲ含メテ大體三圓ト云
フ見當ニ押ヘテ居ルノデアリマス、金
利ヤ固定資本ニ對スル御尋ガゴザイマ
シタガ、無論金利ハ今現實ノ各會社ガ負
擔シテ居ル借金ト云フヤウナモノニ付
テ計算致シマスルコトハ適當デナイト
云フコトハ御説ノ通りデゴザイマスノ
デ、私ハ唯所謂諸費ヲ控除シタ純銑鐵
ニ付テ、其原價ト申シマスカ、ソレヲ
只今大體二十八圓ト見テ居リマスガ、
此二十八圓ノ銑鐵ガ、原料ヲ買入レテ
カラ市場ヘ出ス迄約四ヶ月位掛ル、其
間ニ二十八圓ニ對スル金利ヲ七分ニ見
積ツテ、運轉資金ノ金利六十五錢ト云フ
モノヲ出シテ居リマス、ソレカラ固定
資本ニ對スル歩合ハ、其固定資本モ現
實ノ固定額ト申シマス、只今御話ノ
通り非常ナ多額ノ金額ニ上リマスガ、
是モ此儘之ヲ見ルト云フコトハ無論妥
當デナイト考ヘマスノデ、若シ現在ノ
狀態ガ比較的安イ費用デ、現在熔鑛爐
ヲ造ルナラバ一噸當リドレ位掛ルダラ
ウカト云フ數字ヲ計上致シマシテ、其
計算致シマシタ結果ガ、大體銑鐵値段
一噸ニ付テ五十圓位、斯ウ云フヤウニ
見マシテ、此五十圓ニ對シテ五分ノ利
廻リニ見テ計算シタノデゴザイマス、
決シテ龐大ナル資本ニ對シテ、之ヲ算
出シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、償却
モ只今申上ゲマシタヤウニ、ヤハリ噸
五十圓ト云フ所ヲ取リマシテ、三十年
償却位ノ積リデ三分ト斯ウ見テ計算致
シマシタガ、大體ニ於テ御趣旨ノ通り
ノ意味デ此計算ハシテ居ル積リデアリ
マス、ソレカラ副產物ノ點デゴザイマ
ス、副產物ハ無論御話ノ通り生産費ノ
中カラ控除スベキモノデアリマシテ、
骸炭費幾ラト、斯ウ出シテ居リマスガ、
骸炭ノ價格ハ此副產物ノ値段カラ控除
シタ價格ニナツテ居リマス
○中島(彌)委員 一噸ドレ位ニ付キマ
スカ
○福田政府委員 約三圓五十錢ト見テ
居リマス、是モ大體ノ實績デアリマス
○中島(彌)委員 サウシマス、私ガ
今質問致シマシタ點ニ付キマシテ、各
社ノ大體ノ流動資本ト云ヒマス、是
ハドウ見テ居リマス、ソレカラ今迄
ハ何時モ大藏省ノ調べデハ、雜費トシ
テ大體九圓五十錢ナラバ十二圓五十錢
見當ノモノニ見テ居リマスガ、ソレハ
何處ニ隱シテ藏ツテアルカ、ドウ云フ工
合ニ誤魔化シテ藏ツテアルカソレヲ一
ツ承リタイ
○福田政府委員 前ノ四十六圓ト云フ
生産費ヲ御説明申上ゲルノデアリマス
ガ只今申上ゲタ通り、三十五圓ノ生産
費ハ全然從來モ同ジヤウナ計算ハ致シ
テ居リマスガ、從來ノ材料ノ異ナル材
料ニ依テ計算シタノデアリマス、各社
ノ現實ノ負債ヲドウスルカト云フコト
ハ、先程申上ゲタ通り全然考ヘテ居リ
マセヌ、唯、運轉資金ガ幾ラ要リ、固定
資本ガ幾ラ要ル、工場ヲ新設スルノニ
幾ラ掛ルカ、斯ウ云フ事ヲ計算致シマ
シテ、ソレヲ基礎トシテ算出シタノデ
アリマス、前ノ四十六圓ノ生産費ト今
ノ生産費ヲ比較致シマスルト、ドウ云
フ風ニナツタカト云フコトデアリマス
ガ、一寸今此處ニ書イタモノガアリマ
セスカラ、何レ取調べマシテ御答致シ
マス
○永田委員 今ノ御話ノ生産費ノ基礎
數字ハ、新シク鑛鑛爐ヲ拵ヘテ色々
設備ヲ新シクヤルモノトシテノ五十圓
ニ對スルモノガドウトカ、ソレニ今ノ三
十六圓ガドウトカ云フコトデシタガ、
ソコヲハッキリモウ一度承リタイ
○福田政府委員 其通りデゴザイマ
ス、新設スルモノトシテ、利廻リヤ償
却ヲ見マシタ、ソレカラ金利ハ運轉資
本ニ對スル金利ト云フ考デゴザイマス
カラ、此運轉資本ハドウ云フ風ニ運轉
サレルカト云フト、是ハ色々時ノ好況
不況ニ依テ製品モ違ヒマスカラ、大體
先程申上ゲマシタヤウニ原料ヲ購入シ
マシテモ、其造ッタ銑鐵ガ捌ケテ行クマ
デ四ヶ月掛カル、詰リ年三回位運轉ス
ルモノト云フ考デ、銑鐵製造ニ要スル
工場原價ト云フモノヲ基礎ニシテ出シ
タ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス
○永田委員 ソレハ只今ノ五十圓ト云
フノハ、銑鐵ノ生産費ト云フ意味デハ
アリマセヌネ、私ノ伺フタ意味ハ一噸ノ
設備ヲスルノニソレダケ掛カル、一噸
ノ銑鐵ヲ造ルコトノ設備ト云フ風ニ聽
イタ、詰リ百噸爐ナラバソレノ百倍掛
ケタモノ、二百噸爐ナラバ二百倍、二
百噸爐ハアリマセヌガ、マアサウ云フ
意味デスナ、ソレダケヲ承リマス
○中島(彌)委員 其三圓ト云フ運賃ノ
根據ハ何處ニアリマス
○福田政府委員 只今申上ゲマシタ運
賃ハ、四社ノ平均デアリマスカラ、鞍
山ノハ市場マデノ運賃ハ含ンデ居リマ
セヌ、輪西、釜石、淺野造船、兼二浦、
此四社ガ實際製品ヲ市場マデ持ッテ來
テ……
○中島(彌)委員 其市場ト云フノハ何
處ノ市場デスカ
○福田政府委員 ソレハ各社ノ實績デ
ゴザイマスカラ、或ハ大阪ニ持ッテ行

クコトモアリマスルシ、名古屋ニ持ッテ
行クコトモアリマス、此四社ノ實際ノ
運賃デアリマス、ソレデ例ヘバ十萬噸
ナラ十萬噸造ッタ中デ、一萬噸ハ東京
ニ、一萬噸ハ名古屋ニ、一萬噸ハ大阪
ニ行ク、或ハ三萬噸ハ其處デ使フト云
フヤウナ、サウ云フ實績ニ依テ、一噸
當リノ平均運賃幾ラ掛ッタカト云フ、其
實績ニ依テ算出致シマシタ

○中島彌(委員) 淺野ハ鶴見ニアリマ
ス、片一方ハ北海道ニアリマス、又朝
鮮ニアリマス、サウ云フモノヲ平均シ
テゴチャノニスルト云フコトハ、頗
ル不合理ナ計算ノ立テ方デハナイカト
思ヒマス、淺野デ見レバ東京市マデ持ッ
テ行クニ付テハ五十錢カ三十錢デ宜イ
デセウ、朝鮮カラ持ッテ行ケバ莫大ナ
モノデアアル、釜石ノ方カラ來レバ、私
ノ計算ニ依リマスレバ一圓位デ來ルヤ
ウニ思ヒマスガ、サウ云フヤウナモノ
ヲ、遠方ノ朝鮮ニ在ルヤウナモノヲ持ッ
テ來テ市場ニ出ス、一體日本ノ銑鐵市
場ト云フモノガ十分ニ合理化サレテ居
ナイ、生産費ガ高クナル原因ハ何處ニ
在ルカト云フト、市場ガ遠イト云フコ
トデアアル、淺野以外ハ全部サウデア
ル、御承知ノ通り輪西ハ北海道ニ在リ、釜
石ハ宮城縣ニ在ル、兼二浦ハ朝鮮ニ在
ルト云フヤウナ工合ニ非常ニ彼方此方
ニ散ラバツテ居ル、遠クテ運賃ガ高クナ

ルト云フコトガ、銑鐵業ノ引合ハナイ
根本デアアル、ソレニズツ遠方迄ノ運賃
ヲ持ッテ來テ、三圓ト云フコトニナルト
云フノハ當ヲ得マイト思フ、餘リ話ガ
細カクナリマスケレドモ、其點ガ吾々
ハドウシテモ承服シ兼ネマス、此印度
銑ニ對シテ、本溪湖、鞍山站ノ如キ六
社ハ——淺野ヲ除ク五社ハ補助金ヲ貰ッ
テ居ル、サウシテ印度銑ニ對抗シテ居
ル關係カラ見レバ、滿洲邊リノ運賃ハ
莫大ナモノニナツテ來ルト思フ、殊ニ印
度銑ノ運賃ノ安イ原因ハ、印度貿易ノ
歸リ荷關係カラ運賃ガ安ク、朝鮮ト大
阪ヤ、神戸ヤ、東京邊リトノ汽船ノ關
係トカ、或ハ輪西、釜石カラ來ル所ノ
船ニ積ム關係トカ云フヤウナ點カラ考
ヘテ見マスルト、運賃ノ見積リ價格ト
云フモノガ、三圓ト云フノハ非常ニ高
クナイカ、合スベカラザルモノヲ合シ
テ玆ニ上ゲテ居ルカラ三圓ト云フモノ
ガ出テ來ル、矢張り近イ所カラノ一定
ノ標準ヲ取ッタ釜石ナラ釜石、——日本
ノ銑石ハ合理化サレテ居ナイ、銑鐵爐
ノ設備ノ如キ、副產物ノ精製等モ十分
デナク、銑鐵爐ノ如キモ四百二十噸、
是ハ休ンデ居ッテ三百五十噸ガ使ハレ
テ居ルダケデアッテ、銑石モ貧乏デアッ
テ、自給シテ居ルノガ七割、濠洲方面
カラ三割モ取ッテ居ルト云フヤウナ狀
態デアッテ、石炭ガ北海道カラヤッテ來

テ居ル、斯ウ云フヤウナ所ノ生産費デ
サヘ今申上ゲタ二十九圓何ガシ、之ヲ
東京ニ入レタラドレ位ニナルカト云フ
ヤウナ中庸のナモノヲ以テヤラナケレ
バ、コンナ距離レタモノヲ計算シテ、
ソレヲ合計シテ三圓ト云フモノニスル
ト云フコトハ、餘程玆ニ私ハ銑鐵生産
費ヲ換算スル上ニ於ケル政府ノ仕方ガ
非常ニ誤ッテ居ルノデヤナイカト感ズ
ル次第デアリマス、モウ一ツハ負債ノ
整理ハドウナツテ居リマスカ、即チ流動
資本ト云フモノニ對スル見方ハドウ云
フ風ニ見テ居ルカ、此等ノ點ニ付テ、
モウ少シ親切丁寧ナ御答辯ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○福田政府委員 運賃ノ問題デアリマ
ス、運賃ハ例ヘバ淺野ハ近クニアルカ
ラ、淺野ダケノ運賃ノ關係ニ於テハ、
理想的ノモノヲ取ッタラドウカ、餘リ朝
鮮ヤ北海道カラ持ッテ來ルモノマデ平
均スルト云フコトハ、無意味デヤナイ
カト云フ御話デアリマスガ、大體日本
ノ銑鐵製造工場ノ所在地ハ、ソレト云
石炭山ノ近クカ、或ハ鐵山ノ近クト云
フヤウナ所ニ場所ヲ定メマシテ、是ハ
又製鐵業トシテ當然ノコト、思ヒマス
ガ、其結果或ルモノハ市場カラ遠ザカッ
テ居ル、斯ウ云フ結果ニナリマス、併シ
市場カラハ遠ザカッテ居ルガ、又其原料
品其他ノ點ニ於テ有利デアルト云フヤ

ウナコトカラ致シマシテ、ソレト現
存シテ居ル製鐵工場ハ工場トシテ特殊
ノ使命ト位置ヲ持ッテ居ル、サウシテサ
ウ云フ工場ガ集リマシテ、所謂自給自
足ノ能力ヲ構成シテ居ルノデアリマ
ス、其全部ガ相俟ッテ、始メテ自給自足
ノ基礎ガ成ッテ居ルノデアリマシテ、先
ヅ其全部ニ對シテ、適當ナ運賃ヲ考慮
スルト云フコトガ宜シイノデヤナイ
カ、併シ一番遠イ所ノ運賃ヲ取ルト云
フコトモ何デアリマセウガ、一番近イ
所ノ運賃ヲ取ルト云フコトモ亦極端デ
アリマス、ソレデ各所ノ市場迄ノ運賃
ニ其生産額ヲ乗ジタ數ヲ出シマシテ、
サウシテ又生産額デ割ッタ、斯ウ云フヤ
ウナ運賃ガ先ヅ現實ニ即シタ一番適當
ナ運賃ノ見方デヤナイカト、斯ウ云フ
考カラ算出シテ居ルノデアリマス、釜
石ノ運賃ハ非常ニ安イト云フヤウナ御
話ノヤウデゴザイマスガ、實際ノ所ヲ
申シマス、此實績ハ相當高ク付イテ
居リマシテ、運賃諸掛リヲ加ヘマス
三圓以上ニナツテ居ルヤウデアリマス、
無論輪西ト兼二浦ハ、ソレヨリ高クナッ
テ居ル、又淺野ノ如キハ非常ニ安クナッ
テ居リマスガ、ソレヲ生産數量ニ按分
シテ割當テマス、大體三圓見當デ宜
イノデヤナイカト思フノデアリマス、
ソレカラ製鐵會社ノ負債ヲドウシテ居
ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、度々

品其他ノ點ニ於テ有利デアルト云フヤ
ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、度々

品其他ノ點ニ於テ有利デアルト云フヤ
ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、度々

申上ゲマヌヤウニ、私共ハ現實ノ製鐵業者ノ負債ガ幾ラト云フヤウナコトヲ全然念頭ニ置キマセヌデ、サウシテ今合理的ニ此製鐵工場ヲ起シテ、生産ニ從事スルナラバ、幾ラノ資本ガ要ルカト云フコトニ中心ヲ置キマシテ、金利乃至償却ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、現實ニ各製鐵會社ガ幾ラノ負債ヲ持ッテ居ッテ、ソレヲドウ云フ風ニ返サナケレバナラヌカト云フコトニ付テハ、之ヲ考ヘテ居リマセヌ、若シ此生産費デ行クトスレバ、此生産費デ收支償フヤウニスルナラバ、ヤハリ相當ノ資本ノ切捨ナリ、負債ノ償却ナリヤラナクテハ、此生産費デハ收支償ハヌ、此實際ノ收支ヲ償フト云フコトニハナラヌト考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 三十五圓六十五錢デハ、負債ノ償却ト資本ノ切捨ヲヤラナケレバ償ハヌト云フコトニナッテ來レバ——是ダケ關稅ヲ引上ゲテモ償ハヌト云フコトニナレバ、關稅引上ト云フコトハ茲ニ於テ無意味ト云フコトニナッテ來ル、今政府委員ノ言ハレタ如クニ、此生産費ノ三十五圓六十五錢デハ負債ノ整理ヲヤラナケレバイカヌ、資本ノ切捨ヲシナケレバ收支ガ償ハヌト云フノナラバ、此生産デサヘ持テナイト云フコトニナッテ來ルト洵ニ何ノ爲ニ三十五圓六十五錢ト云フモノヲ基礎

トシテ、噸六圓ダケノ關稅引上ニナルカト云フヤウナ、却ッテ政府自身ノ御答辯ニ依テ全ク打壞シテシマフコトニナリハシマセヌカ、私ハサウ考ヘマス

○福田政府委員 私共ハ現狀ニ即シテ之ヲ保護スルト云フノデヤナクテ、相當理想的ノ狀態ニ於テ、サウシテ尙ホ收支償ハナイト云フコトナラバ、是ハ困リマスガ、理想的ノ狀態ニ置ケバ、是デ相當ノ保護ニナルト云フ所ニアルノデゴザイマスカラ、此結果利益ヲ舉ゲヤウト云フヤウナコトニナリマスレバ、ヤハリ相當負債ノ償却モシナクチヤナラヌ、斯ウ云フ結果ニナルト思ヒマスケレドモ、或ル程度ノ合理化ヲ、資本ノ合理化ヲ促進スル意味デ、斯ウ云フ風ニ償却ヲ合理的ニ見タ譯デアリマス、現實ニ即セヌト云フコトガ、過當ナ保護ヲシナイト云フコトニナルト考ヘマス

○中島(彌)委員 商工大臣ノ御意見ト商工省ノ政府委員ノ御意見トハ全ク別デアリマシテ、商工大臣ハ前ニ印度銑鐵ノ壓迫ニ堪ヘナイト云フ現實ニ即シテ之ヲ保護スルノデアアル、之ヲヤラナケレバ潰レテシマフト云フノデアアルガ、政府委員ノ御意見ニ依リマス、理想的ノ案ヲ作ッテ之ヲヤルノデアアッテ、其整理ヲ促進スルノダト云フノデ、全ク其間ニ矛盾撞著アッテ、政府間ニ於テ

意見ガ統一サレテ居ナイト云フコトヲ發見スルノデアリマス、洵ニ以テ奇怪千萬デアッテ、政府當局ノ大臣ノ意見ト政府委員ノ意見ガ全ク矛盾シテ居ル、一方ハ理想案ヲ作ッテ整理スル、一方ハ算盤ガ持テナイカラヤルノダト云フ、然ラバドウ云フ方法デヤルノカ、ドウ云フ風ニ負債ヲ切捨テルカ、負債ヲ償却スルカト云フ案ガナケレバナラヌ、其案ニ付テ商工大臣ハ、本會ニ於テモ同ジヤウナ意見ノ答辯デアリマシテ、現實ニ即シテ、是デハ立タヌカラ立ッヤウニシナケレバ潰レテシマフ、片ッ方ハ理想案ヲ拵ヘテ、其理想ニ導イテ行クノダ、ソレデ算盤ガ取レナイト言フカラ關稅ヲ引上ゲル「スチール」其他鐵製品ヲ高クシテ、噸六圓ノ關稅引上ヲヤルト云フコトデアッテ、商工大臣ト

ヨリ甚シキハナイト思ヒマス、全ク商工大臣ト其部下トノ間ニ意思ノ疏通ヲ缺キ、政府ハ本案ニ未熟ニシテ、マダ議會ニ提出スル時機ニ達シテ居ラヌモノト斷言シテ憚カラヌ、此事ハ速記録ニ特筆大書シテ貫ヒタイト思フノデアリマス

政府委員ノ意見ノ矛盾撞著是ヨリ甚シキハナイト考ヘルカラ、茲ニ商工大臣ヲ呼ンデ來テ貫ヒタイ、尙ホ此點ニ付テハ、總理大臣ニモ聞カナケレバナラヌガ、斯様ナ矛盾撞著シタ答辯ハ洵ニ困ル、三十五圓六十五錢デヤッテイケナイノナラバ、何故ニ上ゲル、片ッ方商工大臣ハ上ゲナケレバ潰レルト仰シヤル、片ッ方ハ上ゲテモ持テナイノダ、サウスルト關稅ヲ引上ゲルト云フコトハ、徒ニ「スチール」ヤ其他ヲ高クスルノミデアッテ、洵ニ驚人ッタコトデアアル、矛盾是

○福田政府委員 何レ大臣カラ説明ガアラウト思ヒマスガ、私ノ説明ガ不十分デアッタカモ知レマセヌカラ一應補足シテ置キタイト思ヒマス、只今御説明申上ゲマシタ金利ト固定資本ニ對スル利廻リノ問題デアリマスガ、勿論固定資本ハ理想的ノ固定資本ヲ見テ居リマス、利廻リ五分ト云フノハ、若シ理想的ニ固定資本ヲ整理致シマシタナラバ、五分ノ利廻リニナッテ、五分ノ配當ガ出來ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、理想的ニ整理シナケレバ吾々ノ豫定スルヤウナ五分ノ配當ガ二分ニナリ、無配當ニナルノデナイカト思フ、立行カヌト大臣ノ仰セラレタノハ、從來通リノ損失ヲ重ネテハ立行カヌヤウニナル、斯ウ云フノガ大臣ノ御話ノ意味ダラウト思ヒマス、私共ノ理想トスル所ハ、十分此事業ノ整理ヲ致シマシテ、資金ノ整理ヲ致シマシテ、或程度ノ配當ガ出來テ、サウシテ事業ノ基礎ガ確立スルト云フコトヲ希望致シマスケレドモ、現在ノ狀態ニ於テハ現在ノ

借金、現在ノ資本ヲ以テシテハソレ程マデニ行カナイダラウ、詰リ固定資本ヲ噸當リ五十圓ノ程度ニ切下ゲナケレバ、ソレダケノ利益ヲ生マヌダラウ、サウ云フ意味デ申上ゲタ積リデアリマス、ソレデ假ニ今ハ御承知ノ通り赤字ヲ出シテ居リマスルガ、此程度ノ關稅ノ引上ニ依テ、或ル程度ノ市價ノ好轉ヲ見ル、又印度銑ノ輸入ヲ防遏シテ生産額ガ増加スル、斯ウ云フ状態ニナリマスレバ、現在ヨリモ遙ニ業態ガ良クナリマシテ、サウシテ立直リガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ見テ居リマス、相當ノ利益ノ配當ヲスルノニハ資本ヲ合理的ニ切下ゲナケレバ此生産費ト合ッテ行カナイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○中島彌委員 商工大臣ヲ一ツ呼ンデ戴カナケレバ困ル、矛盾シタ答辯ト云フコトハ、委員長自身ガ御承認下サルコト、思ヒマス、此關稅ヲ引上ゲテ、此生産費デ以テ制限サスノダト仰シヤル、片方ハ此關稅ヲ引上ゲナケレバ倒レル、倒レヌヤウニスルノダ、其間ニ矛盾ガアリマシテ、ソコニ此生産制限ト云フモノヲ、民間五社ト云フモノハ、數字ニ示ス所ニ依ルト少シモヤッテナイ、他ノモノハ生産制限ヲヤッテ居ル、然ルニ民間五社ヲ見マシテモ、昭和二年、三年カラ四年、五年、六年ニ互リマ

シテ、昭和三年ニ六十七萬一千噸、四年ニ七十二萬八千噸、五年ニ七十二萬五千噸、六年ニ七十四萬五千噸ト云フヤウニ、殆ド生産制限ヲヤッテ居ナイ、生産制限ヲヤラズシテ、ドン／＼拵ヘテ居リマス、無論休ンデ居ル熔鑛爐モアリマス、是ハ調ベレバ分リマスガ、兎モ角市場ガ非常ニ不況デアッテ、他ノ會社ハ色々半分以上モ生産制限ヲヤッテ居ルニモ拘ラズ、製鐵所バカリガ生産制限ヲヤッテ居リマセヌ、ソレハ製鐵所ヲ御覽ニナレバ分リマス、僅カノ違ヒハアリマセウケレドモ、昭和六年ニ七十四萬五千噸、五年ハ七十二萬五千噸ト云フ調子デ、多少ノ相違ハアリマセウガ、生産制限ハヤラズ、負債ハ整理シナイ、其儘デ續ケテ行ッテ、關稅ノ障壁ノミニ依テ保護ヲシテ貰ヒ、而モ又福田政府委員ノ御説ニ依リマスト、是デモマダ收支ガ償ハヌノダ、負債ノ整理、資本ノ切捨テヲサセルノダト言ヒマスケレドモ、結局私ガ本會デ論ジマシタ位デ、負債ノ整理ヤ資本ノ切捨ハ所謂國民ノ負擔ニスル、即チ銑鐵「スチール」其他ノ生産業者ニ負擔ヲセシメヌト云フヤウナ結果ニナルノダ、是ハ洵ニ非合理的、不生産的ノ經營ヲヤッテ居ル會社ニ對シテ、關稅ニ依テノミ保護シテ、之ニ依テ片ッ方ハ國民ニ莫大ナル負擔ヲ掛ケルト云フコトニナッテ來

タ、製造工業モ、却ッテ是ハ毒ヲ此邊ガ持ッテ居ルノデヤナイカ、基礎工業デアルカラ——他ノ會社デアッタラ倒レテシマッテ居ル、大資本デアアルカラシテ、今日マデ持ッテ來テ居ルノデアアル、小資本デアッタラバ必ズ資本ヲ切捨テルカ、負債ヲ整理シテシマッテ居ル、大資本ノ會社デアリマスルカラ、是デ漸ク今日マデ無理ヲシテ持ッテ來テ居ル、切捨テヤッテ整理ヲシテ、奇麗ナモノニナッテ來テ保護ヲシテ貰フト云フノガ當リ前デハナイカト思フ、ソレヲ福田君ノ仰シヤルヤウニ、之ニ依テ促進サセルノダト云フコトニナッテ來ルト私共ハ洵ニ以テ意外ナ御答辯ヲ承ルモノデアアル、又之ニ對スル議論ノ進メ方ガ大分違ッテ來ナケレバナラヌト思ヒマスカラ、上ゲテモ引合ハヌト先ニ仰シヤッタ此點ニ付テハ、商工大臣ヲ此處ヘ呼ンデ戴イテモウ一度御答辯ヲ願ヒタイ

○永田委員 其間ニ一二伺ヒタイ、先ニ福田君ノ御話ニ、設備費トシテ噸五十圓ト云フコトヲ御答ニナッテ居ル、サウスルト其御話ハ斯ウ承ッテ宜イ譯デスカ、二百噸爐デアルトスルト、之ヲマア吾々素人考デスレバ、年三百五十日デ七萬噸、サウスルト五七ノ三百五十萬圓、斯ウ押ヘテ、斯ウ見テ差支ナイノデスカ

○福田政府委員 其通リデゴザイマス

○永田委員 其次ニ是ハ新シク拵ヘテト云フ御話デスカ、今ノモノヲ保護シテ行カナケレバナラナイ、之ヲ打壞スト云フナラバ、是ハ又議論ニナッテ、大臣ノオ出デヲ願ハナケレバナラヌコトニナルガ、私詳シクハ知リマセヌガ、今ノ設備ニモ、大キイ爐モアレバ小サイ爐モアル、所謂不合理ナモノモアリマセウガ、大體今ノ各社ノ工場ノ設備、大キサ、コンナモノヲ押ヘテ居ル譯デスカラ、單ニスッカリヤリ返シテシマッテ、一日々々ト製鐵、熔鑛爐ノ問題モ進歩シテ居リマス、隨テ五百噸デナケレバナラヌトカ、或ハ五百噸デハ大キ過ギルト云フヤウナ議論モ色々事業學者ニモアリマセウ、ソナコトハドンナ所ヲ見タノデスカ、ソレヲ一寸伺ヒタイ、大體三百噸爐トカ、百噸爐位ヲ押ヘルノデスカ、或ハ今アルノガコンナ爐ガ何ボアル、コンナ爐ガ何ボアルカラ、ソレヲ見タト云フコトカ、是ハ別ニ議論デハナク、事實問題トシテ簡單ニ伺ヒタイ

○福田政府委員 大體銑鐵ノ製造ニ付テ、生産費ヲ安クスル爲ニハ、大キイ爐ノ方ガ宜カラウト云フコトハ認メラレマスガ、日本ノ銑鐵ノ需要ノ現狀其他カラ申シテ、餘リ大キナモノヲ造ッテモ困リマス、御承知ノ通り熔鑛爐ハサウ容易ニ火ヲ消シタリ又入レタリスル譯

ニ行キマセヌノデ、先ヅ現狀カラ見テ三百噸程度ノ爐ト云フ所ガ、普通ノ製鐵所ニ於テハ妥當デヤナイカ、斯ウ云フ見解カラ致シマシテ、其程度ノ爐ヲ頭ニ置イテ考ヘテ居リマス

○東委員長 チョット中間デスガ御諮リ致シマス、今井健彦君ガ辭任セラレマシテ、補缺トシテ高橋熊次郎君ヲ選舉致シタコトニ手續キ致シマス、此段御承認ヲ願ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○東委員長 併セテ理事ノ指名ヲ致シマスガ、今井君ハ理事デアリマシタカラ、高橋君ヲ理事ニ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○永田委員 サウシマスルト、大抵中島彌團次君ノ御質問ノ裏ガ分ッテ來ル譯デスガ、マア日本ノ年々ノ消費量ハ違ヒマスケレドモ、大體ハ百五十萬噸ト、斯ウ銑鐵ノ消費量ヲ押ヘルト、此自給自足ヲスル、其中十五萬噸バカリ、マア年々入ッテ居ル、是モ多少ノ増減ハアリマセウ、サウスルト先ヅ日本ノ製鐵業ニ對スル資本ガ百五十萬噸ト見レバ、政府ノ事務當局ノ押ヘハ七千五百萬圓バカリノ資本ガ製鐵業ニ入レバ、恰度算盤ガ合フ譯デスガ、ソナコトニ算盤上ナル譯デスカ

○福田政府委員 左様デゴザイマス
○永田委員 サウシマスルト、此七千

五百萬圓ト云フモノヲ、將來ノ理想的ノ熔鑛爐ノ設備トシテ考ヘラル、コトハ、一體今ノ各社ノ設備ガドウ云フ風ニナッテ居ルカ、中島彌團次君ノ過日來カラノ御質問ヲ伺ッテ居ルト、五社ノ資本金一億圓、ソレニ三千萬圓以上ノ借金ガアル、之ヲ其通りニ押ヘレバ、一億三四千萬圓、之ヲ一億五千萬圓ト見ルト、今ノ投資額ヲ半分ニシタ程度ガ、恰度事務當局ノ計算ニ合フノデスガ、各社ノ資本額ヲ、中島君ノ手許ニハ戴イテアルヤウデスガ、私ノ所ニハアリマセヌ、後ニ御質問ヲスルノニ參考ニ致シタイト思ヒマスカラ、是ハ事務的ナコトデスカラ、基礎數字ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、之ヲ序ニ御依頼致シマス、直キ出來マス

○福田政府委員 御承知ノ通り銑鐵ダケヤッテ居ル會社ニ付テハ簡單デゴザイマスガ、或ハ造船所、或ハ鋼材事業ヲ兼營シテ居ル會社モアリマスノデ、銑鐵ニ對シテ果シテ幾何ノ投資ヲヤッテ居ルカト云フ正確ナ數字ハ一寸分ラナイノデアリマスガ、大體ノ所ヲ色ミナ報告ナドニ依テ取ッテ見マスト、現在ノ銑鐵工場ノ投資額ハ、内地ト朝鮮ト合セマシテ、無論製鐵所ヲ除ケテゴザイマスガ、民間ノ五社ノ投資額ガ七千五六百萬圓見當デヤナイカト云フコトニナッテ居リマス、是ハ拂込資本額ハ

勿論、或ハ社債、或ハ借入金ノ一部モ投資ニナッテ居ルト思ヒマスガ、現實ノ投資ヲ先ヅ推定シテ調べ見タノデス、ソレカラ滿洲ニ於ケル本溪湖、鞍山站ノ投資額ガ三千四百萬圓見當ダラウト思ヒマス、ソレデソレヲ合セマスト一億一千萬圓ニナル譯デス、ソレヲ先ヅ半分近クニ其投資額ヲ見タト云フヤウナ結果ニナルト思ヒマス

○永田委員 半分ニハナラナイ、モット多イト思ヒマス、製鐵所ノ分モ私ハ含メテ百五十萬噸ト申上ゲタノデ、只今ノ資本ハ民間五社デアリマシテ、製鐵所ハ入ラナイトスレバ、製鐵所ノ資本勘定ハドウ見テ居リマスカ、是ハ別ニ責任ヲ問フ意味デヤアリマセヌ、唯參考トシテ見ルノデアリマスカラ、アナタノ方デドノ位ニ御計算ニナッテ居ルカ、會計法上ニ付テドウトカ斯ウトカト云フ意味デヤアリマセヌ

○福田政府委員 一寸前ニ御説明申上ゲタイノデアリマスガ、只今一億一千万圓バカリノ投資額ト申上ゲタノハ、是ハ民間ノ投資額デアリマス、之ニ對シテ民間ノ製造能力ガ百五十萬噸位ニナル、ソレデ吾々ノ計算カラ見マシタナラバ一噸當リニ對シテ五十圓ト見レバ、現實ノ投資額ノ半分位ニナルト云フ意味ヲ申上ゲタ、製鐵所ガ銑鐵工場ニ對シテ幾何ノ投資ヲシテ居ルカト云

フコトハ、是ハ私ノ手許ニ材料ガゴザイマセヌノデ、チョット簡單ニ申上ゲ兼ねマス

○永田委員 別ニソレハ理窟ヲ言フ意味デヤアリマセヌ、今日デナクテモ宜シウゴザイマス

○福田政府委員 取揃ヘテ差上ゲマス
○東委員長 商工大臣ガ御見エデスガ、中島君、簡單ニアナタト政府委員トノ主張ノ違ッタ點ヲ申上ゲナイト、商工大臣ガ答辯ガ出來ナイト思ヒマスカラ簡單ニ……

○中島(彌)委員 商工大臣ノ御言葉ニ依リマス、噸六圓關稅ヲ引上ゲナケレバ銑鐵業ガ立行カヌノデアルト仰セラレタ、今政府委員カラ聞キマス

ト云、噸當リ三十五圓六十五錢ノ計算デヤッテモ立チ行カヌ、負債ノ整理ト資本ノ切捨テヲヤラスト立行カヌノダ、ソレデ關稅ヲ上ゲテ理想的ノ案ヲ作ッテモ當箱マラスノデアアル、現實ヲ保護スルノデハナイト仰セラレタ、先日ノ商工大臣ノ本會議ニ於ケル御答辯ヲ伺ヒマシタ點ト大變矛盾シテ居ルヤウニ思ヒマス、ソレデ此案ハマダ練レテ居ラヌデヤナイカト云フコトヲ御尋シタイノデス、商工大臣ノ御答辯ト、政府委員ノ御答辯ト眞向カラ矛盾著シテ居ルノガ澤山アリマスガ、其處ノ點ヲ御答辯ヲ願ヒタイ

○中島國務大臣 私ハ豫算總會ノ方ニ行ッテ居リマシテ、政府委員ノドノ點ニ付テ私ノ意見ト矛盾致シマシタカヲ審ニ致シマセヌガ……

○中島(彌)委員 デハ一寸其事ヲ明ニシマスガ、商工大臣ハ關稅ヲ引上ゲタナラバ立チ行クト仰シヤッタ、關稅ヲ引上ゲナケレバ潰レルノダト斯ウ仰セラレマス、本會議ノ速記録ヲ見テモ分リマス、商工事務當局ノ御方ハ引上ゲタッテ立行カヌノデアル、整理シナケレバ立行カヌノデアル、理想案ヲ作ッテ關稅ヲ引上ゲテヤッテ促進サスノダト言フ、片方ハ促進論デアッテ負債整理促進論、サウシテ商工大臣ノ御議論デハ、所謂關稅引上デ行ケバ十分立チ行クノデアルト言ハレマシテ、其間ニ矛盾ガアリマス

○中島國務大臣 私ノ考ヘマシタ所ヲ極ク端的ニ申上ゲタイト思ヒマス、今回容易ナラヌ關稅ノ引上ヲ銑鐵ニ對シテ行フ譯デアリマス、私ハ之ニ依テ銑鐵業ガ國家ノ保護ニ浴シマスコトガ非常ニ多大デアル現狀ニ對シマシテ、ドウシテモ銑鐵業者自體ノ覺醒ニ俟ッテ、寧ロ將來ニ於テハ關稅引上ノ手段方法ニ依ラズトモ、斯業ガ根本的ニ確立ヲ致シマスル方法ヲ考ヘナケレバナラスノデアルト信ジテ居リマス、從テ若シ出來マスルナラバ先程及ビ本會議ニ於

テ中島君カラ御尋ニ相成リマシタヤウニ、斯業ノ內容整理ヲ先ニ致シマシテ、其曉ニ於テ尙且ツ斯業ガ樹立スルコトガ出來マセヌナラバ、關稅引上ノ方法若クハ其他ノ手段ヲ國家的ニ考ヘテ見ルコトガ順序ダト思フノデアリマス、併シ繰返シテ申上ゲマス通りニ、何分ニモ銑鐵業ノ現狀ガ、如何ニモ非合理的ニ困難ヲ致シテ居リマスル事實ニ對シマシテ、當局トシテハ之ヲ座視スルニ忍ビマセヌカラ、此際差當リ關稅引上ノ方法ニ依テ、先ヅ以テ現狀ヲ匡救シ、而シテ匡救サレマシタル基礎ノ上ニ於テ、斯業ノ整理統制ヲ圖ラシムルト云フ第二ノ手段ニ移ラザルヲ得ナイト

思フノデアリマス、是モ出來ルカ出來ナイカハ、時ヲ俟ッテ御判斷ヲ願ハナケレバナラスノデアリマスルケレドモ、私ハ順序ト致シマシテ左様ニ考ヘテ居リマス、而シテ私ハ今度ノ關稅引上ノ方法ヲ以テシテハ、即チ唯、徒ニ斯業ガ國家ノ保護ニ依ルコトノミニ甘シジテ居リマシテ、內容ノ整理向上ヲ圖ラナイト云フコトデアレバ、如何ニモ相濟マヌコト、思ヒマスルカラ、當局ト致シマシテハ、寧ロ其途ニ於テ相應ナ力ヲ致シタイト存ジテ居リマスルノデ、即チ私ノ本會議ニ於テ、竝ニ先程申上ゲマシタルコトハ、中島君ト大體所見ヲ同ジクシテ居リマスルケレド

モ、順序ト致シマシテ先ヅ關稅引上ヲ御認メヲ戴キタイト申シタニ過ギマセヌ

○櫻井委員 中島君ノ諒解ヲ得マシタノデスガ、私ハ午前中ニ大臣ニ御尋シタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、丁度機會デアリマスカラ極ク簡單デアリマスノデ、此場合御尋ヲ濟マシテ置キタイ、丁度今中島委員ガ質問ナサレタ其點デゴザイマシテ、大分御答辯ニ依リマシテ明カニナリマシタガ、尙ホ一點明瞭ニ致シタイト考ヘマスコトハ、製鐵事業ノ整理、或ハ合同ト申シマスガ、屢前內閣時代ニモ問題ニナッテ居ッテ整理統制ノ問題デアリマス、只今大臣ノ御説明デハ、取敢ズ現狀ヲ見ルニ忍ビヌカラ、之ニ對シテ相當ノ保護ヲ與ヘテ置イテ、其中ニト仰セラレルノデスガ、其中ニノ意味ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、斯業ガ自發的ニ、自力ニ依ル整理ヲ爲スコトヲ期待セラレル意味デアリマスガ、ソレトモ國家ガ積極的ニ種々助成ノ手ヲ盡シテ、サウシテ整理合同ヲ爲サシメ、ソウシテ合理化セシムルト云フコトデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○中島國務大臣 只今櫻井君ノ御尋デゴザイマスガ、私ガ所謂斯業ノ整理統制ヲ促進セシムルト申シマシタコトニ付テ御尋デアアルノデアリマスガ、之ヲ

國家ガ積極的ニ干涉致シマシテ、別ノ言葉ヲ以テスレバ所謂國家的ニ解決ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、單ニ商工省所管ノ關係ノミニ依ルコトガ可能デナイノデアリマシテ、國家トシテハ種々ナル方法ニ於テ此事業全般ノ統制ヲ圖ルト云フコトニ付テハ自ラ多少ノ犠牲ヲ忍バナケレバナラスト云フヤウナ關係モ生ズルコトデアリ、勿論左様ナコトモ考ヘラレマス、考ヘラレマスガ、私自身ガ只今考ヘテ居リマス範圍ノコトダケヲ申上ゲテ見マスルナラバ、實ハ日本ノ鐵工業モ、累年ノ不振ヲ閱シマシテ、之ニ從事シテ居リマス所ノ關係者ノ心理モ當年ト餘程趣キヲ異ニシテ居ルデアラウト思フノデアリマス、櫻井君ハ既ニ曩ニ商工行政ノ御當局者トシテ、私モ亦當時合理局ノ關係ニ於テ屢々櫻井君ト共ニ此種ノ事ニ付キマシテハ御相談ヲ申上ゲ、又私自身ト致シマシテハ屢々御指導ヲ仰ギ、御協力ヲ願フタト云フコトモアリマスガ、先ヅ國家的ニ全國ヲ一貫致シマシタル斯業統制ノ問題ハ別ニ申上ゲルト致シマシテ、私ハ其當時カラ自分ガ合理局ニ居リマシタ關係ヲ迫リマシテ、多少斯業統制ノ一路ニ向ッテ手ヲ下シ得ベキ餘地ガアルヤニ思ッテ居リマス、而シテ斯様ナコトハ矢張一波瀾ヲ起シマシテ、一ツノ例ガ他ノ「レッサン」ニナル

ト云フヤウナコトニモ相成リマスカラ、先ヅ可能的ノ方面ニ向ッテ微力ヲ致シテ見タイト考ヘマス、幸ヒニシテ此種ノ事ガ一般統制ノ問題ニ向ッテ曙光ヲ與ヘルト云フコトニ相成リマスレバ、公私共ニ御同慶ノコト、存ジテ居ル譯デアリマス、只今此場デ考ヘテ居リマスコトヲ申シマスレバ、先ヅ以上ノ所ヲ以テ御答スル外ハナイト思ヒマス

○櫻井委員 大體御考ハ推測出來ルヤウナ心持ガ致シテ喜ブ次第デアリマス、此製鐵事業ノ問題ニ付キマシテハ申スマデモナク國民經濟上カラ見マシテ、非常ナル惱ミヲ持ッ問題デアリマス、之ヲ保護シテ高クスレバ消費者ガ困ル、又我國ノ現在及將來ニ發達スベキ基礎産業ニ非常ナル害ヲ及ボスト云フコトデ、出來ルダケ安クシタイト云フノガ、一ツノ「ポイント」デアリマス、併ナガラ安クシヨウトシテ他ノ競争ニ任セ、之ヲ放任シテハ、自給ノ方策ガ成立タナイ、一方ニ於テハドウシテモ相當ニ事業ヲ國內ニ成立タシメテ、サウシテ消費者ニ安クシナケレバナラヌ、サウ考ヘマスレバ、ドウシテモ一度ハ國家ハ相當ノ腹ヲ決メテ、或ル程度ノ力ヲ加ヘ、犠牲ヲ拂ッテモ、之ヲ處理シ統制ト合理化ヲ遂ゲナケレバ何時迄經ッテモ、此問題ハ片付カナイ、尤

モ之ヲ放任シテ置キマスレバ、自然淘汰ナリ、或ハ自發的ノ合理化ニ依テ、或ル程度マデハ片付クカモ知レマセヌガ併シ忍ビ難キ點モアリマセウ、ソレ故商工省トシテハ此點ヲ憂慮セラレテ、屢々是ガ問題ニナリ、案モ出來上リ、或ハ大藏省トノ交渉、當業者トノ接洽ニ於テ其一致點ヲ見出スコトガ困難ノ爲ニ延ビ、ニナッテ居ルノデハナイカト思ハレル、丁度此度ハ恰モ好シ、最モ該博ナル識見ヲ有セラレル所ノ商工大臣、而シテ是等ノ問題ニ付テ商工省ト共ニ俱ニ多年御盡力ニナリ、御研究ニナリマシタ中島商工大臣デアリマスノミナラズ、内閣ハ所謂舉國一致内閣デ、此問題ノ解決ニハ絶好ノ機會ト思ヒマス、故ニ思ヒ切ッテ、仕事ヲシヨウトスルニハ最モ適當ナル機會デハナイカト私ハ信ズルデアリマス、ドウシテモ此事業ノ徹底の合理化ヲ圖ッテ、原價ヲ引下ゲテ、サウシテ保護ガ低クテモ事業ガ成立ッテ行クヤウニシナケレバ、此問題ノ根本的解決ガ出來ナイデアラウト思ヒマス、商工大臣ノ先程ノ御意見モ、サウ云フ意味デアルトハ思ヒマス、ケレドモ出來マスナラ今一步ヲ進メテ、モウ少シ其點ヲ明瞭ニ大臣トシテ否國家トシテ積極的ノ力ヲ加ヘテ、本問題ノ解決ヲ圖ルト云フコトヲ此處ニ御明言願ヘレバ、甚ダ幸ヒデア

ルト思フデアリマス、ソレカラ丁度私ノ大臣ニ對スル質疑ヲ結了シマス爲ニ、今ノ一點ダケ他ノ問題ニ付テ伺ッテ置キタイト思ヒマス、問題ハ伸縮關稅ノ問題デアリマスガ、今ハ世界經濟ノ極メテ混亂シテ居ル時代デアリマス、内外共ニ非常ニ經濟事情ノ安定シテ居ラナイ今日ニ於テハ、伸縮關稅ニ依ルノガ最モ適當デハナイカト、斯ウ信ジテ居ル一人デアリマス、新聞紙ヲ通ジテ見マス、商工省カラサウ云フ案ガ出タガ、高橋大藏大臣ハ之ヲ一蹴シタト出テ居ル、又先程堀切政府委員ノ御話ニ依リマス、中島前商工政務次官ノコトダト思ヒマスガ、中島君カラモ非常ニ伸縮關稅ノ強イ主張ガアッタト云フ言葉ガアッタデアリマス、ソコデ私ノ頭ニ浮ビマシタコトハ、又大藏省ニヤラレタナト感ジタデアリマス、殆ンド傳統的ニサウデアアル、此ノ種ノ問題ガ出ルト、何時デモ、大藏省ノ方ガ非常ニ強ク自說ヲ主張セラレテ、他ノ産業省ノ意見ヲ一蹴セラレルコトガ殆ド習慣ノヤウデアアル、午前ノ當會議ニ於キマシテモ、大藏省政府委員ニ希望ヲ申シテ置キマシタガ、産業ノコトハ産業當事者ノ判斷ニ委セルコトデアアル、大藏省ハ銀行ノ監督ト收支ノ計算ヲシテ居ラレ、ソレガ本分ナデアリマス、左モナケレバ、大

藏省モ商工省モ農林省モ合併シテ一ツニスルガ宜イ、何時モ大藏大臣ガ出シツ張り過ギテ、産業省ヲ無視シ、貿易ノ數字モ大藏省カラ發表スル、産業統計ノ數字モ大藏省カラ發表スル、マルデ産業大臣ヲ眼中ニ置カズ、陰然日本ノ産業モ經濟モ一人デ背負ッテ居ルヤウナ風ヲセラル、ノデ、實ニ不快デアルソレ故ニ日本ノ産業經濟ト云フモノハ、何時モ甚ダ失禮デハアルガ、大藏省ノ傳統的ノ、化石シタル考ニ依ッ判斷セラレテ居ルト云フ實情デ、之ガ爲メニ受クル我が産業經濟界ノ損失、實ニ莫大ナルモノアリト信ズルデアリマス、此度ハ幸ニ産業界ニ深キ體驗ヲ有セラレ、德望識見共ニ高キ中島商工大臣ガ局ニ當ラレマス以上ハ、從來ノ弊風ヲ改メテ「レコード」ヲ開イテ戴キタイ、サウシテ自己ノ信ズル所ハ進ンデ大藏省ノ說ヲ一蹴シテ御敢行ヲ願ヒタイト思フデアリマスガ、依テ問題トナッテ伸縮關稅ニ付テハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、無論大藏省側ノ御意見ハ全然反對ト云フノニ非ズシテ、留保シテ居ルノダト云フ意味ノ御答辯ガアリマシタカラ、決シテ政府部内ニ於ケル矛盾ヲ憂フルノ心配ハナイト思ヒマスカラ、忌憚ナク商工大臣ノ信念ヲ伺ハシテ戴キタイト思ヒマス

○中島國務大臣 製鐵業ノ根本的確立

ト云フコトニ付キマシテ、モウ少シ的確ナ意見ヲ闡明シロト仰セニナリマシタガ、是ハ私ノ闡明ヨリモ寧ロ私ガ實際ニ向ヒマシテ多少ノ微力ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル者デアリマスカラ、此處デ私ガ意見ヲ申上ゲルコトハ、是デ御許ヲ願ヒマシテ、私ガ今後實際ニ施設スル關係ニ於テ、ドウゾ皆様ノ隔意ナイ御助言ト御腹藏ノナイ御助力ヲ願フコトニ致シタイと思ヒマス、尙

ト考究ヲ致シタイト存ジテ居リマス、是亦時ニ從テ御助力ヲ願ヒタイト存ジマス、宜シク御願ヒ致シマス

ガ、比較的妥當デアルト思フニ過ギマセヌデアリマス、補助金ノ引上ト云フコトニナリマス、色々ノ關係ニ於テ考究スベキモノガ起リマスノデ、已ムヲ得ズ左様ニ致シタ譯デアリマス

シテハ、無論今同ノ改正ニ伴ヒマシテ、必然考慮致サナケレバナラヌト思ヒマス、此點ニ付キマシテハ別ニ拓務省ニ於テ考究中ト有ジマスカラ、何等カノ施設ヲ見ルコトニナラウト思ヒマス

○永田委員 暫ク商工大臣ニ御著席ヲ願ヒマシテ、二三御尋ヲ致シマス、大變御丁寧ナ御説明デ委員一同欣ンデ居ル譯デアリマスガ、私ハサウ感謝バカリモ致シテ居ラレマセヌ致シマスガ、

○永田委員 別ニ言葉尻ヲ捉ヘテ彼此レ申ス譯デアアリマセヌガ、補助金ヲ現ニ出シテ居ルノデアリマシテ、此上出スト面倒ガ起ルト仰ッシャルガ、出サヌデモ大變面倒ガ起ル、補助金デ行キマスレバ今滿洲ニ於ケル二ツノ製鐵所ナドノ問題モ同ジヤウナ途デ片ガ付イタ、關稅デ行クト云フコトニナルト、

○永田委員 拓務省デ何等カ考ヘテ居ラレルト申サレマスガ、是ハ政府トシテノ私ハ責任デアアラウト思フノデアリマス、商工大臣ニ於カレテモ、大體方

○永田委員 能ク分リマシタガ、此前ハ翌年度ニナッテ漸ク實施サレタ、併シ前年度ノ生産ニ對シテ補助金ヲ交付サレタノデアリマス、隨テ今回モ此案ガ通過スルカドウカ、今日ハ分リマセヌガ、此案ガ成立致シマシタナラバ、前回ト同ジヤウナ御取扱ニナルヤウニ、商工大臣ニ十分ナル御努力ヲ御願致シタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ヲ打切ッテ置キマス

今列國ノ關稅戰ノ激化狀態ニ對シマシテ、我國ニ於テモ此際其制度ヲ採用致シタラバ如何デアラウカト云フコトガ、前內閣ノ當時ニ起リマシテ、稍其議ニ上ッタヤウニ私モ新聞紙上デ散見ヲ致シテ居リマシタガ、只今櫻井君ノ仰セニナリマシタコトハ、必シモ大藏省側ノ横槍ト云フコトデナク、多分制度自體ニ對スル研究ニマダ餘地ガアルカラシテ、暫ラク是ガ可否ヲ決定セズ、

○中島國務大臣 實ハ此銑鐵ニ對シマス補助金ヲ、此上殖ヤシマスコトハ、只今仰セノ如ク種々ナル關係ニ於テ支障ヲ來シマスノデゴザイマシテ、此際ハ寧ロ現在ノ關稅率ヲ引上ゲマスコト

此關係ヲ離レテシマフ、現在滿鐵ノ製鐵及鞍山ノ製鐵、之ニ對シテハ御承知ノ通り特殊ナ方法ヲ以テ内地ノ補助ト匹敵スル方法ヲ取ッテ居ル、今度關稅ヲ引上ゲテ、内地ノ方ノモノダケハソレデ行ク、サウシテ片方ハ其儘ニナッテ居ル、是デハ一ツノ經濟「ブロック」トシテ考ヘテモ、陸軍デハ色々滿蒙ノ單一經濟的「ブロック」ト言ッテ居リマスガ、製鐵業ハ元カラヤッテ居ル、今度ハ是ガ引離サレルコトニナリ、豫算ノ方ニモナイヤウデアアル、ドウ云フ方法デ滿鐵或ハ本溪湖ノ鐵ヲ從來補助法ニ依テ統一シテ居ラタト同ジヤウナ方法ヲ取ラレマスカ、ソレ等ノ御腹案ニ付テ一寸御伺ヒ致シマス

○中島(彌)委員 商工大臣ニ御尋致シマスガ、商工大臣ノ御答辯ニ依リマス、關稅ヲ今度引上ゲテ急場ヲ救フノデアルト仰セラレマス、其意味ハ關稅ヲ噸デ六圓引上ゲルナラバ、是デ立行

研究資料トシテ特ニ取急ガウデヤナイカト云フ程度ニアルノダト思ヒマス、隨テ此問題ニ付キマシテモ今後尙ホ現內閣ト致シマシテ大ニ研究致スベキコト、存ジマス、只今容易ナラヌ激勵ノ御言葉ヲ頂戴致シマシテ、商工省ト致シマシテハ實ニ力強イ御言葉ダト有難ク感謝致シマス、御言葉ニ依リマシテ、

○中島國務大臣 實ハ此銑鐵ニ對シマス補助金ヲ、此上殖ヤシマスコトハ、只今仰セノ如ク種々ナル關係ニ於テ支障ヲ來シマスノデゴザイマシテ、此際ハ寧ロ現在ノ關稅率ヲ引上ゲマスコト

○中島國務大臣 滿洲ノ銑鐵ニ付キマ

○中島(彌)委員 商工大臣ニ御尋致シマスガ、商工大臣ノ御答辯ニ依リマス、關稅ヲ今度引上ゲテ急場ヲ救フノデアルト仰セラレマス、其意味ハ關稅ヲ噸デ六圓引上ゲルナラバ、是デ立行

ト云フコトニ付キマシテ、モウ少シ的確ナ意見ヲ闡明シロト仰セニナリマシタガ、是ハ私ノ闡明ヨリモ寧ロ私ガ實際ニ向ヒマシテ多少ノ微力ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル者デアリマスカラ、此處デ私ガ意見ヲ申上ゲルコトハ、是デ御許ヲ願ヒマシテ、私ガ今後實際ニ施設スル關係ニ於テ、ドウゾ皆様ノ隔意ナイ御助言ト御腹藏ノナイ御助力ヲ願フコトニ致シタイと思ヒマス、尙

ト考究ヲ致シタイト存ジテ居リマス、是亦時ニ從テ御助力ヲ願ヒタイト存ジマス、宜シク御願ヒ致シマス

ガ、比較的妥當デアルト思フニ過ギマセヌデアリマス、補助金ノ引上ト云フコトニナリマス、色々ノ關係ニ於テ考究スベキモノガ起リマスノデ、已ムヲ得ズ左様ニ致シタ譯デアリマス

シテハ、無論今同ノ改正ニ伴ヒマシテ、必然考慮致サナケレバナラヌト思ヒマス、此點ニ付キマシテハ別ニ拓務省ニ於テ考究中ト有ジマスカラ、何等カノ施設ヲ見ルコトニナラウト思ヒマス

○永田委員 暫ク商工大臣ニ御著席ヲ願ヒマシテ、二三御尋ヲ致シマス、大變御丁寧ナ御説明デ委員一同欣ンデ居ル譯デアリマスガ、私ハサウ感謝バカリモ致シテ居ラレマセヌ致シマスガ、

○永田委員 別ニ言葉尻ヲ捉ヘテ彼此レ申ス譯デアアリマセヌガ、補助金ヲ現ニ出シテ居ルノデアリマシテ、此上出スト面倒ガ起ルト仰ッシャルガ、出サヌデモ大變面倒ガ起ル、補助金デ行キマスレバ今滿洲ニ於ケル二ツノ製鐵所ナドノ問題モ同ジヤウナ途デ片ガ付イタ、關稅デ行クト云フコトニナルト、

○永田委員 拓務省デ何等カ考ヘテ居ラレルト申サレマスガ、是ハ政府トシテノ私ハ責任デアアラウト思フノデアリマス、商工大臣ニ於カレテモ、大體方

○永田委員 能ク分リマシタガ、此前ハ翌年度ニナッテ漸ク實施サレタ、併シ前年度ノ生産ニ對シテ補助金ヲ交付サレタノデアリマス、隨テ今回モ此案ガ通過スルカドウカ、今日ハ分リマセヌガ、此案ガ成立致シマシタナラバ、前回ト同ジヤウナ御取扱ニナルヤウニ、商工大臣ニ十分ナル御努力ヲ御願致シタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ヲ打切ッテ置キマス

今列國ノ關稅戰ノ激化狀態ニ對シマシテ、我國ニ於テモ此際其制度ヲ採用致シタラバ如何デアラウカト云フコトガ、前內閣ノ當時ニ起リマシテ、稍其議ニ上ッタヤウニ私モ新聞紙上デ散見ヲ致シテ居リマシタガ、只今櫻井君ノ仰セニナリマシタコトハ、必シモ大藏省側ノ横槍ト云フコトデナク、多分制度自體ニ對スル研究ニマダ餘地ガアルカラシテ、暫ラク是ガ可否ヲ決定セズ、

○中島國務大臣 實ハ此銑鐵ニ對シマス補助金ヲ、此上殖ヤシマスコトハ、只今仰セノ如ク種々ナル關係ニ於テ支障ヲ來シマスノデゴザイマシテ、此際ハ寧ロ現在ノ關稅率ヲ引上ゲマスコト

○中島國務大臣 滿洲ノ銑鐵ニ付キマ

○中島(彌)委員 商工大臣ニ御尋致シマスガ、商工大臣ノ御答辯ニ依リマス、關稅ヲ今度引上ゲテ急場ヲ救フノデアルト仰セラレマス、其意味ハ關稅ヲ噸デ六圓引上ゲルナラバ、是デ立行

研究資料トシテ特ニ取急ガウデヤナイカト云フ程度ニアルノダト思ヒマス、隨テ此問題ニ付キマシテモ今後尙ホ現內閣ト致シマシテ大ニ研究致スベキコト、存ジマス、只今容易ナラヌ激勵ノ御言葉ヲ頂戴致シマシテ、商工省ト致シマシテハ實ニ力強イ御言葉ダト有難ク感謝致シマス、御言葉ニ依リマシテ、

○中島國務大臣 實ハ此銑鐵ニ對シマス補助金ヲ、此上殖ヤシマスコトハ、只今仰セノ如ク種々ナル關係ニ於テ支障ヲ來シマスノデゴザイマシテ、此際ハ寧ロ現在ノ關稅率ヲ引上ゲマスコト

○中島國務大臣 滿洲ノ銑鐵ニ付キマ

○中島(彌)委員 商工大臣ニ御尋致シマスガ、商工大臣ノ御答辯ニ依リマス、關稅ヲ今度引上ゲテ急場ヲ救フノデアルト仰セラレマス、其意味ハ關稅ヲ噸デ六圓引上ゲルナラバ、是デ立行

ト云フコトニ付キマシテ、モウ少シ的確ナ意見ヲ闡明シロト仰セニナリマシタガ、是ハ私ノ闡明ヨリモ寧ロ私ガ實際ニ向ヒマシテ多少ノ微力ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居ル者デアリマスカラ、此處デ私ガ意見ヲ申上ゲルコトハ、是デ御許ヲ願ヒマシテ、私ガ今後實際ニ施設スル關係ニ於テ、ドウゾ皆様ノ隔意ナイ御助言ト御腹藏ノナイ御助力ヲ願フコトニ致シタイと思ヒマス、尙

ト考究ヲ致シタイト存ジテ居リマス、是亦時ニ從テ御助力ヲ願ヒタイト存ジマス、宜シク御願ヒ致シマス

ガ、比較的妥當デアルト思フニ過ギマセヌデアリマス、補助金ノ引上ト云フコトニナリマス、色々ノ關係ニ於テ考究スベキモノガ起リマスノデ、已ムヲ得ズ左様ニ致シタ譯デアリマス

シテハ、無論今同ノ改正ニ伴ヒマシテ、必然考慮致サナケレバナラヌト思ヒマス、此點ニ付キマシテハ別ニ拓務省ニ於テ考究中ト有ジマスカラ、何等カノ施設ヲ見ルコトニナラウト思ヒマス

クノデアルト云フ意味デゴザイマス
カ、福田政府委員ノ御意見ニ依リマス
ト、是デケヤツテモ立行カヌノデア
ル、今ノ生産費ノ三十五圓何ガシト云フ點
カラ考ヘマシテモ立行カヌノデア
ル、唯之ヲヤツテ負債ノ整理、資本ノ切下
ヲ促進サスノデアルト仰シヤイマシタ、
商工大臣ノ御言葉ニ依ルト、關稅ヲ引
上ゲテ急場ヲ救フノデア
ル、今回ノ引
上ガナケレバ倒レルト云フ風ニ言ハ
レタ、其點ガ私マダ疑問ヲ解イテ戴ケ
ナイノデゴザイマスガ、御部下ノ政府
委員ノ御意見ト、御大將ノ御意見ト
ガ大分違ッテ居ルヤウデアリマスガ、
如何デスカ

○福田政府委員 一寸私カラ申上
ゲテ置キタイト思ヒマス、是ハ中島
サンモ同様ノ御考ト思ヒマスガ、
現在ノ資本デ相當ノ收益ヲ見ル
ヤウニスルト云フニハ、資本ノ整理
ヲシナケレバナラナイ、サウス
ルト又斯ノ如キ程度ノ保護ヲス
ルコトハ、餘リニ保護ニ過ギルト
云フ考カラ致シマシテ、現在ノ資本
ト云フモノヲ眼中ニ置カナイデ、
相當合理ノ今設備ヲシタナラバ、
ドレダケノ收入ガアルカト云フ
コトヲ基礎ニシテ算出シタ、斯
ウ云フ意味デゴザイマスカラ、
現在ノ資本ヲ相當整理シナケ
レバ、詰リ豫定ノ利益ヲ得ル
コトハ出來ナイ、併シ整理ヲ致
サナクテモ、現

在ヨリモ無論損失ヲ少クスル
コトハ出來ル譯デアリマス、進
ンデ利益ヲ擧ゲヨウト云フコト
ニナレバ相當ノ資本ノ整理ヲ
シナケレバナラナイ、斯ウ云フ
風ニ申上ゲタノデアリマス、詰
リ現状デハ立行カヌ、立行カヌ
モノヲ、モウ少シ力ヅケテ立
行クヤウニシタイ、斯ウ云フ
コトニ付テ、先程ノ商工大臣
ノ御話ト別ニ矛盾ハナイト考
ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 サウシマス
ト益、疑問ガ深クナツテ來
マスガ、現状ニ於テハ立行
カナイ、關稅ヲ引上ゲテモ矢
張立行カナイト云フ觀念ヲ
吾々ニ與ヘラレマス、アナ
タノ御説明ニ依ルト、利益
ガ出來ルヤウニスル迄ニハ
マダ餘程遠イ、サウスルト
商工當局ニ於テ、何カソコ
ニ負債ノ整理トカ、資本ノ
切下トカ云フヤウナ、具體
的ノ事ガナケレバナラヌ
ダラウト思ヒマス、中々民
間ノ會社ト云フモノハ、御
承知ノ通り關稅ノ保護ニ
狙レテシマツテ、容易ニ整
理ガ出來ナイ、サウシテ其
間ハ消費者ガ莫大ノ負擔ヲ
シナケレバナラヌコトニ
ナレル、一方ニ消費者ヲ犧
牲ニ供シテ居ルノデア
ルカラ、一方生産者ニ對シ
テモ何等カ之ニ對應スル
ダケノ商工當局ニ確信ト、
具體的の方策ガナケレバ
ナラヌダラウト考ヘマス、
其點ドウ云フヤウニ御考
ニナリマセウカ

○中島國務大臣 ソコハ全ク御
同感ナシデアリマシテ、私
ガ先刻來申上ゲル點モ、今
回ノ關稅引上ニ甘ンゼシメ
タクナイト云フ點ニアリ
マス、差當リ今回ノ關稅引
上ノ方法ニ依テ、差當リ損
失ヲ防止致シマシテ、所謂
消極的ニ之ヲ救フテ置キ
マシテ、而シテ此關稅引上
ノ恩典ニ狙レシメズ、進
ンデ彼等自身ノ犧牲ニ依
テ斯業ノ根本的確立ガ期
セラレルヤウニ致シタイ、
ソレニ向ッテ相應ノ努力ヲ
各マザル決心デアルト云
フコトヲ申上ゲタニ過ギ
マセヌ、其點ハ全然只今
仰セノ通りニ私共モ感
ジテ居リマス

○中島(彌)委員 サウシマス
ルト商工當局ハ負債ノ整理
及資本ノ切捨ヲヤラスト
云フ御決心ナンデスカ
○中島國務大臣 先刻來私
ガ申シマシタノモノソコ
ナンデス、是非當業者ヲ
鞭撻致シマシテ、斯業ノ
根本的確立ガ出來ルヤ
ウニ、彼等ガ今回ノ關稅
引上ノ恩典ニ狙レズ、寧
ロ此恩典ニ感激致シマ
シテ、進ンデ彼等ノ自發
的ノ若クハ私等ノ外援
的ノ援助ニ依リマシテ、
斯業ガ其整理ニ向ヒ
マスルヤウニ致シタイ
ト云フ考デアリマス

○東委員長 一寸御諮
リシマスガ、大分此問題
モ質疑應答ヲ重ネマシ
テ、今日ハ午前十時カ
ラ五時迄非常ナ勉強
デ質疑ニ依テ明瞭ニ
ナッタコトモアルシ

致シマスガ、今滯貨生
絲處分ノ案ガ本會議
ニ上程サレテ居ル
ノデ、是デ散會シ
テ、又明日午前十
時カラ開キタイ
ト思ヒマスガ……

○中島(彌)委員 モウ少
シデス、別ニ惡意
デアル譯デア
リマセヌカラ
(笑聲)中島
商工大臣ノ仰
セニ依リマス
ト、具體案ヲ
提ゲテ整理
促進サセル
ト云フヤウ
ニ仰シヤイ
マシタガ、自
發的、外
援的ト仰シ
ヤッタノハ、
關稅引上
ヲシテ、無
論自發的
ニヤルノ
デセウケ
レドモ、ソ
レ以外ニ
商工當局
カラ整理
サセテ、立
派ナモノ
ニシテ見
セルト云
フ御決心
デ御言ヒ
ニナッタ
ノデアリ
マスガ

○中島國務大臣 先ヅ申
セバ其通り
デアリマス、併シ先
刻櫻井君ノ御質問
ニ對シテ御答申シ
タヤウナ譯デ、此
商工省關係以外
ノ點ニ互リマス
コトニ付キマシ
テハ、今後商
工省自體ノ努力
ニ待ッテ、ソ
レヲ期シ
ナケレバ
ナラヌト
云フ關係
カラ、其點
ニ付テ
的確ニ
斯ノ如
キ具體
案ガ私
ニゴザ
イマス
ト云フ
コトヲ
申上
ゲル
コトヲ
憚リ
マス、
若シ
ソレ
商工
省自
體ノ
立脚
點ニ
付キ
マシ
テ、可
能
的
ナ
モノ
ガ
アル
ナ
ラ
バ、
私ハ
斷
ジ
テ
努
力ヲ
各
マ
ザ
ル
決
心
デ
アリ
マス

マスカ

○福田政府委員 補助金ハ商工省デ金額ヲ決定シテ、商工省カラ出シテ居リマス

○中島(彌)委員 然ラバ矢張商工省ノ

權限内ニアルト私ハ考ヘマスカラ、商工大臣ガ是ニ於テ之ヲ整理サレテ、消費者ニ迷惑ヲ掛ケテ洵ニ濟マヌケレドモ、整理サスノダト云フ御決心ヲ、一ツ茲ニ表明サシテ戴キタイノデス、ソレガ一ツト、ソレカラモウ一ツ、福田政府委員ガ先刻仰シヤラレマシタノハ、私ガ運賃三圓ト云フモノハ、是ハ高イト言ヒマシテ、運賃三圓ト金利六十五錢、固定資本ニ對スル利廻二圓五十錢、償却一圓五十錢、合計七圓六十五錢ト云フモノヲ加ヘタノハイカヌ、是ハ裸デ計算シナケレバナラヌト云フコトヲ言ヒマシタ、併シ印度銑鐵ト内地銑鐵トノ比較ト云フコトハ裸デハイカヌ、矢張市價主義デ行カナケレバナラヌ、市價ガ矢張壓迫スルノダカラ、裸デ計算スベキモノデナイ、裸ナラバ政府ノ調モ中島代議士ノ調モ同ジダト仰シヤイマシタガ、市價デ比較シテ行カナケレバナラヌト、斯ウ仰シヤイマスト、矢張元ノ輸入價格ノ問題ニ戻ッテ參リマシテ、政府ノ調ベテ居ル二十六圓何ボノ輸入價格ハ、是ハ非常ニ安イ、本當ノ市價ハ今ノ所印度銑ノ「バーン」

カラ來ルモノト「ラワン」カラ來ルモノ

ヲ入レマシテモ、三十圓以上ニナッテ居リマス、三井物産ノ調ニ依リマシテモ、昭和七年四月ガ三十三圓ニナッテ居リマス、ソレカラ當業者カラ聽キマシテモ、少クトモ爲替ガ、御承知ノ通り外輪ニシテ五割四分、内輪ニシテ三割五分下ッテ居リマス、其結果ガ印度銑モ非常ニ上ッテ居リマシテ、ソウシマシテ之ヲ假ニ標準値段ヲ三十圓ト見テ來ルノデス、大藏省ノ月別ノ統計ヲ取ッテ見マスト、輸入價格ト云フモノハ非常ニ安イ、何處ト比較致シマシテモ、全ク安ク見積ッテアルヤウナ關係ニアリマシテ、若シ三十圓ノ市價主義デ、市價デ爭フノダカラ、市場ヲ亂スト云フコトニナッテ來マスレバ、矢張現在金輸出再禁止以來ノ此市價ヲ見テ行カナケレバナラヌト考ヘマサガ、昭和六年ノ十一月ニハ三十三圓五十錢ト噸當リナッテ居リマス、ソレガ今三十三圓デアリマス、ソレカラ又外ノ調ニ依テモ、是ハ平均ノ仕方ニ依テモ色々違ヒマセウ、外國ノ鐵ヲ入レ、バ、印度以外デアラナラバ、直グ問題ニナリマセウガ、大體印度鐵ヲ輸入シテ居ル、ソレヲ、當業者カラ聽キマシテモ、少クトモ三十圓ト云フモノハ、目下間違ナイ所デアルヤウニ私ハ考ヘテ居ル、爲替ノ上リ様ヲ見マシテ、サウシテ此「ルビー」ノ計算デ致シマス、三十圓

ト見レバ噸ガ四圓十二錢補助サレテ居

ルカラ、是ハ矢張關稅ト同ジ作用ヲシテ居ル、一圓六十七錢ノ關稅ガ課ケテアルカラ、其合計ガ五圓七十九錢ニナッテ、之ヲ三十圓ニ合セマスカラ、三十三圓七十九錢ト云フ相場ガ出テ來マシテ、今ノ政府委員ノ言ヒマシタ市場運賃、償却費ヲ全部集メタモノカラ見マシテモ、生産費三十五圓六十五錢ト比較致シマシテ一寸モ變ラナイ、寧ロ印度銑ノ方ハ少シ高イト云フヤウナコトニナッテ居リマス、之ヲ考ヘテ行ケバ、現在デハ持テル、持テ、行ケルニ違ヒナイ、其證據ニハ生産制限ガ行ハレテ居ナイ、此統計ハ間違ッテ居ルト言ヘバ仕方ガアリマセヌケレドモ、共同銑鐵組合カラ出シテ居ル統計デアリマスガ、生産制限ハ少シモ行ッテ居ナイ、昭和四年七十二萬八千噸、昭和五年七十二萬何千噸、昭和六年七十二萬二千噸ニナッテ居ルト云フヤウナ都合ニ、大抵七十二萬噸位ヤッテ來テ居ル、生産制限ハ殆ドナイ、却ッテ昭和二年ガ五十五萬五千噸デアッテ、昭和三年ガ六十七萬一千噸ト生産ガ殖エテ居ル位デアアル、生産制限ヤッテ居ルノハ、何處ガヤッテ居ルカト云フト、製鐵所ダケヤッテ居ル、生産制限ヲ何故ヤラヌカ、ドン拵ヘテ居ル、引合ハヌトカ、倒レルトカ、急場ヲ救ヘトカ云フヤウナコ

トヲ言ヒマスケレドモ、生産制限ヲヤ

ラズニ、ドン／＼生産ヲ續ケテ居ルコトヲ見レバ、引合フカラヤッテ居ルト言ウテ宜イ、熔鑛爐ノ性質上、御承知ノ通り火ヲ中々消スコトモ出來ナイシ、ソナナ關係モアリマセウ、ソレカラ印度銑ノ方ハ、御承知ノ通り注文ヲ取ッテ、ソレデ輸入シテ居ルヤウナコトデスカラ、此方ハ少シモ生産制限ハヤラナイ、ソレデ無論休ンデ居ル熔鑛爐モアリマス、ソレモ私共調ベテ居リマスガ、其休ンデ居ル熔鑛爐ト云ヒマシテモ、極ク舊式ノ設備デアルトカ、ヤレバ生産費ガ高クナッテ損ヲスルトカ云フヤウナノダケ休ンデ居ッテ、民間五社ノ設備ヲ見テ見マシテモ、總テノ點ニ於テ、瓦斯ノ利用方法デアルトカ、副產物ノ採取方法デアルトカ云フヤウナコトガ、非常ニ不完全デアアル、是カラ考ヘテ見マス、ドウシテモ今日デハ引合ハナイトカ、立行カヌトカ、或ハ潰レルトカ云フヤウナ結論ニ私共ハ達シテ來ナイ、是ハ商工當局及商工大臣ニ御答辯ヲ煩ハシタイ

○福田政府委員 只今印度銑ハ内地市場ニ持ッテ來テ、三十圓内外ノ相場ニ付イテ居ルデヤナイカ、ソレニ對シテ關稅ノ計算ノ基礎ニナッテ居ル印度銑ノ内地市場ニ於ケル値段ハ二十五圓四十何錢ニナッテ居ル、實際非常ナ開キガア

ルカラ、關稅保護ノ必要ハナイデハナイカ、サウ云フ御尋ノヤウニ承知シテ居リマスガ、實際私共ノ調ベマシタ所ニ依リマス、印度銑ハ此頃ニ於キマシテモ相當値段ノ低イ取引ガアリマシテ、矢張二十六圓位ノ取引ガアルト云フコトハ確實ナ事デアリマス、又此印度銑ノ生産費カラ考ヘマシテモ、是ハ相當信憑スベキ材料ダト思ヒマスガ、大體印度銑ハ印度ノ工場ニ於テ十「ルビー」位ノ生産費デ出來ル、斯ウ云フ事ニナツテ居リマスガ、其生産費カラ想像致シマシテモ、現在ニ於キマシテモ、印度銑ハ矢張内地市場ニ持ツテ來マシテ、尙ホ二十五六圓ノ所デ日本品ト競争スル可能性ガナイトハ言ハレマセヌ、矢張其邊ヲ押ヘテ、サウシテ内地ノ生産費ト對照スルコトガ、日本ノ銑鐵ヲ保護スル上ニ、又印度銑ノ輸入ヲ防遏スル上ニ於テ、最小限度ニ於テ必要デハナイカ、斯ウ云フ考カラ致シマシテ、此例ヲ計算致シタ次第デアリマス

出禁止前ノ安イノヲヤツテ居リマス、ソレヲ押ヘテ居ルノハ間違デアリマス、ソレヲ安イ値段段デ見テ居リマスカラ、今度爲替ガ今言ツタヤウニ外輪ニシテ五割四分、内輪ニシテ三割五分値下ツテ居ル時ニ於キマシテ、今カラ來ルモノヲ防グ、是カラ印度カラ來ルモノヲ防グコトガ、關稅改正ノ中心問題デアツテ、是カラ來ルモノハ、矢張爲替ノ上リト云フコトヲ見ナケレバナラス、二十六圓デ取引サレテ居ルコトハ私モ聽キマシタ、成ベク自然ニヤツテ居ルト云フケレドモ、是ハ昨年暮前、即チ若槻内閣當時ニ輸入サレタモノガ、今日販賣サレテ居ルカラデアアル、ソレヲ以テ標準トスルト云フコトハ、商工當局ノ方ガ却テ商賣ニ疎イト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、此問題ヲ防グ爲ニ關稅問題ガ起ツテ居ル、ダカラ今日ニ於ケル橫濱ノ「シイ・アイ・エフ」神戸ノ「シイ・アイ・エフ」ナド、云フモノヲ押ヘテ行クコトヲ考ヘナケレバナラス、今迄販賣サレテ居ルモノハ前ニ來テ、爲替ノ影響ヲ被ツテ居ナイ、爲替ヲ被ツテ居ナイソレヲ是カラ先キ來ルモノニ付テモ、アナタ方ハ御取違ニナツテ居ルノデハナイカト思ヒマス、サウ考ヘルト二十

現在ニ於ケル一ツノ生産費ト云フモノト、今カラ先ニ入ッテ來ルモノトヲ考ヘテ行カナケレバナラスト思ヒマス、此點ハ商工當局ハドウ御考デアリマスカ

○福田政府委員 無論御話ノ通り、私共ハ今ノ取引ガ左様ナ値ヲ生ジ得ルモノトノ前提ノ下ニ、此計算ヲ出シタノデアリマス、最近ニ於テ特ニ入電ガサウ云フ現實ニ、此爲替相場ガ斯ウ云フ風ニ變化致シマシタ後ニ、取引ノ商談ガアツテ、其商談ノ値段ヲモ參酌シテ居リマス、ソレデアリマスカラ只今申上ゲマシタヤウニ、印度ノ生産費其他カラ考ヘマシテ、現在ノ爲替相場ニ於キマシテモ、矢張二十五六圓程度デ、内地ニ持ツテ來得ル可能性ガアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、ソレデ去年ノ英國ニ於ケル金本位停止後、日本ニ於テモ金輸出禁止ヲシナイ前ニ於キマシテ、御承知ノ通り非常ニ此「ルビー」ガ上リマシタ爲ニ、非常ニ安イ印度ノ銑鐵ガ輸入シ得ル可能性ガ生ジタノデアリマシテ、其當時計算致シマシタ所ニ依リマス、日本沖著デ十五圓位ニナリ得ル計算デゴザイマス、日本ノ此陸ニ揚ゲマシテ、河岸著ニシマシテ、十八圓位ニナル計算デアリマス、ソレガ英國ノ金本位停止前ノ狀態ニ歸ツテ、矢張日本ノ市場ニ持ツテ來レバ、關稅拔

ト云フ程度ニ見タト云フニ止マルノデアリマシテ、矢張其現狀カラ内地ノ生産費ト對照スレバ、今回提案致シマシタ程度ノ保護ハ、最低限度ニ於テ必要デアルト考ヘテ居リマス

○中島(彌)委員 政府ノ數字ノ抑ヘ方ハ、實際ニ商賣人ノ取引シテ居ル程度ノモノヲ見ナケレバナラスト思ヒマス、アナタ方ガ仰シタルノハ洵ニ一理アルノデアツテ、裸ニシテ生産費ヲ比較シテ居リマス、斯ウ言ツテ居マスノニ、實際印度銑鐵ヲ今取引シテ居ルモノハ、是カラ先キ爲替ノ値ガ段々上ツテ行キ居ルノニ——高橋大藏大臣モ言ツテ居ル通り、爲替ガ下ツタラ直グ是ガ動イテ來ルノデハナイ、三四箇月モ前ニ段々輸入平均價格ガ上ツテ來ルノダト言ハレマシタガ、爲替ガ上ツテ來テカラ取引スルモノモ上ツテ來ル、私共モ三井物産ノ調ヲ持ツテ居リマスシ、印度銑鐵ヲ取引シテ居ル關係ノ人ノ調モ此處ニアリマスガ、現在爲替ノ下ツタト云フコトヲ標準ニシテ見マスナラバ、ドウシテモ三十圓内外デナケレバ持ツテ來ラレナイ、今安ク押ヘテ居ルモノ、今標準ニシテ居ラレルモノハ、金輸出禁止前ニヤツタモノデアアル、御承知ノ通り磅ハ恢復シマシテ、平價ニ近イ所マデ行ツテ居リマス「ルビー」モ段々付イテ行ツテ居リマス、其點カラ考ヘテ見マス

此關稅改正ノ根本要旨ト云フモノガ、

此關稅改正ノ根本要旨ト云フモノガ、

此關稅改正ノ根本要旨ト云フモノガ、

此關稅改正ノ根本要旨ト云フモノガ、

レバ、爲替問題ハ弗ダケニシテ宜カラ
ウト考ヘマス、斯ウ云フ點ニ付キマシ
テ政府ノ方ノ調ハ、吾々ハ當業者ニ付
テ詳細ニ此點ニ付テハ調ベテ居リマス
ガ、何等カ一種ノ茲ニ邪推的ニ考ヘマ
スナラバ、印度銑鐵ヲ安ク見ルヤウナ
傾向ガアルヤウニ私共ハ考ヘマス、ソ
レカラ調査ノ仕方デアリマススケレド
モ、三井物産ヤ、サウシテ印度銑鐵ヲ
取扱ッテ居ル岸本君、其他ノ意見ヲ聽イ
テ見マシテモ、今ノ爲替ノ値下リカラ
見タナラバ、三十圓ト云フ所ガ動カヌ
所、無論一圓ヤ二圓ハ違ヒマセウケレ
ドモ、三十圓内外ト云フ所ヲ標準ニシ
ナケレバナラヌ、是ハ日本ノ生産費ヲ
比較シテコソ、初メテ茲ニ保護關稅ノ
意味ガ出來テ來ルノダト云フコトハ、
是ハ正論デアッテ、アナタノ仰シヤル二
十六圓トカ何トカ云フノハ、安イ値ヲ
抑ヘテ居ルノデハナイカ、其點ニ付キ
マシテモ、モウ少シ私ハ御調査ヲシテ
頂キタイト考ヘマス

ルデハナイカ「バーン」ニモ投資シテ居
リ「ラワン」ニモ投資シテ居ル、御承知
ノ通り中村清七郎君ガヤッテ居ル、三井
モヤッテ居レバ、三菱モヤッテ居リマス、
其投資額ヨリ印度ノ銑鐵ニ對シテ岸本
君ノヤッテ居ル投資額ノ方ガ多イ、サウ
シテ見ルト片一方ハ、木材ノ關稅保護
ノ意味ニ於キマシテ、片一方ハ無稅ニ
ナッテ居ルノニ、印度銑鐵ノ方ハ、内地
ノ所謂銑鐵業者ヲ保護スル爲ニ、是ハ
非常ナ高率ノ稅ヲ課ケテ居ル、サウ云
フコトヲ考ヘマシテモ、日本ノ國策ト
シテ、海外ノ邦人ノ企業ヲ獎勵シ、保
護スルト云フ點カラ考ヘテモ「バーン」
ニ辛クシテ「ラワン」ニ甘イト云フコト
ハ、商工大臣如何デゴザイマセウ、印
度銑鐵ハ民間ノ投資デヤッテ居リマス
シ、其投資金額モ片一方ノ方ガ多イヤ
ウニ私共ハ考ヘル、其點ニ付キマシテ
モ「ラワン」ガ無稅デアルナラバ「バー
ン」ニモ是ダケ輸入關稅ガ課ケテ居レ
バ、ソレ以上ノ關稅ヲ課ケル必要モナ
イヤウニ考ヘマスガ、是等ノ點ニ付キ
マシテモ、非常ニ政府ノ方ハ矛盾撞著
シタ點ガアルヤウニ、私ハ本會議デモ
申上ゲマシタガ、同ジ内地企業ヲ保護
スルト云フ見地カラ言ヒマシテモ、餘
リニ窘メルベク酷デハナイカト云フコ
トニ付キマシテモ、無理ニ安イ生産費
ヲ採ッテ比較スルノデハナイカ、此三十

圓ト云フ所ハ動カヌ所デアリマス、私
モモウ一遍調ベ直シマスガ、アナタ方
モモウ一遍調ベ直シテ來マシテ、ソレ
カラ本當ニ生産費ヲ償フヤウニヤラナ
ケレバナラヌト思ヒマス、今ノ銑鐵ハ
安イ時ニ於テ來タモノデアルト云フコ
トヲ御念頭ニ置イテ戴キタイ、斯ノ如
キコトヲ計算シテ見マスト、政府當局
ノ所謂生産費論ト言ヒマスモノモ、無
論是ハ其立論ノ根據ハ、マア立テ方ニ
モ依リマスガ、洵ニ吾々承服シ兼ねル
所ガ澤山アリマス、其點ニ付キマシテ
十分ニ一ツ御調査ヲシテ戴キタイ、私
共モ調査致シマセウ、是ハ十日掛ッテ
モ、二十日掛ッテモ、議論シナケレバイ
カヌ非常ニ重大ナ問題デアリマス、此
問題ハ斯ノ如ク勿々ノ間ニ、此短期間
ニ此議會ニ於テ之ヲ上程シテ、之ヲ即
決可決スベキモノデナイ性質ノモノデ
アルト思フ、是ハ非常ニ複雑デ、總テ
ノ點ニ付テ考ヘナケレバナラヌ重大問
題デアルト私ハ考ヘマスガ、商工大臣
ハ是等ノ點ニ付キマシテドウ御考ニナ
リマスカ

○中島國務大臣 只今ノ御質問ニ對ス
ル答辯ハ、私トシテ甚ダ困難ヲ感ジマ
スケレドモ、兎ニ角數字ノ見方、觀點
ト云フモノハ、各據ル所ガアリマシ
テ、其點ニ付テ無論御審議ヲ御重ネ下
サルコトハ差支ナイト存ジマスガ、ド
ウモ此種ノ事ハ、詰リ見ル所ニ依テ異
ナリマスノハ、洵ニ已ムヲ得ナイ次第
デアルト思ッテ居リマス

○中島(彌)委員 生産制限ヲシテ居ナ
イト云フノハドウ云フ譯デスカ、ソレ
ヲハッキリ御聽キシタイト思フ

○福田政府委員 生産制限シテ居ナイ
デヤナイカト云フ御質問デゴザイマス
ガ、成程生産額ノ表面カラ見マスト、
昨年來ノ生産額ハ内地ノ民間ノモノニ
付テ見マスレバ、昭和四年ガ三十二萬
噸位デアッタト思ヒマス、ソレハ内地ダ
ケデアリマス、昨年ノ十一月ハ二十八
萬噸位ニ減ッテ居リマス、多少減少シテ
居リマス、ソレカラ一方是ト反對ニ、
此銑鐵ノ生産能力ナルモノハ相當増加
シテ居リマス、所謂能力ニ比例シタ產
額ト云フモノハ、一層減ッテ居ルト云
フコトヲ御諒承願ヒタイ、ソレカラ製
鐵所ハ割合ニ生産制限ヲシテ、外ノ民
間ノ製鐵所ハ割合ニヤッテ居ナイ、斯ウ
云フ點モソレハ認メマスガ、是ハ事情
ガ色々ゴザイマシテ、御承知ノ通り民
間ノ製鐵所ハ一本カ二本カ、多クテ三
本位デ仕事ヲシテ居リマス、製鐵所ハ
餘程生産能力モ多イノデアリマス、生
産制限ト云フコトハ、爐ヲ一ツ消ス、
二ツ消スト云フコトハ、割合ニ容易デ
ゴザイマスガ、一本シカ持タナイ所ハ、
事業ヲ止メテシマハナイ限リハ生産制

限ハ不可能デアリマス、斯ウ云フ事情モゴザイマスノデ、投資ナンカノ割合ニハ、生産制限ノ困難ナ事情モ伴ッテ、

○中島(彌)委員 數字ノ示ス所ハサウナッテ居ナイ……

斯ノ如キ狀態ニナッテ居ルト思ヒマス、併シ兎ニ角此熔鑛爐ノ全體カラ申シマシテ、二十七八本ノ熔鑛爐ノ中デ、九本マデ休業シテ居ルト云フコトハ、是ハ相當ニ生産制限ニナルト思ヒマス、

○若宮委員 一寸伺ヒマスガ、昨日中島君カラ要求サレタ生産費ノ調査ハ、アレハ御配付ニナッタノデスカ

斯ウ御承知下サッテ宜イト思ヒマス

○東委員長 マダ配付ニナッテ居リマセヌ、若シ御要求ガアルナラバ政府ニ要求致シマス

○中島(彌)委員 其生産制限ト云フモノハ、今火ヲ燃ヤシタナラバ、生産費ガ高クナッテ持テナイヤツデアル、算盤ノ上デ以テ、アナタ方ノ説明ニ舉ゲテ居ルヤウナ生産制限ノヤツハ、ズット前ニ制限シタヤツデアル、ソレハ最近ニ制限シタヤツデナイノデス

○若宮委員 私ハ強テ要求スルノデハアリマセヌガ、委員ハ多勢居リマシテ、吾々ニモ研究材料ヲ與ヘラレルナラ至極便利ト思ヒマス、一人ノ委員ガ御分リニナッテモ、多數ノ委員ガ分ラヌコトモアル、又一人ノ委員ガ御分リニナラヌデモ、吾々多數ノ委員ガ分ルカモ知レマセヌ、願クハ若シ最近ノ印度銑鐵ノ輸入價格ガ、凡ソドレ程デアラウト云フガ如キ點デ、長々ト一人ノ委員ガ論爭致シテ居ルヨリモ、吾々全部ノ便利ノ爲ニ、凡ソ分リ得ル數字ヲ御示シ下サレバ、極メテ明瞭ニ分リマスガ、委員長ヨリ此旨一ツ御要求願ヒマス

○福田政府委員 今休業中ノ熔鑛爐ハ非常ナ不完全ナモノダ、斯ウ云フ御説ノヤウデゴザイマスガ、只今申上ゲマシタ此休業中ノ熔鑛爐ト申シマスノハ、何レモ其能力ハ、少クテモ百七十噸以上デゴザイマス、釜石ノ如キハ、四百二十噸ノ熔鑛爐ヲ新設致シマシタノデゴザイマスガ、ソレモ事業不振ノ爲ニ火ヲ入レ兼ネテ、小サイ方ノ三百何噸カノ方デ仕事ヲシテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態デゴザイマスカラ、當業者ニ於テモ、出來得ル限りノ生産制限ハシテ居ルモノ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルダラウト思ヒマス

○東委員長 承知致シマシタ、ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス
午後五時二十六分散會